

鳥取市教育委員会事務の
自己点検・評価報告書
(令和4年度事業分)

令和6年2月

鳥取市教育委員会

目次

I はじめに

| | |
|-----------------|-----|
| 1 制度の目的 | 1 |
| 2 点検・評価の対象 | 1 |
| 3 点検・評価の方法 | 2 |
| 4 自己点検・評価対象事業一覧 | 3～5 |

II 教育委員会の活動状況

| | |
|----------------|-----|
| 1 教育委員選任状況 | 6 |
| 2 教育委員会会議の開催状況 | 6 |
| 3 教育委員会審議案件 | 6～7 |
| 4 その他の活動状況 | 8～9 |

III 教育委員会の機構及び事務分掌

10～11

IV 自己点検・評価の結果

| | |
|------------------------|---------------|
| 1 社会を生きぬく力を育む教育の推進 | |
| (1) 自立と創造の学校・学園づくり推進事業 | |
| ・・・・・・・・・・・・・・・・ | [学校教育課] 13～14 |
| (2) 魅力と徹底の学力向上推進事業 | [学校教育課] 15～16 |
| (3) G I G Aスクール構想事業 | [学校教育課] 17～18 |
| (4) 子どもたちの心と自治力育成事業 | [学校教育課] 19～20 |
| 2 すべての子どもの学びの保障の充実 | |
| (1) 児童生徒支援事業 | [学校教育課] 21～22 |
| 3 充実した教育環境の推進 | |
| (1) 大規模改造事業（小学校） | [教育総務課] 23～24 |
| (2) 鳥取市立学校校区再編推進事業 | [教育総務課] 25～26 |
| (3) 学校働き方改革推進事業 | [学校教育課] 27～28 |
| (4) 放課後児童対策事業 | [学校教育課] 29～30 |

| | | | |
|-----|-------------------------------|--------------|-------|
| 4 | 生涯にわたり、心豊かに学び育つことができる環境の充実 | | |
| (1) | 生涯学習推進事業 | 〔生涯学習・スポーツ課〕 | 31～32 |
| (2) | 生涯学習講座推進事業 | | |
| | 麒麟のまちアカデミー開設 | 〔生涯学習・スポーツ課〕 | 33～34 |
| (3) | 人権教育推進事業 | 〔学校教育課〕 | 35～36 |
| 5 | 持続可能な地域づくりを支える社会教育の推進 | | |
| (1) | 地域学校協働活動推進事業費 | | |
| | ・・・・・・・・ | 〔生涯学習・スポーツ課〕 | 37～38 |
| 6 | 歴史と文化が息づくふるさとの創生 | | |
| (1) | 鳥取城跡保存修理事業 | 〔文化財課〕 | 39～40 |
| (2) | 歴史文化基本構想策定事業 | 〔文化財課〕 | 41～42 |
| (3) | 埋蔵文化財調査費 | 〔文化財課〕 | 43～44 |
| 7 | 親しみのある読書環境づくりの推進 | | |
| (1) | 電子図書館管理運営費 | 〔中央図書館〕 | 45～46 |
| (2) | 地域社会教育活動総合事業 | 〔中央図書館〕 | 47～48 |
| 8 | 子どもの健全な食生活と学校保健の推進 | | |
| (1) | 学校給食運営事業 | 〔学校保健給食課〕 | 49～50 |
| (2) | 備品整備（学校給食センター） | 〔学校保健給食課〕 | 51～52 |
| 9 | すべての市民がいつでも親しむことのできるスポーツ活動の振興 | | |
| (1) | 子どものころづくり支援「夢の教室」事業 | | |
| | ・・・・・・・・ | 〔生涯学習・スポーツ課〕 | 53～54 |
| (2) | 地域運営型部活動推進モデル事業 | | |
| | ・・・・・・・・ | 〔生涯学習・スポーツ課〕 | 55～56 |
| (3) | 市民総スポーツ運動 | 〔生涯学習・スポーツ課〕 | 57～58 |
| (4) | 市民体育館等再整備事業 | 〔生涯学習・スポーツ課〕 | 59～60 |
| V | 学識経験者の意見（総評） | ・・・・・・・・ | 61～62 |

I はじめに

1 制度の目的

鳥取市教育委員会は、市民一人ひとりが、社会の変化や課題に対応しながら夢や希望に向かって力強く歩んでいけるよう、ふるさとへの思いや志をもち、たくましく活躍できる人づくりを基本理念とし、教育の充実を図り、質を高める「知を開く」、郷土を愛し豊かな心を育む「徳を啓く」、未来を創造する健やかな体を育む「体を拓く」、という3つの「ひらく」を推進しております。

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」では、各教育委員会は、毎年、その教育行政事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することが義務づけられています。

鳥取市教育委員会は、この法の趣旨に則し、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民の皆様への説明責任を果たすため、令和4年度の事務事業について「教育委員会事務の自己点検・評価」を実施し、報告書にまとめました。点検・評価に当たっては、学識経験を有する者によるヒアリングを受け、主要な事業の評価及び全体的な総合評価をいただきました。

《参考》 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2 点検・評価の対象

本市では、「第11次鳥取市総合計画」や各種計画との整合性を図りながら今後5年間の教育施策の基本方針を示す「第2期鳥取市の教育等の振興に関する大綱」を定め、より具体的な方向性を示す「第2期鳥取市教育振興基本計画」を策定しました。令和5年度（令和4年度事業対象）の点検・評価の実施にあたっては、基本計画の具体的な取組の中から鳥取市教育委員会が重点的に取り組んでいる事業として、24事業を抽出し、点検・評価を実施しました。

3 点検・評価の方法

事業ごとの自己点検・評価シートに、教育委員会の自己評価を記入したうえで、学識経験者の所見をいただきました。

さらに、学識経験者からは点検・評価結果全体に対する総合評価をいただきました。

【点検・評価シートの構成】

- ① 基本情報
(総合計画の位置付け)
- ② 事業目的
(対象、意図、手段)
- ③ 事業の年度別計画・実績
- ④ 令和4年度の事務事業実施概要
- ⑤ 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標
- ⑥ 活動指標の達成率
- ⑦ 評価
- ⑧ 事業の成果を踏まえた今後の方向性
- ⑨ 学識経験者の所見

【ご意見をいただいた学識経験者】

- 鳥取大学 農学部生命環境農学科 教授 松村一善 氏
- 公立鳥取環境大学 経営学部 教授 石川真澄 氏

4 自己点検・評価対象事業一覧 (R4年度実績)

[第2期鳥取市の教育等の振興に関する大綱 施策体系・事務事業一覧]

※ [] は点検・評価対象事業

| 基本方針 | 政策 | 推進施策 | 事業名 | 担当部署 | | |
|--|--|---|-----------------------------|---|-------------------------|-------|
| I 教育の充実を図りその質を高めます！ 【知を開く】 | (1) 社会を生きぬく力を育む教育の推進 | 1 小中一貫教育を推進し、学校・家庭・地域が連携、協働しながら、児童生徒の将来に対する夢・希望や志をひらき、次代を担う人材を育成します。 | 1 自立と創造の学校・学園づくり推進事業費 | 学校教育課 | | |
| | | 2 グローバル化や情報化等に対応した授業改善を進め、児童生徒一人ひとりの主体的・対話的で深い学びの実現をめざします。 | 2 魅力と徹底の学力向上推進事業費 | 学校教育課 | | |
| | | | 3 G I G Aスクール構想事業費 | 総合教育センター | | |
| | | | 4 語学指導等外国青年招致事業費 | 学校教育課 | | |
| | | 3 人との豊かなかかわりにより児童生徒の自己有用感を高めるとともに自治力のある集団づくりを推進します。 | 6 子どもたちの心と自治力育成事業費 | 学校教育課 | | |
| | | | | | | |
| | (2) すべての子どもの学びの保障の充実 | 1 すべての児童生徒が自らの能力や可能性を最大限に伸ばすため、教育の機会を確保し、一人ひとりの実情やニーズに応じた教育の充実を図ります。 | 7 教職員研修運営事業費 | 学校教育課 | | |
| | | | 8 児童生徒支援事業費 | 総合教育センター | | |
| | | 2 不登校やその傾向にある児童生徒の教育を保障し、適切な支援を行います。 | 9 特別支援教育推進事業費 | 学校教育課 | | |
| | | | 10 外国人等児童生徒編入入学支援事業費 | 学校教育課 | | |
| | | | 11 遠距離通学費補助金 (小学校) | 学校保健給食課 | | |
| | | | 12 遠距離通学費補助金 (中学校) | 学校保健給食課 | | |
| | | | 13 要保護・準要保護児童就学援助費 (小学校) | 学校保健給食課 | | |
| | | | 14 要保護・準要保護児童就学援助費 (中学校) | 学校保健給食課 | | |
| | | | 15 準要保護児童・生徒給食扶助費 (小学校) | 学校保健給食課 | | |
| | | | 16 準要保護児童・生徒給食扶助費 (中学校) | 学校保健給食課 | | |
| | | | 17 特別支援学級教育就学奨励費 (小学校) | 学校保健給食課 | | |
| | | | 18 特別支援学級教育就学奨励費 (中学校) | 学校保健給食課 | | |
| | | | (3) 充実した教育環境の推進 | 1 子どもが生き生きと学び活動できる環境を整えるため、老朽化した施設の改修や、トイレの洋式化などの学校施設の充実を図ります。 | 19 学校維持補修費 (小学校・大規模) | 教育総務課 |
| | | | | | 20 大規模改築事業費 (小学校) | 教育総務課 |
| | 21 小学校増改築事業費 | 教育総務課 | | | | |
| | 22 学校維持補修費 (中学校・大規模) | 教育総務課 | | | | |
| | 23 中学校増改築事業費 | 教育総務課 | | | | |
| | 2 学校と地域が一体となり、地域の実情に応じた活力ある学校づくりをめざすため、学校のあり方を検討する組織づくりを支援します。 | 24 鳥取市立学校校区再編推進事業費 | | 教育総務課 | | |
| | | | | | | |
| | 3 ICTの活用や学校サポート体制の構築を図り、学校業務の効率化や共同化など学校業務の改善によって教職員の多忙化を解消します。 | 25 学校働き方改革推進事業費 | | 学校教育課 | | |
| | | | | | | |
| | 4 教職員の健康保持と教育活動の充実を図るため、労働安全衛生管理体制の整備を図ります。 | 26 学校医報酬等 | | 学校保健給食課 | | |
| | | 27 衛生管理費 | | 学校保健給食課 | | |
| | 5 事故や災害、感染症等に対して、児童生徒が正しい知識をもち自らの命を守ることができるよう、実践的な学習を通して危機管理意識を高める教育を推進します。 | 28 学校安全推進事業費 | 学校教育課 | | | |
| | | | | | | |
| 6 交通安全・防犯・災害時対応等の視点から、関係機関との連携のもと、通学路の安全確保を推進します。 | 29 事務局運営費 (学校保健給食課) | 学校保健給食課 | | | | |
| | | | | | | |
| 7 放課後児童クラブや放課後子ども教室を設置し、放課後の児童の安全・安心な場所を確保するとともに、家庭や地域等と連携し児童の健全な育成を図ります。 | 30 放課後児童対策事業費 | 学校教育課 | | | | |
| | 31 放課後子ども教室推進事業費 | 学校教育課 | | | | |

4 自己点検・評価対象事業一覧 (R4年度実績)

[第2期鳥取市の教育等の振興に関する大綱 施策体系・事務事業一覧]

※ [] は点検・評価対象事業

| 基本方針 | 政策 | 推進施策 | 事業名 | 担当部署 | |
|-----------------------------------|--|--|--|-----------------|------------|
| II 郷土を愛し、豊かな心を育む学びの環境を築きます！【徳を啓く】 | (1) 生涯にわたり心豊かに学び育つことができる環境の充実 | 1 市民が自発的に、自由に学ぶことのできる多様な学習機会や情報の提供の充実を図ることで、生涯学習社会の実現をめざします。 | 32 生涯学習推進事業費 | 生涯学習・スポーツ課 | |
| | | | 33 生涯学習講座推進事業費 麒麟のまちアカデミー開設費 | 生涯学習・スポーツ課 | |
| | | | 34 地区公民館事業費 | 生涯学習・スポーツ課 | |
| | | 2 市民が学んだ成果を、地域でいかしながら自己実現を図り、生きがいに満ちた暮らしの実現を支援します。 | 35 人権教育推進事業費 | 総合教育センター | |
| | | | 36 児童生徒交流体験事業費 | 学校教育課 | |
| | | | 37 文化センター施設整備費 | 生涯学習・スポーツ課 | |
| | | (2) 持続可能な地域づくりを支える社会教育の推進 | 1 地区公民館等の社会教育施設の活用により地域の教育力を高め、学びの成果をいかした住民主体の地域づくりの推進を後押しします。 | 38 ものづくり道場推進事業費 | 生涯学習・スポーツ課 |
| | | | | 39 青年団体育成費補助金 | 生涯学習・スポーツ課 |
| | | | | 40 PTA育成費 | 生涯学習・スポーツ課 |
| | 2 未来を創り出す子どもたちの成長のために、学校のみならず、地域住民や保護者等も含め、市民一人ひとりが教育の当事者となり、社会総がかりでの教育の実現を図ります。 | | 41 子育てネットワーク推進事業費 | 生涯学習・スポーツ課 | |
| | | | 42 青少年団体育成費補助金 | 生涯学習・スポーツ課 | |
| | | | 43 地域学校協働活動推進事業費 | 生涯学習・スポーツ課 | |
| | | | 44 児童生徒交流体験事業費 | 学校教育課 | |
| | 3 本市のもつ豊かな自然、産業、歴史、芸術、文化財等の地域資源を学びの中で活用し、ふるさとへの良さに気づき、ふるさとを愛する心を育みます。 | | 45 さじアストロパーク企画イベント等事業費 | さじアストロパーク | |
| | | | 46 さじアストロパーク運営管理費 | さじアストロパーク | |
| | | | 47 史跡鳥取藩主池田家墓所管理補助金 | 文化財課 | |
| | (3) 歴史と文化が息づくふるさとへの創生 | 1 文化芸術の振興や文化財への愛護精神の醸成を図り、文化財の保存と活用を進め、次世代への継承に努めます。 | 48 文化財調査費 | 文化財課 | |
| | | | 49 鳥取城跡保存修理事業 | 文化財課 | |
| | | | 50 歴史文化基本構想策定事業費 | 文化財課 | |
| | | 2 伝統文化や歴史遺産に刻まれた先人たちの足跡に触れることで、地域への理解と絆を深め、郷土を愛する豊かな人間性を持った人材を育成します。 | 51 埋蔵文化財調査費 | 文化財課 | |
| | | | 52 上寺地遺跡管理事業費 | 文化財課 | |
| | | | 53 旧美敷水源池水道施設管理活用事業費 | 文化財課 | |
| | | | 54 歴史博物館管理費 | 文化財課 | |
| | | 3 情報発信を促進し、観光客など多くの人が来訪する、歴史と文化の薫りに満ちた活力あるまちづくりを推進します。 | 55 仁風閣・宝扇庵管理 | 文化財課 | |
| | | | 56 因幡万葉歴史館管理費 | 文化財課 | |
| | | | 57 文化財団運営補助金事業 | 文化財課 | |
| (4) 親しみのある読書環境づくりの推進 | 1 年齢や障がいの有無などにかかわらず、すべての市民が読書を通して、豊かな心や夢を育み、人づくりや地域づくりを推進します。 | 58 図書購入費 | 中央図書館 | | |
| | | 59 電子図書館管理運営費 | 中央図書館 | | |
| | 2 図書館を通してさまざまな出会いの場をつくり、市民が集い、にぎわい、つながりあう交流を促進し、さらなる地域文化の創造を支援します。 | 60 一般管理費（市民図書館） | 中央図書館 | | |
| | | 61 図書館情報管理システム処理費 | 中央図書館 | | |
| | 3 学校・家庭・地域と図書館との連携を図りながら、子どもたちの読書活動を推進し、家庭・地域の教育力の向上を図ります。 | 62 地域社会教育活動総合事業費 | 中央図書館 | | |

4 自己点検・評価対象事業一覧 (R4年度実績)

[第2期鳥取市の教育等の振興に関する大綱 施策体系・事務事業一覧]

※ は点検・評価対象事業

| 基本方針 | 政策 | 推進施策 | 事業名 | 担当部署 | |
|-------------------------------------|--------------------------------------|---|---|------------------|------------|
| III 未来を創造する健やかな体を育みます！ 【体を拓く】 | (1) 子どもの健全な食生活と学校保健の推進 | 1 児童生徒の心身の成長や健康の保持増進を図るため、学校給食の栄養バランスを工夫するとともに、地場産物の活用や望ましい食習慣を養う取組など食育の推進を図ります。 | 63 給食配送委託費 | 学校保健給食課 | |
| | | | 64 給食調理委託費 | 学校保健給食課 | |
| | | | 65 学校給食未納対策費 | 学校保健給食課 | |
| | | | 66 学校給食運営事業費 | 学校保健給食課 | |
| | | | 67 備品整備 (学校給食センター) | 学校保健給食課 | |
| | | | 68 学校給食食物アレルギー対策事業費 | 学校保健給食課 | |
| | | 2 学校給食センターの再整備、設備の充実に取り組むとともに、食物アレルギー対応等の対策を強化し、安全で安心な学校給食を提供します。 | 69 学校給食食物アレルギー対策事業費 (研修費) | 学校保健給食課 | |
| | | | 3 児童生徒の心身の健全な発達を図るため、教科や特別活動など、教育活動全体を通して学ぶ保健教育と、環境衛生の維持、健康診断の実施など、学校における保健管理を推進し、生きる力を育みます。 | 70 学校医報酬等 | 学校保健給食課 |
| | | | | 71 衛生管理費 | 学校保健給食課 |
| | (2) すべての市民がいつでも親しむことのできるスポーツ活動の振興 | 1 乳幼児期から高齢者まで運動やスポーツに親しむ機会の充実に取り組み、体力向上と健康寿命の延伸を図りながら、生涯にわたり豊かな心と健やかな体を育みます。 | 72 子どものこころづくり支援「夢の教室」事業費 | 生涯学習・スポーツ課 | |
| | | | 73 市民体育祭開催費 | 生涯学習・スポーツ課 | |
| | | | 74 子どもの身体・健康づくり推進事業費 | 生涯学習・スポーツ課 | |
| | | | 75 地域運営型部活動推進モデル事業費 | 生涯学習・スポーツ課 | |
| | | | 76 麒麟のまち交流スポーツ大会事業費 | 生涯学習・スポーツ課 | |
| | | 2 年齢や性別、障がい等に関わらず、すべての市民がいつでもスポーツに親しめる多様なスポーツ活動を推進し、市民がいつでも誰もがスポーツに取り組むため各地域や各種団体等のスポーツ推進人材の育成を進めます。 | 77 地域運営型部活動推進モデル事業費 | 生涯学習・スポーツ課 | |
| | | | 3 2020年東京オリンピック・パラリンピックの経験を糧にスポーツの大規模競技会や事前キャンプを積極的に誘致して、市内外の交流人口を増加させ、スポーツを通じた活力あるまちづくりを進めます。 | 78 ガイナーレ鳥取力向上事業費 | 生涯学習・スポーツ課 |
| | | | | 79 Jリーグ公式戦等運営費 | 生涯学習・スポーツ課 |
| | | 80 鳥取マラソン開催費 | | 生涯学習・スポーツ課 | |
| | | 4 新たに整備する市民体育館やハードスタジアムを核とした、すべての市民がスポーツに参画できる安全で多様なスポーツ環境の確保を図ります。 | 81 スポレク祭開催費 | 生涯学習・スポーツ課 | |
| | | | 82 市民総スポーツ運動費 | 生涯学習・スポーツ課 | |
| | | | 83 体育施設管理費 | 生涯学習・スポーツ課 | |
| | | | 84 屋外体育施設管理費 | 生涯学習・スポーツ課 | |
| | | | 85 市民体育館等再整備事業費 | 生涯学習・スポーツ課 | |
| | | | 86 地区体育館管理費 | 生涯学習・スポーツ課 | |
| | 87 屋外体育施設管理費 | | 生涯学習・スポーツ課 | | |
| | 88 小学生スポーツ全国大会出場補助金 | | 生涯学習・スポーツ課 | | |

Ⅱ 教育委員会の活動状況

1 教育委員選任状況（令和4年度）

| 職名 | 氏名 | 備考 |
|----------|--------|------------------|
| 教育長 | 尾室 高志 | R3.10.1～（3期目） |
| 教育長職務代理人 | 藤井 喜臣 | R3.10.6～（3期目） |
| 委員 | 山脇 彰子 | H30.10.9～R4.10.8 |
| 委員 | 谷口 なおこ | R4.10.9～ |
| 委員 | 畑 千鶴乃 | R1.10.15～（2期目） |
| 委員 | 前田 哲雄 | R2.10.1～ |

2 教育委員会会議の開催状況

| | |
|---------|-----------|
| 定例教育委員会 | 12回（毎月1回） |
| 臨時教育委員会 | 1回 |

3 教育委員会審議案件

| | | |
|-----------------------|----|-----|
| (1) 教育委員会規則・訓令の制定及び改廃 | …… | 7件 |
| (2) 職員の人事に関する事 | …… | 1件 |
| (3) その他 | …… | 2件 |
| 合計 | …… | 10件 |

【教育委員会審議案件一覧】

| 議案番号 | 提出(審議)日 | 種別 | 件名 | 担当課 |
|------|------------|-----|--|------------|
| 第6号 | R4. 7. 29 | 規則 | 鳥取市サイクリングターミナルの設置及び管理に関する条例施行規則の廃止について | 生涯学習・スポーツ課 |
| 第7号 | R4. 7. 29 | 規則 | 鳥取市教育委員会事務局等組織規則の一部改正について | 生涯学習・スポーツ課 |
| 第8号 | R4. 7. 29 | 規則 | 鳥取市教育委員会事務決裁規程の一部改正について | 生涯学習・スポーツ課 |
| 第9号 | R4. 10. 25 | 規則 | 鳥取市立図書館の設置及び管理に関する条例施行規則の一部改正について | 中央図書館 |
| 第10号 | R4. 12. 27 | その他 | 鳥取市学校教育情報化推進計画の策定について | 学校教育課 |
| 第1号 | R5. 1. 31 | 規則 | 鳥取市体育館の設置及び管理に関する条例施行規則の一部改正について | 生涯学習・スポーツ課 |
| 第2号 | R5. 2. 27 | 人事 | 教育委員の辞職への同意について | 教育総務課 |
| 第3号 | R5. 3. 7 | 人事 | 令和4年度末教職員人事異動内示について | 学校教育課 |
| 第4号 | R5. 3. 27 | 規則 | 鳥取市立小学校、中学校及び義務教育学校管理規則の一部改正について | 学校教育課 |
| 第5号 | R5. 3. 27 | 規則 | 鳥取市小学校、中学校及び義務教育学校職員服務規程の一部改正について | 学校教育課 |

4 その他の活動状況

(1) 学校計画訪問

教育現場の実態や課題を把握するとともに、指導や助言を行い、適切な学校運営を支援するため、年次計画的に学校訪問を実施しており、令和4年度は7月から11月にかけて下記の学校を訪問し、授業（指導案、学習過程）及び学級経営等への指導をとおして、教職員の資質（授業力・教師力）の向上を図りました。

【令和4年度 学校計画訪問実施校】 計14校

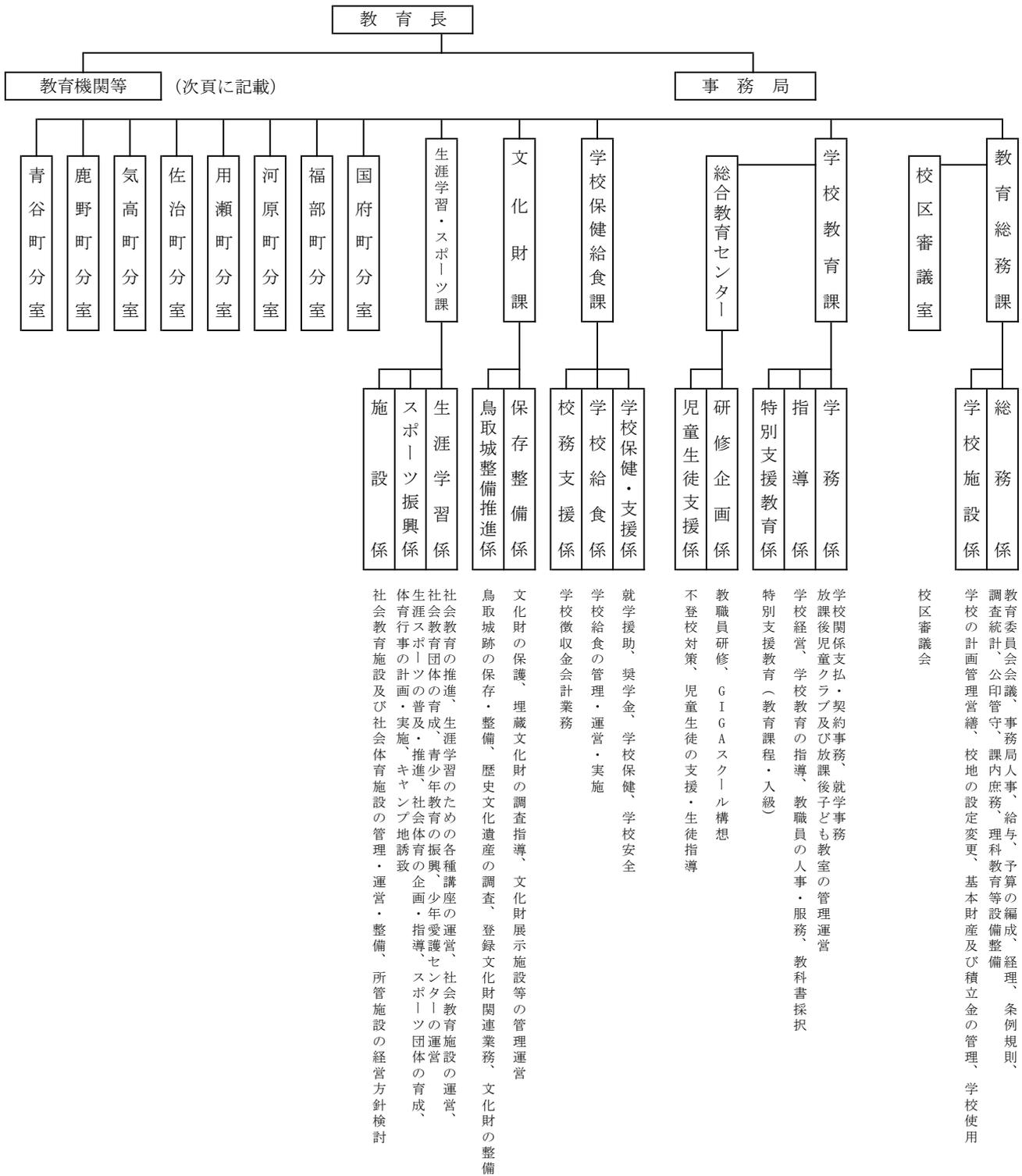
| | |
|----------------|--|
| 小学校 (8校) | 久松小学校、醇風小学校、美保小学校、倉田小学校、 若葉台小学校、用瀬小学校、西郷小学校、青谷小学校 |
| 中学校 (4校) | 北中学校、西中学校、湖東中学校、桜ヶ丘中学校 |
| 義務教育学校 (2校) | 湖南学園、江山学園 |

(2) 協議会、研修会等への出席

| 時 期 | 内 容 |
|-----------------|---|
| 7月12日 | 鳥取県市町村教育委員会研究協議会定期総会（倉吉市） |
| 7月12日 | 鳥取県市町村教育委員会研究協議会研究大会（倉吉市） 研究発表 第1部会（教育行財政） 「倉吉市の教育行政」 第2部会（学校教育） 「若桜町の学校教育 ～若桜学園一貫教育10年～」 第3部会（社会教育・保健体育・文化） 「南部町「社会教育の底力」ツアー」 |
| 12月23日 (第3回) | 市町村教育委員会協議会（神戸市）※大雪のため欠席 内容…いじめ・不登校支援について、地域と学校の連携・協働について、部活動のあり方について |
| 1月27日 | 教育委員会教育委員等研修会（倉吉市） 内容…部活動の地域移行について、教員の資質能力の向上について、ICT活用とメディア・リテラシーについて |

(3) 総合教育会議

| 時 期 | 内 容 |
|------------------|--|
| 第 1 回 (12月2日) | 幼稚園・保育園と小学校との連携について 部活動の地域移行について 放課後児童クラブの取組について |



●教育機関等施設所在地

| 番号 | 名 称 | 番号 | 名 称 | 番号 | 名 称 | 番号 | 名 称 |
|---------|-----------|------------|-------------|--------------|--------------------|------------|--------------------|
| 〔市役所〕 | | 62 | 高草中学校 | 121 | 千代水地区公民館 | 169 | 千代テニス場 |
| 1 | 鳥取市役所本庁舎 | 63 | 湖東中学校 | 122 | 大茅地区公民館 | 170 | 城北テニス場 |
| 3 | 市役所駅南庁舎 | 65 | 桜ヶ丘中学校 | 123 | 成器地区公民館 | 171 | Axisパードスタジアム |
| 4 | 国府町総合支所 | 66 | 中ノ郷中学校 | 124 | 谷地区公民館 | 172 | 国府町農村勤労福祉センタープール |
| 5 | 福部町総合支所 | 67 | 国府中学校 | 125 | 宮下地区公民館 | 173 | 国府町運動場 |
| 6 | 河原町総合支所 | 69 | 河原中学校 | 126 | あおば地区公民館 | 174 | 鳥取市若葉台スポーツセンター |
| 7 | 用瀬町総合支所 | 70 | 千代南中学校 | 127 | 福部地区公民館 | 175 | 福部町ほっとスイミングプール |
| 8 | 佐治町総合支所 | 72 | 気高中学校 | 128 | 河原地区公民館 | 176 | 福部町グラウンド |
| 9 | 気高町総合支所 | 74 | 青谷中学校 | 129 | 国英地区公民館 | 177 | 福部町テニスコート |
| 10 | 鹿野町総合支所 | 〔市立義務教育学校〕 | | 130 | 八上地区公民館 | 178 | 河原町総合運動場 |
| 11 | 青谷町総合支所 | 32 | 湖南学園 | 131 | 散岐地区公民館 | 180 | 佐治町B&G海洋センター |
| 〔市立小学校〕 | | 68 | 福部未来学園 | 132 | 西郷地区公民館 | 181 | 佐治町多目的運動広場 |
| 12 | 久松小学校 | 54 | 鹿野学園（流沙川学舎） | 133 | 社地区公民館 | 182 | 気高町B&G海洋センター |
| 13 | 醇風小学校 | 73 | 鹿野学園（王舎城学舎） | 134 | 用瀬地区公民館 | 183 | 気高町運動広場 |
| 14 | 遷喬小学校 | 26 | 江山学園 | 135 | 大村地区公民館 | 184 | 気高町龍見台テニスコート |
| 15 | 修立小学校 | 〔市立幼稚園〕 | | 137 | 宝木地区公民館 | 185 | 鹿野町B&G海洋センター |
| 16 | 日進小学校 | 75 | 福部未来学園幼稚園 | 138 | 酒津地区公民館 | 186 | 鹿野町運動広場 |
| 17 | 富桑小学校 | 76 | 河原あゆっこ園 | 139 | 瑞穂地区公民館 | 187 | 青谷町グラウンド |
| 18 | 稲葉山小学校 | 77 | 幼児センターこじか園 | 140 | 逢坂地区公民館 | 188 | 青谷町グラウンドゴルフ場 |
| 19 | 城北小学校 | 〔総合教育センター〕 | | 141 | 浜村地区公民館 | 〔武 道 館〕 | |
| 20 | 美保小学校 | 78 | 総合教育センター | 142 | 鹿野地区公民館 | 189 | 鳥取市武道館 |
| 21 | 賀露小学校 | 〔中央公民館〕 | | 143 | 勝谷地区公民館 | 196 | 鳥取市弓道場 |
| 22 | 明德小学校 | 79 | 中央公民館 | 144 | 小鷲河地区公民館 | 〔学校給食施設〕 | |
| 23 | 倉田小学校 | 〔地区公民館〕 | | 145 | 青谷地区公民館 | 191 | 第一学校給食センター |
| 24 | 面影小学校 | 88 | 久松地区公民館 | 146 | 日置地区公民館 | 192 | 第二学校給食センター |
| 27 | 大正小学校 | 89 | 遷喬地区公民館 | 147 | 日置谷地区公民館 | 193 | 湖東学校給食センター |
| 28 | 東郷小学校 | 90 | 城北地区公民館 | 148 | 勝部地区公民館 | 194 | 国府学校給食センター |
| 29 | 明治小学校 | 91 | 浜坂地区公民館 | 149 | 中郷地区公民館 | 195 | 河原学校給食センター |
| 30 | 世紀小学校 | 92 | 中ノ郷地区公民館 | 〔主なコミュニティ施設〕 | | 197 | 気高学校給食センター |
| 31 | 湖山小学校 | 93 | 醇風地区公民館 | 80 | 国府町コミュニティセンター | 198 | 鹿野学校給食センター |
| 33 | 末恒小学校 | 94 | 修立地区公民館 | 81 | 福部町コミュニティセンター | 199 | 青谷学校給食センター |
| 34 | 米里小学校 | 95 | 日進地区公民館 | 82 | 河原町コミュニティセンター | 〔主な文化観光施設〕 | |
| 35 | 津ノ井小学校 | 96 | 富桑地区公民館 | 83 | 用瀬町民会館 | 200 | 仁風閣 |
| 36 | 浜坂小学校 | 97 | 明德地区公民館 | 84 | 佐治町コミュニティセンター | 201 | 鳥取世界おもちゃ館（わらべ館） |
| 37 | 岩倉小学校 | 98 | 美保地区公民館 | 85 | 気高町コミュニティセンター | 202 | 鳥取市歴史博物館（やまびこ館） |
| 38 | 美保南小学校 | 99 | 美保南地区公民館 | 87 | 青谷町コミュニティセンター | 203 | 因幡万葉歴史館 |
| 39 | 湖山西小学校 | 100 | 稲葉山地区公民館 | 〔生涯学習施設〕 | | 204 | 河原歴史民俗資料館 |
| 40 | 中ノ郷小学校 | 101 | 岩倉地区公民館 | 150 | 鳥取市文化センター | 205 | 用瀬郷土歴史館 |
| 41 | 若葉台小学校 | 102 | 倉田地区公民館 | 151 | 鳥取市こども科学館 | 206 | 佐治天文台（さじアストロパーク） |
| 42 | 宮ノ下小学校 | 103 | 面影地区公民館 | 152 | 鳥取市福祉文化会館 | 207 | 佐治歴史民俗資料館 |
| 43 | 国府東小学校 | 104 | 津ノ井地区公民館 | 155 | 鳥取市視聴覚ライブラリー | 208 | 青谷上寺地遺跡展示館 |
| 45 | 河原第一小学校 | 105 | 若葉台地区公民館 | 213 | 鳥取市生涯学習センター | 209 | あおや郷土館 |
| 46 | 西郷小学校 | 106 | 米里地区公民館 | 〔主な体育施設〕 | | 〔図 書 館〕 | |
| 47 | 散岐小学校 | 107 | 神戸地区公民館 | 156 | 鳥取市民体育館エネトピアアリーナ | 210 | 鳥取市立中央図書館（市役所駅南庁舎） |
| 48 | 用瀬小学校 | 108 | 大和地区公民館 | 158 | 河原町総合体育館 | 211 | 用瀬図書館 |
| 49 | 佐治小学校 | 109 | 美徳地区公民館 | 159 | 河原町勤労者体育館 | 212 | 気高図書館 |
| 50 | 宝木小学校 | 110 | 東郷地区公民館 | 160 | 用瀬町勤労者体育センター | | |
| 51 | 瑞穂小学校 | 111 | 大正地区公民館 | 162 | 気高町勤労者体育センター | | |
| 52 | 浜村小学校 | 112 | 豊実地区公民館 | 163 | 気高町農業者トレーニングセンター | | |
| 53 | 逢坂小学校 | 113 | 明治地区公民館 | 164 | 鹿野町農業者トレーニングセンター | | |
| 55 | 青谷小学校 | 114 | 松保地区公民館 | 165 | 青谷町体育館 | | |
| 〔市立中学校〕 | | 115 | 湖南地区公民館 | 166 | 青谷町農林漁業者トレーニングセンター | | |
| 56 | 東中学校 | 116 | 湖南地区公民館大郷分館 | 〔主なスポーツ施設〕 | | | |
| 57 | 東中学校のぞみ分校 | 117 | 末恒地区公民館 | 167 | 鳥取市スケートボード場 | | |
| 58 | 西中学校 | 118 | 湖山地区公民館 | 168 | 鳥取市B&G海洋センター | | |
| 59 | 南中学校 | 119 | 湖山西地区公民館 | | | | |
| 60 | 北中学校 | 120 | 賀露地区公民館 | | | | |

IV 自己点検・評価の結果

自己点検・評価シート

| | | | |
|-------|------------------|-------------|-------|
| 整理No. | 1 | 鳥取市教育振興基本計画 | |
| 事務事業名 | 自立と創造の学校づくり推進事業費 | 所属名 | 学校教育課 |

1. 基本情報

| | | | |
|--------------------------|------|---|-----|
| 位基教 置本育 づ計振 け画興 | 体系区分 | コード | 名 称 |
| | 基本方針 | I 教育の充実を図りその質を高めます！【知を開く】 | |
| | 政策 | (1) 社会を生きぬく力を育む教育の推進 | |
| | 推進施策 | 1. 小中一貫教育を推進し、学校・家庭・地域が連携、協働しながら、児童生徒の将来に対する夢・希望や志をひらき、次代を担う人材を育成します。 | |

2. 事業目的【PLAN】

| | |
|----------------------------|--|
| 対 象 (何を、誰を) | 全小・中・義務教育学校 |
| 意 図 (どのような状態 にするために) | 鳥取市の小・中・義務教育学校が、児童生徒の実態、保護者の願いや期待、地域の特性などを踏まえて、自立して創意工夫のある学校づくりを進展させることにより、教育目標の達成を図る。 |
| 手 段 (どうするのか) | 学校が企画した教育活動及び取組内容に応じて、創意や工夫・考え方を審査して予算配分する。 |

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

| 内容 | 年度別計画 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 | |
|--------|-----------|--|--|---------------|---------------|---------------|--|
| | | ①実施計画に基づく予算配分 | ①実施計画に基づく予算配分 | ①実施計画に基づく予算配分 | ①実施計画に基づく予算配分 | ①実施計画に基づく予算配分 | |
| | 年度別実績 | ①実施計画に基づく予算配分 ・一律支援予算 ・特別支援予算 ・人材活用支援予算 | ①実施計画に基づく予算配分 ・一律支援予算 ・特別支援予算 ・人材活用支援予算 | | | | |
| 事業費 | 区分 | 決算額(千円) | 決算額(千円) | 決算額(千円) | 決算額(千円) | 決算額(千円) | |
| | 事業費(A+B) | 24,373 | 24,334 | 0 | 0 | 0 | |
| | 直接経費 A | 22,911 | 22,834 | 0 | 0 | 0 | |
| | 直接経費の財源内訳 | 国・県 | | | | | |
| | | 地方債 | | | | | |
| | | その他 | 22,911 | 22,834 | | | |
| 一般財源 | | | | | | | |
| 人件費 B | 1,462 | 1,500 | | | | | |
| 職員数の内訳 | 正規職員 | 0.20 | 0.20 | | | | |
| | 嘱託職員 | | | | | | |
| | 臨時職員 | | | | | | |

4. 令和4年度の事務事業実施概要【DO】

| | |
|-----------|--|
| 事務事業の実施概要 | <p>現在、地域とともにある特色ある学校づくりを実現するため、各学校の教育理念や教育方針に基づき、目標達成型の自主的・自律的な学校経営を行うことが求められている。</p> <p>この事業は、そのような学校経営を後押しするために学校長裁量の予算を拡充し、学校の創意工夫、自主的な取組に関して各学校が企画立案を行い、教育委員会が評価・査定を行った上で必要な予算を措置する。学校は、児童生徒の実態、保護者の願いや期待、地域の特性などを踏まえ、地域の郷土芸能指導の講師謝金や地域での体験活動（川遊び体験、稲作体験、廃校活用イベント等）に係る費用、地域課題解決に向けた探究学習での校外学習の移動交通費等、創意工夫のある学校づくりに予算を活用している。</p> |
|-----------|--|

5. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

| | | 指標名 | 単位 | 区分 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 |
|------|---------|---|----|------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 活動指標 | 1 | 夢や目標をもっている児童生徒の割合(小学校) | % | 目標 | 86 | 87 | 88 | 89 | 90 |
| | | | | 実績 | 77.4 | 81.4 | | | |
| | (指標の説明) | 児童生徒や保護者、地域の実態や願いが加味された各学校の特色ある教育活動の推進によって、故郷に愛着をもち将来への希望をもつ児童の割合が高まると考える | | | | | | | |
| | 2 | 夢や目標をもっている児童生徒の割合(中学校) | % | 目標 | 72 | 73 | 74 | 75 | 76 |
| | | 実績 | | 65.9 | 65.9 | | | | |
| | (指標の説明) | 児童生徒や保護者、地域の実態や願いが加味された各学校の特色ある教育活動の推進によって、故郷に愛着をもち将来への希望をもつ生徒の割合が高まると考える | | | | | | | |

6. 活動指標の達成率【CHECK】

| | | 指標名 | 単位 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 |
|-------|---|------------------------|----|-------|-------|-------|-------|-------|
| 指標達成率 | 1 | 夢や目標をもっている児童生徒の割合(小学校) | % | 90% | 94% | | | |
| | 2 | 夢や目標をもっている児童生徒の割合(中学校) | % | 92% | 90% | | | |

7. 評価【CHECK】

| 評価項目と評価の視点 | 評価内容 | 評価理由 |
|-------------|--|--|
| 目的の妥当性 | <input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない | 自主的・自立的な学校経営や、国がめざす「地域とともにある学校づくり」を後押しする事業となっている。 |
| 事業の有効性 | <input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない | 児童生徒や保護者、地域の実態や願いが加味された各学校の特色ある教育活動の推進に大いに役立っており、大変有効な事業である。 |
| 資源投入の効率性 | <input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない | 各学校が独自に企画立案した計画書をもとに予算配分をしており、自立と創造の学校づくりに有効に活かされている。 |
| サービスの公平性 | <input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない | 全小・中・義務教育学校で実施し、児童生徒に還元される事業であり、公平性が確保されている。 |
| 担当課等の評価コメント | それぞれの小・中・義務教育学校で、児童生徒及び保護者、地域の実態や願いが加味された特色ある教育活動が推進されており、「自立と創造の学校づくり」の上で十分な成果が見られ、なくてはならない事業と言える。委託事業として今後も継続したい。 | |

8. 学識経験者の所見

【松村一善氏 評価結果】

| | |
|--------|--|
| 評価コメント | 市内の小・中・義務教育学校が特色ある学校づくりを目指して取り組む教育活動を支援するものであり、対象校全てが利用していることから必要な事業であることがわかる。各学校の創意工夫、自主的な取組に関する企画立案を教育委員会が評価・査定して予算配分を行っており、適切に事業が行われていると推察する。ただし、「地域の実態や願い」をどのように把握し、本事業で取り組む教育活動につなげていくのかについては、十分な記述がない。これらの点については、学校間の情報共有を行う等の改善が必要であると判断した。 |
|--------|--|

【石川真澄氏 評価結果】

| | |
|--------|---|
| 評価コメント | 各校独自の創意ある取り組みを支援する事業として続けられており、計画および期末の査定・評価が行われるため学校単位では一定の評価と改善のプロセスが機能していると考えられる。一方で、全体の事業の評価に用いる指標に「夢や目標を持っている児童生徒の割合」を用いることは、情報収集に伴う負担を抑制する観点から理解できるものの、事業の多様性と照らして指標との関係性が不明確な印象をぬぐえず、検討が必要と思われる。 |
|--------|---|

9. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

| | | | | |
|-----------|---|--|---|--|
| 今後の方向性 | <input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了 | <input type="checkbox"/> (1) 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> (1) 手段等の改善 <input type="checkbox"/> (1) 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> (1) 臨年実施等、意図的に休止 | <input type="checkbox"/> (2) 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> (2) 効率化・簡素化 <input type="checkbox"/> (2) 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> (2) 意図的に廃止 | <input checked="" type="checkbox"/> (3) 他事業との統合 <input type="checkbox"/> (3) 制度的に終了 |
| 今後の課題・方向性 | 令和5年度からは「魅力ある算数・数学等実践推進事業」、「笑顔あふれる自治力育成研究事業」の事業を本事業に統合する。児童生徒の実態、保護者の願いや期待、地域の特性などを踏まえて、自立して創意工夫のある学校づくりに対する予算配分を適切に行い、特色ある教育活動をより一層推進していく。 | | | |

自己点検・評価シート

| | | | |
|-------|-----------------|-------------|-------|
| 整理No. | 2 | 鳥取市教育振興基本計画 | |
| 事務事業名 | 魅力と徹底の学力向上推進事業費 | 所属名 | 学校教育課 |

1. 基本情報

| | | | |
|----------------------------------|------|-----|--|
| 位 基 教 置 本 育 づ 計 振 け 画 興 | 体系区分 | コード | 名 称 |
| | 基本方針 | 1 | 教育の充実を図りその質を高めます！【知を開く】 |
| | 政策 | (1) | 社会を生きぬく力を育む教育の推進 |
| | 推進施策 | 2. | グローバル化や情報化等に対応した授業改善を進め、児童生徒一人ひとりの主体的・対話的で深い学びの実現をめざします。 |

2. 事業目的【PLAN】

| | |
|------------------------|---|
| 対 象 (何を、誰を) | 全小・中・義務教育学校 |
| 意 図 (どのような状態にするために) | 学ぶことの楽しさを感じられる魅力ある授業づくりと学習内容の定着を図る取組を徹底し、学力の向上をめざす。 |
| 手 段 (どうするのか) | ①魅力ある授業づくりのための実践を指定中学校区で行い、全中学校区で共有し授業改善に活かす。 ②全小・中・義務教育学校に基礎学力定着支援員を配置し、学習内容の定着を図る。 ③鳥取市共有学力調査を実施することで学力状況を把握し、授業改善に活かす。 |

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

| | | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 |
|-------------|---------------------------|--|--|--|---|---|
| 内 容 | 年度別計画 | ①魅力ある算数・数学等実践推進事業：希望する中学校区で実施 ②基礎学力定着支援事業：全ての学校で実施 ③鳥取市共通学力調査：全ての学校で実施 | ①魅力ある算数・数学等実践推進事業：希望する中学校区で実施 ②基礎学力定着支援事業：全ての学校で実施 ③鳥取市共通学力調査：全ての学校で実施 | ①魅力ある算数・数学等実践推進事業：希望する中学校区で実施 ②基礎学力定着支援事業：全ての学校で実施 ③鳥取市共通学力調査：全ての中・義務教後で実施 | ①魅力ある算数・数学等実践推進事業：希望する中学校区で実施 ②基礎学力定着支援事業：全ての学校で実施 | ①魅力ある算数・数学等実践推進事業：希望する中学校区で実施 ②基礎学力定着支援事業：全ての学校で実施 |
| | 年度別実績 | ①3中学校区(湖東、中ノ郷、鹿野) ②支援回数2,229回 支援員延べ141名 ③小・義前2～3年：国・算、中・義後1～3年：国・数・社・英・理 | ①5中学校区(湖東、中ノ郷、鹿野) ②支援回数3,230回 支援員延べ138名 ③小・義前2～3年：国・算、中・義後1～3年：国・数・社・英・理 | | | |
| 事 業 費 | 区分 | 決算額(千円) | 決算額(千円) | 決算額(千円) | 決算額(千円) | 決算額(千円) |
| | 事業費(A+B) | 17,321 | 17,615 | 0 | 0 | 0 |
| | 直接経費 A | 14,397 | 14,615 | 0 | 0 | 0 |
| | 直接経費の財源内訳 | | | | | |
| | 国・県 地方債 その他 一般財源 | 14,397 | 14,615 | | | |
| 人件費 B | 2,924 | 3,000 | | | | |
| 職 員 数 の 内 訳 | 正規職員 | 0.40 | 0.40 | | | |
| | 嘱託職員 | | | | | |
| | 臨時職員 | | | | | |

4. 令和4年度の事務事業実施概要【DO】

| | |
|-----------|--|
| 事務事業の実施概要 | <p>学ぶことの楽しさを感じられる魅力ある授業づくりと学習内容の定着を図る取組を徹底することで学力向上をめざす。</p> <p>①魅力ある算数・数学等実践推進事業：主体的に学びに向かう児童生徒を育成し学力の向上を図るため、鳥取市学力向上推進プロジェクトチーム作成『算数・数学の「楽しい授業」ポイント』を活用した「魅力ある授業づくり」について研究する。</p> <p>②基礎学力定着支援事業：小・中・義務教育学校の児童生徒を対象として、学校と基礎学力定着支援者の連携のもとに、授業後下校までの時間及び長期休業等を利用した基礎学力定着支援を実施し、基礎学力の定着を図る。</p> <p>③鳥取市共通学力調査：児童生徒の学習内容の定着度や学力の伸びを客観的に把握・分析することで、教育施策や指導の工夫改善を図り、児童生徒一人一人の学力を確実に伸ばす教育を推進する。</p> <p>全国学力・学習状況調査で「算数・数学の勉強が好き」と回答する割合は小学校62.4%、中学校55.8%、「算数・数学の授業がよくわかる」と回答する割合は小学校80.8%、中学校75.9%であり、いずれの指標についても令和3年度から上昇した。</p> |
|-----------|--|

5. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

| | | 指標名 | 単位 | 区分 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 | |
|---------|---------------------------|------------------------------|----|------|-------|-------|-------|-------|-------|--|
| 活動指標 | 1 | 教科(算数・数学)の勉強が好きな児童生徒の割合(小学校) | % | 目標 | 62.4 | 66 | 66.2 | 66.3 | 66.4 | |
| | | | | 実績 | 65.7 | 62.4 | | | | |
| | (指標の説明) | | | | | | | | | |
| | 2 | 教科(算数・数学)の勉強が好きな児童生徒の割合(中学校) | % | 目標 | 52.3 | 54 | 54.3 | 55.3 | 56.3 | |
| | | | | 実績 | 53.7 | 55.8 | | | | |
| | (指標の説明) | | | | | | | | | |
| | 3 | 教科(国語)の勉強が好きな児童生徒の割合(小学校) | % | 目標 | 65.6 | 66.6 | 67.6 | 68.6 | 69.6 | |
| | | | | 実績 | 57.7 | 63.2 | | | | |
| (指標の説明) | | | | | | | | | | |
| 4 | 教科(国語)の勉強が好きな児童生徒の割合(中学校) | % | 目標 | 65.5 | 66.5 | 67.5 | 68.5 | 69.5 | | |
| | | | 実績 | 57.2 | 61.2 | | | | | |
| (指標の説明) | | | | | | | | | | |

6. 活動指標の達成率【CHECK】

| | | 指標名 | 単位 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 |
|-------|---|------------------------------|----|-------|-------|-------|-------|-------|
| 指標達成率 | 1 | 教科(算数・数学)の勉強が好きな児童生徒の割合(小学校) | % | 105% | 95% | | | |
| | 2 | 教科(算数・数学)の勉強が好きな児童生徒の割合(中学校) | % | 103% | 103% | | | |
| | 3 | 教科(国語)の勉強が好きな児童生徒の割合(小学校) | % | 88% | 95% | | | |
| | 4 | 教科(国語)の勉強が好きな児童生徒の割合(中学校) | % | 87% | 92% | | | |

7. 評価【CHECK】

| 評価項目と評価の視点 | 評価内容 | 評価理由 |
|-------------|--|--|
| 目的の妥当性 | <input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない | 鳥取県教育委員会の「鳥取県学力向上推進プラン」においても「子どもたち一人一人の関心意欲の向上と確かな学力の定着」が目標に掲げられている。 |
| 事業の有効性 | <input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない | 算数・数学に係る活動指標について、小・中ともに全国平均を下回ったものの、令和元年度実績から小学校4.3ポイント、中学校2.4ポイント上昇した。国語については、令和元年度実績から小学校6.9ポイント、中学校7.3ポイント低下したものの、小・中ともに全国平均並である。 |
| 資源投入の効率性 | <input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない | 魅力ある算数・数学等実践推進事業については、事業費を各中学校区で柔軟に使用できるようにしている。基礎学力定着支援事業についても、実施回数を目安を設定しつつ、各学校の計画に応じ増減して実施できるようにしている。 |
| サービスの公平性 | <input type="checkbox"/> 1. 公平である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない | 5中学校区による魅力ある算数・数学等実践推進事業の成果と課題については、実践報告動画を市内全ての学校に配信して共有した。 |
| 担当課等の評価コメント | 算数・数学に係る活動指標について、令和元年度実績からは上昇しているものの、小・中ともに全国平均を下回っている。国語については、小・中ともに全国平均並であるものの、令和元年度実績から低下している。魅力ある授業づくりと学習内容の定着を図る取組の徹底を継続する必要がある。 | |

8. 学識経験者の所見

【松村一善氏 評価結果】

| | |
|--------|---|
| 評価コメント | 本事業は①「魅力ある算数・数学等実践推進事業」②「基礎学力定着支援事業」③「鳥取市共通学力調査」の3つで構成されており、①②については成果が現れるまでに一定の期間が必要であると推察する。②については、2つの中学校を除く、市内の全ての小中義務教育学校で取り組まれており、ニーズの高さが推察されるが、支援員の確保が課題になっているようである。関係機関の連携により、支援員の質・量の確保を図るとともに、②の事業を継続することで、児童・生徒の基礎学力向上につながることを期待したい。 |
|--------|---|

【石川真澄氏 評価結果】

| | |
|--------|---|
| 評価コメント | 「魅力ある算数・数学授業実践推進事業」が算数・数学を対象とするのに対して、対象外の国語についての評価指標も同等以上の改善がみられる。「基礎学力定着支援事業」の効果も大きいと思われる。事業を実施した科目以外であっても、科目の学習に前向きに取り組む児童生徒が増えることは好ましく、意義深い変化と思われるが、事業の効果がどのように作用しているか、検証の上、事業の改善を図っていただきたい。 |
|--------|---|

9. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

| | | |
|-----------|---|--|
| 今後の方向性 | <input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了 | <input type="checkbox"/> (1) 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> (1) 手段等の改善 <input type="checkbox"/> (1) 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> (1) 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> (2) 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> (2) 効率化・簡素化 <input type="checkbox"/> (2) 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> (2) 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> (3) 他事業との統合 <input type="checkbox"/> (3) 制度的に終了 |
| 今後の課題・方向性 | 「基礎学力定着支援事業」については、各学校から支援者の確保が難しいとの声もあるが、夏休みに大学生を支援者として招いている学校もある。各学校に学校運営協議会や、大学等と連携して支援員を確保できるよう促したい。「魅力ある算数・数学等実践推進事業」については、算数・数学だけでなくすべての教科で取り組める事業としたい。 | |

自己点検・評価シート

| | | | |
|-------|------------------|-------------|---------------|
| 整理No. | 3 | 鳥取市教育振興基本計画 | |
| 事務事業名 | G I G Aスクール構想事業費 | 所属名 | 学校教育課総合教育センター |

1. 基本情報

| | | | |
|--------------------------|------|---|-----|
| 位基教 置本育 づ計振 け画興 | 体系区分 | コード | 名 称 |
| | 基本方針 | I 教育の充実を図りその質を高めます！【知を開く】 | |
| | 政策 | (1) 社会を生きぬく力を育む教育の推進 | |
| | 推進施策 | 2. グローバル化や情報化等に対応した授業改善を進め、児童生徒一人ひとりの主体的・対話的で深い学びの実現をめざします。 | |

2. 事業目的【PLAN】

| | |
|----------------------------|--|
| 対 象 (何を、誰を) | 小・中・義務教育学校 |
| 意 図 (どのような状態 にするために) | 鳥取市G I G Aスクール構想を推進し、子どもたち一人ひとりのニーズに合わせた教育の実現に向けて、I C Tを効果的に活用した学習を行う。 |
| 手 段 (どうするのか) | 学校内のI C T環境を引き続き整備する。 I C Tを効果的に活用する教員のサポート体制の構築を行う。 |

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

| | | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 | |
|--------|-----------|--|--|---|---|---|--|
| 内 容 | 年度別計画 | G I G Aスクールサポーター業務委託 校内環境整備 | G I G Aスクール運営支援センター業務委託 G I G Aスクール推進委員会 校内環境整備 | G I G Aスクール運営支援センター業務委託 G I G Aスクール推進委員会 校内環境整備 | G I G Aスクール運営支援センター業務委託 G I G Aスクール推進委員会 校内環境整備 | G I G Aスクール運営支援センター業務委託 G I G Aスクール推進委員会 児童生徒一人一台端末更新 校内環境整備 | |
| | 年度別実績 | G I G Aスクールサポーター業務委託 電子黒板整備 小学校9校88台、中学校4校6台 普通教室アクセスポイント追加設置 小学校5校 中学校3校 | G I G Aスクール運営支援センター業務委託 G I G Aスクール推進委員会 3回実施 電子黒板整備 小学校33校106台、中学校4校9台、義務教育学校2校6台 | | | | |
| 事 業 費 | 区分 | 決算額(千円) | 決算額(千円) | 決算額(千円) | 決算額(千円) | 決算額(千円) | |
| | 事業費(A+B) | 86,431 | 94,941 | 0 | 0 | 0 | |
| | 直接経費 A | 71,811 | 79,941 | 0 | 0 | 0 | |
| | 直接経費の財源内訳 | 国・県 | 4,107 | 0 | | | |
| | | 地方債 | 0 | 0 | | | |
| | | その他 | 0 | 10,451 | | | |
| 一般財源 | 67,704 | 69,490 | | | | | |
| 人件費 B | 14,620 | 15,000 | | | | | |
| 職員数の内訳 | 正規職員 | 2.00 | 2.00 | | | | |
| | 嘱託職員 | 0.00 | 0.00 | | | | |
| | 臨時職員 | 0.00 | 0.00 | | | | |

4. 令和4年度の事務事業実施概要【DO】

| | |
|-----------|--|
| 事務事業の実施概要 | 4年度はG I G Aスクール運営支援センターにヘルプデスクを設置することで、学校のI C Tに関する問い合わせ及び故障への速やかな対応が可能となり、サポート体制の更なる構築ができた。また、本市のG I G Aスクール構想事業の進むべき方向を定めるためにG I G Aスクール推進委員会を立ち上げた。 |
|-----------|--|

5. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

| | | 指標名 | 単位 | 区分 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 | |
|---------|---------------------------|------------------------------|----|------|-------|-------|-------|-------|-------|--|
| 活動指標 | 1 | 教科(算数・数学)の勉強が好きな児童生徒の割合(小学校) | % | 目標 | 62.4 | 66 | 66.2 | 66.3 | 66.4 | |
| | | | | 実績 | 65.7 | 62.4 | | | | |
| | (指標の説明) | | | | | | | | | |
| | 2 | 教科(算数・数学)の勉強が好きな児童生徒の割合(中学校) | % | 目標 | 52.3 | 54 | 54.3 | 55.3 | 56.3 | |
| | | | | 実績 | 53.7 | 55.8 | | | | |
| | (指標の説明) | | | | | | | | | |
| | 3 | 教科(国語)の勉強が好きな児童生徒の割合(小学校) | % | 目標 | 65.6 | 66.6 | 67.6 | 68.6 | 69.6 | |
| | | | | 実績 | 57.7 | 63.2 | | | | |
| (指標の説明) | | | | | | | | | | |
| 4 | 教科(国語)の勉強が好きな児童生徒の割合(中学校) | % | 目標 | 65.5 | 66.5 | 67.5 | 68.5 | 69.5 | | |
| | | | 実績 | 57.2 | 61.2 | | | | | |
| (指標の説明) | | | | | | | | | | |

6. 活動指標の達成率【CHECK】

| | | 指標名 | 単位 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 |
|-------|---|------------------------------|----|-------|-------|-------|-------|-------|
| 指標達成率 | 1 | 教科(算数・数学)の勉強が好きな児童生徒の割合(小学校) | % | 105% | 95% | | | |
| | 2 | 教科(算数・数学)の勉強が好きな児童生徒の割合(中学校) | % | 103% | 103% | | | |
| | 3 | 教科(国語)の勉強が好きな児童生徒の割合(小学校) | % | 88% | 95% | | | |
| | 4 | 教科(国語)の勉強が好きな児童生徒の割合(中学校) | % | 87% | 92% | | | |

7. 評価【CHECK】

| 評価項目と評価の視点 | 評価内容 | 評価理由 |
|-------------|--|--|
| 目的の妥当性 | <input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない | 子どもたち一人ひとりのニーズに合わせた教育に向けてICTを効果的に活用しており、妥当である。 |
| 事業の有効性 | <input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない | 児童生徒に一人一台端末を整備したことで、一人ひとりの教育的ニーズへの対応がより可能で、感染症等による長期休校等の場合でも自宅学習にも対応できるようになり有効である。 |
| 資源投入の効率性 | <input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない | GIGAスクール運営支援センターを設置することで、ICT環境の整備と運用に係る支援が一元化でき、学校へも、より細やかかつ迅速に対応できるようになった。 |
| サービスの公平性 | <input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない | 市立小・中・義務教育学校の全児童生徒へ端末を整備している。 |
| 担当課等の評価コメント | GIGAスクール推進委員会を立ち上げたことで、本市のGIGAスクール構想の実現に向けた今後の方向性を話し合う場を設けることができた。 | |

8. 学識経験者の所見

【松村一善氏 評価結果】

| | |
|--------|--|
| 評価コメント | GIGAスクール構想事業で、令和2年度に市内の全小・中・義務教育学校を対象に端末と関連機器、校内ネットワークの整備を行っており、令和4年度はGIGAスクール運営支援センターへのヘルプデスク設置、電子黒板の整備を行っている。ただし、端末利用に関しては有料のアプリ、コンテンツ、教材等は予算措置がされていないため、無料のものとなっている。今後は必要に応じて、有料教材整備、教材活用方法の共有、端末・ネットワークの保守等にも十分な予算を毎年計上し、教育方法の改善につなげることを期待したい。 |
|--------|--|

【石川真澄氏 評価結果】

| | |
|--------|---|
| 評価コメント | コロナ禍で急速にICTの利活用の環境が整備され、普及したが、ICT教育に固有の課題や、ICT教育の深化・高度化には引き続き時間を要するものと思われる。科目の学習に前向きに取り組む児童生徒が増えることは好ましく、意義深い変化と思われるが、ICT教育環境の整備が、評価指標にどのように作用しているか、検証の上、事業の改善を図っていただきたい。 |
|--------|---|

9. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

| | |
|-----------|---|
| 今後の方向性 | <input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> (1) 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> (2) 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> (1) 手段等の改善 <input type="checkbox"/> (2) 効率化・簡素化 <input type="checkbox"/> (3) 他事業との統合 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> (1) 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> (2) 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了 <input type="checkbox"/> (1) 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> (2) 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> (3) 制度的に終了 |
| 今後の課題・方向性 | 引き続きGIGAスクール運営支援センターによる学校・教職員のサポートを行うことで、児童生徒一人ひとりに応じた学びの実現や主体的・対話的で深い学びの実現に向けて、ICTを効果的に活用した授業改善につなげていく。また、GIGAスクール推進委員会において、本市のGIGAスクール構想の実現に向けた今後の方向性を協議していく。 |

自己点検・評価シート

| | | | |
|-------|------------------|-------------|-------|
| 整理No. | 6 | 鳥取市教育振興基本計画 | |
| 事務事業名 | 子どもたちの心と自治力育成事業費 | 所属名 | 学校教育課 |

1. 基本情報

| | | | |
|--------------------------|------|--|----|
| 位基教 置本育 づ計振 け画興 | 体系区分 | コード | 名称 |
| | 基本方針 | I 教育の充実を図りその質を高めます!【知を開く】 | |
| | 政策 | (1) 社会を生きぬく力を育む教育の推進 | |
| | 推進施策 | 3. 人との豊かなかかわりにより児童生徒の自己有用感を高めるとともに自治力のある集団づくりを推進します。 | |

2. 事業目的【PLAN】

| | |
|-----------------------|---|
| 対象 (何を、誰を) | 小・中・義務教育学校 |
| 意図 (どのような状態にするために) | ①道徳教育実践研究事業は、現行学習指導要領を踏まえた効果的かつ多様な指導方法や地域の特色を生かした道徳教育の充実を図る。 ②笑顔あふれる自治力育成研究事業は、学級・学校経営の要となる「自治的能力」や「人間関係形成力」の育成を図り、児童生徒の自己有用感を高める。 |
| 手段 (どうするのか) | ①道徳教育実践研究事業は、指定校による実践的な研究を行い道徳教育の充実を図るとともに、その成果等について全県的な発信を行う。 ②笑顔あふれる自治力育成研究事業は、指定中学校区で特別活動の実践研究を行い、市内各学校にその成果を広めていく。 |

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

| | | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 | |
|--------|-----------|--|---|---|---|---|--|
| 内容 | 年度別計画 | ①道徳教育実践研究事業…指定校にて実践的な研究を実施 ②笑顔あふれる自治力育成研究事業…指定中学校区にて実践的な研究を実施 | ①道徳教育実践研究事業…希望する学校があれば指定校として実践的な研究を実施 ②笑顔あふれる自治力育成研究事業…指定中学校区にて実践的な研究を実施 | ①道徳教育実践研究事業…希望する学校があれば指定校として実践的な研究を実施 ②笑顔あふれる自治力育成研究事業…指定中学校区にて実践的な研究を実施 | ①道徳教育実践研究事業…希望する学校があれば指定校として実践的な研究を実施 ②笑顔あふれる自治力育成研究事業…指定中学校区にて実践的な研究を実施 | ①道徳教育実践研究事業…希望する学校があれば指定校として実践的な研究を実施 ②笑顔あふれる自治力育成研究事業…指定中学校区にて実践的な研究を実施 | |
| | 年度別実績 | ①道徳教育実践研究事業…小学校1校、中学校1校で実施 ②笑顔あふれる自治力育成研究事業…3中学校区で実施 | ①道徳教育実践研究事業…希望校なし ②笑顔あふれる自治力育成研究事業…3中学校区で実施 | | | | |
| 事業費 | 区分 | 決算額(千円) | 決算額(千円) | 決算額(千円) | 決算額(千円) | 決算額(千円) | |
| | 事業費(A+B) | 2,700 | 2,100 | | | | |
| | 直接経費 A | 1,238 | 600 | | | | |
| | 直接経費の財源内訳 | 国・県 | 637 | 0 | | | |
| | | 地方債 | | | | | |
| | | その他 | | | | | |
| 一般財源 | 601 | 600 | | | | | |
| 人件費 B | 1,462 | 1,500 | | | | | |
| 職員数の内訳 | 正規職員 | 0.20 | 0.20 | | | | |
| | 嘱託職員 | | | | | | |
| | 臨時職員 | | | | | | |

4. 令和4年度の事務事業実施概要【DO】

| | |
|-----------|--|
| 事務事業の実施概要 | 笑顔あふれる自治力育成研究事業…外部講師を招聘し特別活動の合意形成を図る話し合い活動(学級会)を含む学級活動(1)の研究や児童会・生徒会活動における自発的・自治的活動の工夫が図られた。 |
|-----------|--|

5. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

| | | 指標名 | 単位 | 区分 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 |
|---------|---------|------------------------------|----|------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 活動指標 | 1 | 人の役に立つ人間になりたいと思う児童生徒の割合(小学校) | % | 目標 | 76 | 77 | 78 | 79 | 80 |
| | | | | 実績 | 69.7 | 73.6 | | | |
| | (指標の説明) | | | | | | | | |
| | 2 | 人の役に立つ人間になりたいと思う児童生徒の割合(中学校) | % | 目標 | 76 | 79 | 79.3 | 79.6 | 80 |
| 実績 | | | | 78.3 | 78.1 | | | | |
| (指標の説明) | | | | | | | | | |

6. 活動指標の達成率【CHECK】

| | | 指標名 | 単位 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 |
|-------|---|------------------------------|----|-------|-------|-------|-------|-------|
| 指標達成率 | 1 | 人の役に立つ人間になりたいと思う児童生徒の割合(小学校) | % | 92% | 96% | | | |
| | 2 | 人の役に立つ人間になりたいと思う児童生徒の割合(中学校) | % | 103% | 99% | | | |

7. 評価【CHECK】

| 評価項目と評価の視点 | 評価内容 | 評価理由 |
|-------------|--|---|
| 目的の妥当性 | <input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない | 目的が明確であり妥当である。 |
| 事業の有効性 | <input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない | 実践中学校区での授業改善が図られている。成果指標（児童生徒アンケート項目）に対する肯定的回答率が上昇または高い割合を維持している学年があり有効である。 |
| 資源投入の効率性 | <input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない | 実態に合わせて外部講師を招聘したり、教育活動に必要なものが購入されたりし、研究が進められている。笑顔あふれる自治力育成研究事業においては、よりよい合意形成を図らせるための取組が実践され、中学校区でお互いに研究会を参観し合ったり、話し合いグッズを揃えたりなど、小小・小中連携も進められた。 |
| サービスの公平性 | <input type="checkbox"/> 1. 公平である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない | 指定中学校区に必要な経費が配分されての研究実践ではあるが、その成果や成果物を市内各学校に発信・共有するということから、やや公平である。 |
| 担当課等の評価コメント | 笑顔あふれる自治力育成研究事業は、特別活動を重視した自発的・自治的な活動や人間関係形成の取組が推進された。特に学級活動(1)における話し合い活動(学級会)でよりよい合意形成を図る力の育成について実践研究が進められた。中学校区間での連携も図られた。 | |

8. 学識経験者の所見

【松村一善氏 評価結果】

| | |
|--------|---|
| 評価コメント | ①「道徳教育実践研究事業」と②「笑顔あふれる自治力育成研究事業」の2事業で構成され、いずれも指定校・実践中学校区での実践的な研究を行うこととしている。ただし、令和4年度は①については希望校がなかったため、②のみの実施となっている。事業の成果は研究協議会等で発信されているが、令和4年度の研究成果が指定校等以外に波及するには時間を要すると考えられる。そのため、活動指標としては指定校・実践中学校区における結果を市の平均と比較して用いるのが望ましいと考えられる。 |
|--------|---|

【石川真澄氏 評価結果】

| | |
|--------|---|
| 評価コメント | 「道徳教育実践研究事業」の希望校が現れなかったことは惜しまれるが、事業の性格上、やむを得ない。「笑顔あふれる自治力育成形成事業」については、事業の目標と評価指標とが適切な組み合わせとなっており、評価指標が改善傾向にあることから一定の成果を挙げていると評価できる。直接事業を実施した校区と、その成果を共有した他の校区とで、どのような相違が出ているか、興味深い。 |
|--------|---|

9. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

| | |
|-----------|---|
| 今後の方向性 | <input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> (1) 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> (2) 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> (1) 手段等の改善 <input type="checkbox"/> (2) 効率化・簡素化 <input type="checkbox"/> (3) 他事業との統合 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> (1) 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> (2) 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了 <input type="checkbox"/> (1) 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> (2) 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> (3) 制度的に終了 |
| 今後の課題・方向性 | 指定中学校区を中心実践校においては児童生徒アンケートの肯定的回答率が大きく上昇している。今後も事業を推進する中で、中心実践校の取組の成果を指定中学校区のみならず、市内各学校に広げていけるようにしていきたい。 |

自己点検・評価シート

| | | | |
|-------|-----------|-------------|----------|
| 整理No. | 8 | 鳥取市教育振興基本計画 | |
| 事務事業名 | 児童生徒支援事業費 | 所属名 | 総合教育センター |

1. 基本情報

| | | | |
|--------------------------|------|-----|------------------------------------|
| 位基教 置本育 づ計振 け画興 | 体系区分 | コード | 名 称 |
| | 基本方針 | I | 教育の充実を図りその質を高めます！【知を開く】 |
| | 政策 | (2) | すべての子どもの学びの保障の充実 |
| | 推進施策 | 2. | 不登校やその傾向にある児童生徒の教育を保障し、適切な支援を行います。 |

2. 事業目的【PLAN】

| | |
|----------------------------|---|
| 対 象 (何を、誰を) | 鳥取市立小・中・義務教育学校及びその児童生徒 |
| 意 図 (どのような状態 にするために) | ・鳥取市立小・中・義務教育学校の児童生徒における不登校及び不登校傾向の未然防止及び解消 ・鳥取市立小・中・義務教育学校の児童生徒の不登校、いじめや暴力行為等問題行動の未然防止及び貧困や児童虐待等の不安や悩みの解消 |
| 手 段 (どうするのか) | ・鳥取市不登校対策専門委員会にて不登校対策について総括的に討議し、不登校の未然防止と課題解消を推進する。全児童生徒を対象にスクリーニングシートを活用した実態把握を行い、組織的な児童生徒支援を行っていく。 ・福祉等の関係諸機関と連携しながら児童生徒やその保護者に効果的な支援ができるよう諸条件の環境整備を行う。 ・不登校及び不登校傾向の児童生徒に対して、相談室等での教育相談及び自立支援・学習支援を行う。 |

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

| 内容 | 年度別計画 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 | |
|--------|-----------|--|--|---|---|---|---|
| | | ①不登校対策専門委員会の開催アドバイザーの派遣 ②児童生徒相談員の配置 ③スクールソーシャルワーカーの配置 ④フリースクール等への利用料助成 等 | ①不登校対策専門委員会の開催アドバイザーの派遣 ②児童生徒相談員の配置 ③スクールソーシャルワーカーの配置 ④フリースクール等への利用料助成 等 | ①不登校対策専門委員会の開催アドバイザーの派遣 ②児童生徒相談員の配置 ③スクールソーシャルワーカーの配置 ④フリースクール等への利用料助成 等 | ①不登校対策専門委員会の開催アドバイザーの派遣 ②児童生徒相談員の配置 ③スクールソーシャルワーカーの配置 ④フリースクール等への利用料助成 等 | ①不登校対策専門委員会の開催アドバイザーの派遣 ②児童生徒相談員の配置 ③スクールソーシャルワーカーの配置 ④フリースクール等への利用料助成 等 | ①不登校対策専門委員会の開催アドバイザーの派遣 ②児童生徒相談員の配置 ③スクールソーシャルワーカーの配置 ④フリースクール等への利用料助成 等 |
| | 年度別実績 | ①不登校対策専門委員会の開催(年2回)及びアドバイザーの派遣(3校) ②児童生徒相談員の配置14校(14名) ③スクールソーシャルワーカーの配置(8名配置) ④フリースクール等への利用料助成(16家庭) 等 | ①不登校対策専門委員会の開催(年2回)及びアドバイザーの派遣(1校) ②児童生徒相談員の配置14校(14名) ③スクールソーシャルワーカーの配置(8名配置) ④フリースクール等への利用料助成(18家庭) 等 | | | | |
| 事業費 | 区分 | 決算額(千円) | 決算額(千円) | 決算額(千円) | 決算額(千円) | 決算額(千円) | |
| | 事業費(A+B) | 61,819 | 80,873 | 0 | 0 | 0 | |
| | 直接経費 A | 49,026 | 67,748 | 0 | 0 | 0 | |
| | 直接経費の財源内訳 | 国・県 | 4,851 | 5,837 | | | |
| | | 地方債 | 0 | 0 | | | |
| | | その他 | 0 | 3,018 | | | |
| 一般財源 | 44,175 | 58,893 | | | | | |
| 人件費 B | 12,793 | 13,125 | | | | | |
| 職員数の内訳 | 正規職員 | 1.75 | 1.75 | | | | |
| | 嘱託職員 | 11.00 | 11.00 | | | | |
| | 臨時職員 | 0.00 | 0.00 | | | | |

4. 令和4年度の事務事業実施概要【DO】

| | |
|-----------|---|
| 事務事業の実施概要 | 不登校やその傾向にある児童生徒一人ひとりの要因や背景、教育的ニーズを把握し、各学校における教育相談体制の充実や当該児童生徒の適切な学びの場の整備等を推進する。 ①不登校対策専門委員会の開催(年2回)及びアドバイザーの派遣(1校) ②児童生徒相談員の配置14校(14名) ③スクールソーシャルワーカーの配置(8名配置) ④市サポートルームやフリースクールで学ぶ児童生徒への通所費や交通費等に係る費用に対する助成(18家庭) ⑤全児童生徒の実態把握のためのスクリーニングシートの活用(全小・中・義務教育学校で実施)等 |
|-----------|---|

5. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

| | | 指標名 | 単位 | 区分 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 |
|------|---|--|----|----|-------|-------|-------|-------|-------|
| 活動指標 | 1 | 不登校児童生徒が学校以外の地域人材や関係諸機関等の支援につながっている割合 (指標の説明) | % | 目標 | 83.5 | 83.5 | 83.5 | 83.5 | 83.5 |
| | | | | 実績 | 83.5 | 85.8 | | | |
| 活動指標 | 2 | (指標の説明) | | 目標 | | | | | |
| | | | | 実績 | | | | | |

6. 活動指標の達成率【CHECK】

| | | 指標名 | 単位 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 |
|-------|---|---------------------------------------|----|-------|-------|-------|-------|-------|
| 指標達成率 | 1 | 不登校児童生徒が学校以外の地域人材や関係諸機関等の支援につながっている割合 | % | 100% | 103% | | | |
| | | | | 2 | | | | |

7. 評価【CHECK】

| 評価項目と評価の視点 | 評価内容 | 評価理由 |
|-------------|--|--|
| 目的の妥当性 | <input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない | 不登校やその傾向にある児童生徒が増加しているが、不登校の要因や背景等が個々の状況に応じて違い、支援ニーズも多岐に渡るため、多様な支援や環境を作ることは必要である。 |
| 事業の有効性 | <input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない | 本市の不登校対策について、不登校対策専門委員から助言を受けながら、児童生徒相談員による校内での支援や関係機関等と連携しながら外部機関等につなげる等、充実を図っている。 |
| 資源投入の効率性 | <input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない | 各学校の不登校の出現率や相談室の利用頻度等を考えながら、小・中学校へ児童生徒相談員を配置している。スクールソーシャルワーカーについては、毎月1回の全小・中・義務教育学校を巡回訪問を行いながら兄弟姉妹関係を含めた支援を考慮することができている。 |
| サービスの公平性 | <input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない | 全小・中・義務教育学校で同一のスクリーニングシートを活用し、全児童生徒一人ひとりの見立てを行い、不登校や問題行動等の早期発見、早期支援にあっている。スクールソーシャルワーカーについては、担当校区の学校を月に1回巡回訪問するようにし、児童生徒の教育的ニーズを情報共有しながら相談・対応を行っている。 |
| 担当課等の評価コメント | 本市の不登校対策について、不登校対策専門委員からの助言を受け、不登校をはじめ、学校だけでは対応困難なケースについて、スクールソーシャルワーカーの活用等をしながら適切な支援へつなげてきている。また、学習機会の確保を行うため、学級以外の相談室等に児童生徒相談員を配置したり、市サポートルームを運営・拡充したりしながら、個々の状況に応じた教育相談及び自立支援・学習支援を行ってきている。 | |

8. 学識経験者の所見

【松村一善氏 評価結果】

| | |
|--------|--|
| 評価コメント | 不登校、問題行動、児童虐待等多様な問題に悩む児童生徒を対象として支援を行う事業であり、重要性は高い。児童生徒相談員、スクールソーシャルワーカー（SSW）等の専門性の高い業務に対するニーズが高まっており、SSWの学校訪問回数も過去数年で急増している。十分な報酬を手当てしながら必要な人材の確保・育成に取り組むことを期待したい。 |
|--------|--|

【石川真澄氏 評価結果】

| | |
|--------|--|
| 評価コメント | 不登校等の学校不適合の児童生徒の問題の改善を図るため、本事業のもとに複数の取り組みが実施されている。不登校が全国平均より高い水準で推移していることは本市のかねてよりの課題である。様々な手法を組み合わせながら有効と思われる手法を組み合わせているが顕著な改善をみるには至っていない。前段階として不登校児童生徒が各種の施策の対象としてカバーされているかを事業の指標として採用したことは現状では適切な対応と思われる。 |
|--------|--|

9. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

| | | | | |
|-----------|--|---|---|---|
| 今後の方向性 | <input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了 | <input checked="" type="checkbox"/> (1) 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> (1) 手段等の改善 <input type="checkbox"/> (1) 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> (1) 臨年実施等、意図的に休止 | <input type="checkbox"/> (2) 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> (2) 効率化・簡素化 <input type="checkbox"/> (2) 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> (2) 意図的に廃止 | <input type="checkbox"/> (3) 他事業との統合 <input type="checkbox"/> (3) 制度的に終了 |
| 今後の課題・方向性 | 不登校、いじめや問題行動、虐待や貧困等の問題は、その背景や要因は個々によって様々であり、支援ニーズは多岐にわたる。関係機関等との連携がさらに必要とされており、スクールソーシャルワーカーの資質向上を図りながら、増員を行っていく。また、児童生徒への多様な教育機会を確保するため、R5からは1人1台端末を活用したオンラインサポートルームを開設したが、そのニーズも高く拡充していく。このように事業全体として積極的な拡充が必要であると考えている。 | | | |

自己点検・評価シート

| | | | |
|-------|--------------|-------------|-------|
| 整理No. | 20 | 鳥取市教育振興基本計画 | |
| 事務事業名 | 大規模改造事業（小学校） | 所属名 | 教育総務課 |

1. 基本情報

| | | | |
|--------------------------|------|---|-----|
| 位基教 置本育 つ計振 け画興 | 体系区分 | コード | 名 称 |
| | 基本方針 | I 教育の充実を図りその質を高めます！【知を開く】 | |
| | 政策 | (3) 充実した教育環境の推進 | |
| | 推進施策 | 1. 子どもが生き生きと学び活動できる環境を整えるため、老朽化した施設の改修や、トイレの洋式化などの学校施設の充実を図ります。 | |

2. 事業目的【PLAN】

| | |
|------------------------|---------------------------|
| 対 象 (何を、誰を) | 小学校施設 |
| 意 図 (どのような状態にするために) | 安全・安心な施設環境と充実した教育環境を推進する。 |
| 手 段 (どうするのか) | 校舎などの大規模改造等を行う。 |

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

| | | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 | |
|----------------|-------------------|--|---|-----------|-------------------|------------------------------------|--|
| 内 容 | 年度別計画 | ①江山学園普通教室棟 長寿命化改良工事 ②江山学園特別教室棟 増築工事 ③福部未来学園駐車場 整備工事 | ①江山学園特別教室棟 増築工事 ②福部未来学園グラウ ンド等整備工事 | ①江山学園外構工事 | ①米里小学校トイレ 改修工事 | ①校舎等の老朽化対 策やトイレの洋式化 などの工事を実施 | |
| | 年度別実績 | ①江山学園普通教室棟 長寿命化改良工事 ②江山学園特別教室棟 増築工事 ③福部未来学園駐車場 整備工事 | ①江山学園特別教室棟 増築工事 ②福部未来学園グラウ ンド等整備工事 | | | | |
| 事 業 費 | 区分 | 決算額(千円) | 決算額(千円) | 決算額(千円) | 決算額(千円) | 決算額(千円) | |
| | 事業費(A+B) | 576,912 | 499,590 | 0 | 0 | 0 | |
| | 直接経費 A | 569,602 | 492,090 | 0 | 0 | 0 | |
| | 直接経 費の財 源内訳 | 国・県 | 139,057 | 141,288 | | | |
| | | 地方債 | 414,400 | 286,200 | | | |
| | | その他 | 0 | 0 | | | |
| 一般財源 | 16,145 | 64,602 | | | | | |
| 人件費 B | 7,310 | 7,500 | | | | | |
| 職 員 数 の 内 訳 | 正規職員 | 1.00 | 1.00 | | | | |
| | 嘱託職員 | 0.00 | 0.00 | | | | |
| | 臨時職員 | 0.00 | 0.00 | | | | |

4. 令和4年度の事務事業実施概要【DO】

| | |
|---------------|---|
| 事務事業の 実施概要 | <p>【事業概要】 経年により発生する学校施設の損耗、機能低下に対する復旧措置等を実施することにより、建物の耐久性を高めるとともに、安全・安心な施設環境と充実した教育環境を推進する。</p> <p>【事業の成果】 義務教育学校校舎等の改修（江山学園・福部未来学園） ≪実施事業≫●江山学園特別教室棟増築工事Ⅱ期 [増築棟：鉄骨造3階建て 延床面積：1,648.77㎡] [部室棟：木造平屋建て 延床面積：22.5㎡] ●福部未来学園外構整備工事 [グラウンド及び中庭整備]</p> <p>【参考（令和4年度に他事業で実施した主な工事）】 湖東中学校長寿命化改良工事、浜坂小学校校舎増築工事、大正小学校トイレ改修工事(R3繰越)など</p> |
|---------------|---|

5. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

| | | 指標名 | 単位 | 区分 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 |
|--|---------|-------------------|----|----|-------|-------|-------|-------|-------|
| 活動指標 | 1 | 各年度事業進捗 | % | 目標 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 |
| | | | | 実績 | 100 | 100 | | | |
| | (指標の説明) | | | | | | | | |
| | 2 | 学校施設のトイレ(大便器)洋式化率 | 校 | 目標 | | 28 | 33 | 38 | 43 |
| 実績 | | | | | 28 | | | | |
| (指標の説明) 大便器のうち洋式化割合が5割以上の学校数(小学校・義務教育学校) | | | | | | | | | |

6. 活動指標の達成率【CHECK】

| | | 指標名 | 単位 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 |
|-------|---|-------------------|----|-------|-------|-------|-------|-------|
| 指標達成率 | 1 | 各年度事業進捗 | % | 100% | 100% | | | |
| | 2 | 学校施設のトイレ(大便器)洋式化率 | 校 | | 100% | | | |

7. 評価【CHECK】

| 評価項目と評価の視点 | 評価内容 | 評価理由 |
|-------------|--|--------------------------------------|
| 目的の妥当性 | <input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない | 施設の安全性や充実した教育環境を確保するための必要な整備を実施している。 |
| 事業の有効性 | <input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない | 施設の安全性や充実した教育環境を確保するための必要な整備を実施している。 |
| 資源投入の効率性 | <input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない | 国の補助金や起債など有利な財源の確保を図っている。 |
| サービスの公平性 | <input type="checkbox"/> 1. 公平である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない | 年次的な整備計画について検討するとともに、必要な整備を実施している。 |
| 担当課等の評価コメント | 校区再編の議論の動向を注視しつつ、効率的かつ効果的な学校施設整備となるよう引き続き改修計画の検討を進め、安全・安心な施設環境と充実した教育環境の確保に向け必要な整備を図る。 | |

8. 学識経験者の所見

【松村一善氏 評価結果】

| | |
|--------|---|
| 評価コメント | 鳥取市の小中義務教育学校の校舎等は、建設後40年以上経過しているものが47%あり、子供達に安全・安心な施設環境と充実した教育環境を提供するために、老朽化した施設等の大規模改造等を行う事業であり、事業計画に基づき、適切に事業の実施が行われていると判断した。 |
|--------|---|

【石川真澄氏 評価結果】

| | |
|--------|--|
| 評価コメント | 大規模な施設改修や整備については中長期的な計画に基づいて実施されている。他の施設整備に関係する事業とも調整し、負担の抑制をはかっているが、そのためか活動指標の「トイレ洋式化率」の進捗と本事業の実施概要とが合致しない部分が生じている。総合的な効率化の結果であるため、否定的にみるべきではないが、今後の記載方法については検討を求めたい。 |
|--------|--|

9. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

| | |
|-----------|---|
| 今後の方向性 | <input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> (1) 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> (2) 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> (1) 手段等の改善 <input type="checkbox"/> (2) 効率化・簡素化 <input type="checkbox"/> (3) 他事業との統合 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> (1) 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> (2) 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了 <input type="checkbox"/> (1) 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> (2) 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> (3) 制度的に終了 |
| 今後の課題・方向性 | <p>● 厳しい財政事情にあるが、学校施設の整備や維持管理など全体のバランスを考慮しながら、本事業に係る有利な財源の活用を含めた予算確保に努め、進捗率・達成率の維持・向上を図る。</p> <p>● 「洋式化割合が5割以上の学校数」として活動指標を設定しているが、洋式化率8割（衛生面から便座に触れる洋式を望まない児童生徒が一定数いる）～10割（洋式化率100%）などの最終的な達成には道半ばの状態であることから、学校施設長寿命化改良の推進や校区再編の動向等にも注視しながら効率的なトイレ洋式化に努める。</p> |

自己点検・評価シート

| | | | |
|-------|-----------------|-------------|-------|
| 整理No. | 24 | 鳥取市教育振興基本計画 | |
| 事務事業名 | 鳥取市立学校校区再編推進事業費 | 所属名 | 教育総務課 |

1. 基本情報

| | | | |
|--------------------------|------|---|----|
| 位基教 置本育 づ計振 け画興 | 体系区分 | コード | 名称 |
| | 基本方針 | 1 教育の充実を図りその質を高めます！ 【知を開く】 | |
| | 政策 | (3) 充実した教育環境の推進 | |
| | 推進施策 | 2. 学校と地域が一体となり、地域の実情に応じた活力ある学校づくりをめざすため、学校のあり方を検討する組織づくりを支援します。 | |

2. 事業目的【PLAN】

| | |
|-----------------------|---|
| 対象 (何を、誰を) | 市民全般 |
| 意図 (どのような状態にするために) | 学校と地域が一体となり、地域の実情に応じた活力ある学校づくりを目指す。 |
| 手段 (どうするのか) | 地域で学校のあり方について議論する、「学校のあり方を考える検討組織」の立ち上げを支援する。 |

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

| | | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 | |
|--------|-----------|------------------------|--------------------------------------|--------------------------------------|--------------------------------------|--------------------------------------|--|
| 内容 | 年度別計画 | 鳥取市立学校適正規模・適正配置基本方針の周知 | 「学校のあり方を考える検討組織」づくりの推進や「ブロック別協議会」の開催 | 「学校のあり方を考える検討組織」づくりの推進や「ブロック別協議会」の開催 | 「学校のあり方を考える検討組織」づくりの推進や「ブロック別協議会」の開催 | 「学校のあり方を考える検討組織」づくりの推進や「ブロック別協議会」の開催 | |
| | 年度別実績 | 保護者・地域向け説明会計13回 | ○保護者・地域向け説明会計31回 ○検討組織設置数5組織 | | | | |
| 事業費 | 区分 | 決算額(千円) | 決算額(千円) | 決算額(千円) | 決算額(千円) | 決算額(千円) | |
| | 事業費(A+B) | 15,468 | 15,968 | 0 | 0 | 0 | |
| | 直接経費 A | 848 | 968 | 0 | 0 | 0 | |
| | 直接経費の財源内訳 | 国・県 | 0 | 0 | | | |
| | | 地方債 | 0 | 0 | | | |
| | | その他 | 0 | 0 | | | |
| 一般財源 | 848 | 968 | | | | | |
| 人件費 B | 14,620 | 15,000 | | | | | |
| 職員数の内訳 | 正規職員 | 2.00 | 2.00 | | | | |
| | 嘱託職員 | 0.00 | 0.00 | | | | |
| | 臨時職員 | 0.00 | 0.00 | | | | |

4. 令和4年度の事務事業実施概要【DO】

| | |
|-----------|--|
| 事務事業の実施概要 | 「鳥取市立学校適正規模・適正配置基本方針」に基づき、地域協議を前提とすることを基本として、おおむね20年後の学校の適正規模・適正配置について検討を進める。令和4年度は鳥取市立学校適正規模・適正配置基本方針について各小中学校区PTA、各種団体等に説明を行い、学校のあり方を考える検討組織の立ち上げに向けた働きかけを行った。今後も地域としての意向を集約するため、各地域で開催する説明会や及び関係諸団体の会合等を通じて「学校のあり方を考える検討組織」の必要性を周知するとともに、組織づくりを支援し、地域の意見を踏まえた学校配置を行う。 |
|-----------|--|

5. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

| | | 指標名 | 単位 | 区分 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 |
|---|---|-----------------------|----|----|-------|-------|-------|-------|-------|
| 活動指標 | 1 | 地域で学校のあり方を考える検討組織の設置数 | 校区 | 目標 | 6 | 20 | 33 | 43 | 43 |
| | | | | 実績 | 6 | 11 | | | |
| (指標の説明) ブロックごとに優先順位をつけて検討組織の立上げをうながす(市内5ブロック) | | | | | | | | | |
| 活動指標 | 2 | | | 目標 | | | | | |
| | | | | 実績 | | | | | |
| (指標の説明) | | | | | | | | | |

6. 活動指標の達成率【CHECK】

| | | 指標名 | 単位 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 |
|-------|---|-----------------------|----|-------|-------|-------|-------|-------|
| 指標達成率 | 1 | 地域で学校のあり方を考える検討組織の設置数 | 校区 | 100% | 55% | 55% | | |
| | 2 | | | | | | | |

7. 評価【CHECK】

| 評価項目と評価の視点 | 評価内容 | 評価理由 |
|-------------|--|---|
| 目的の妥当性 | <input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない | 鳥取市立学校適正規模・適正配置基本方針において将来的に児童生徒数が減少しても、子どもたちにとってより良い教育環境を確保するために全ての校区において、学校のあり方を考える検討組織の立ち上げることとしており、目的は妥当である。 |
| 事業の有効性 | <input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない | すでに学校のあり方を考える検討組織の立ち上がっている校区での取り組みを参考に、他校区においても検討組織設立に向けた検討が進みつつあり、有効である。 |
| 資源投入の効率性 | <input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない | P T A連合会及び自治会連合会当にも協力いただきながら各校区に組織立ち上げに向けた働きかけを行っており、効率的である。 |
| サービスの公平性 | <input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない | 市内全小学校校区及び義務教育学校校区を対象にしており、公平である。 |
| 担当課等の評価コメント | 令和4年度は鳥取市立学校適正規模・適正配置基本方針について各小中学校区PTA、各種団体等に説明を行うとともに、組織立上げに向けた支援を行った。令和5年度以降も引き続き、学校のあり方を考える検討組織の立ち上げの支援を行う。 | |

8. 学識経験者の所見

【松村一善氏 評価結果】

| | |
|--------|---|
| 評価コメント | 令和3年3月に公表された「鳥取市立学校適正規模・適正配置基本方針」に基づき、概ね20年後の学校の適正規模・適正配置について地域で話し合いを進めるための環境整備を行うため、令和4年度は保護者・地域向け説明会が31回開催され、検討組織も5校区で新規に設立されている。ただし、検討組織の設置数は目標とする20組織の55%である11組織にとどまっております。組織の設置は低調であることから、各地域で開催する説明会や関係諸団体の会合等での検討組織の必要性周知だけでは、目標の達成は困難であると推察される。 |
|--------|---|

【石川真澄氏 評価結果】

| | |
|--------|---|
| 評価コメント | 本事業の中心は、現状は気高地区における校区再編に関連したものであるが、人口動態の変化によって今後とも市内の校区再編の必要性は高まると予想されている。現段階では「学校の在り方を考える検討組織」の設置を指標とし、今後の議論に向けた体制を準備することは妥当な方針と思われる。一方で、地域と一体となって学校の在り方を考えるという点で、同種の取り組みが他の事業でもみられることから、学校と地域との組織体の在り方について、整理することも必要ではないかと思われる。 |
|--------|---|

9. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

| | | |
|-----------|---|--|
| 今後の方向性 | <input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了 | <input type="checkbox"/> (1) 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> (1) 手段等の改善 <input type="checkbox"/> (1) 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> (1) 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> (2) 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> (2) 効率化・簡素化 <input type="checkbox"/> (2) 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> (2) 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> (3) 他事業との統合 <input type="checkbox"/> (3) 制度的に終了 |
| 今後の課題・方向性 | 事業計画に基づき事業を実施するが、既に複式学級が編成されている南・西1ブロックについては継続して検討組織の設置を促していく。なお、令和6年度以降は、中長期的なブロック内の学校の将来像について合意形成を図るための組織（ブロック協議会）の設置に向けて、各会長等で協議する準備会等の設置を模索するなど、ブロック協議会の設置に向けた地域への働きかけを具体的にを行う。 | |

自己点検・評価シート

| | | | |
|-------|--------------|-------------|-------|
| 整理No. | 25 | 鳥取市教育振興基本計画 | |
| 事務事業名 | 学校働き方改革推進事業費 | 所属名 | 学校教育課 |

1. 基本情報

| | | | |
|--------------------------|------|--|----|
| 位基教 置本育 づ計振 け画興 | 体系区分 | コード | 名称 |
| | 基本方針 | I 教育の充実を図りその質を高めます！【知を開く】 | |
| | 政策 | (3) 充実した教育環境の推進 | |
| | 推進施策 | 3. ICTの活用や学校サポート体制の構築を図り、学校業務の効率化や共同化など学校業務の改善によって教職員の多忙化を解消します。 | |

2. 事業目的【PLAN】

| | |
|-----------------------|---|
| 対象 (何を、誰を) | 全小・中・義務教育学校 |
| 意図 (どのような状態にするために) | 学校や教員の膨大な業務範囲を整理し、限られた時間の中で教師の専門性を活かしつつ、授業改善のための時間や児童生徒に接する時間を確保できる勤務環境を整備する。 |
| 手段 (どうするのか) | ①学校業務支援システムの運用 ②スクールサポートスタッフの配置 ③デジタル採点システムの導入 |

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

| | | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 | |
|--------|-----------|--|--|--|--|--|--|
| 内容 | 年度別計画 | ①学校業務支援システムの運用 ②スクールサポートスタッフの配置（5校） | ①学校業務支援システムの運用 ②スクールサポートスタッフの配置（5校） ③デジタル採点システムの導入 | ①学校業務支援システムの運用 ②スクールサポートスタッフの配置 ③デジタル採点システムの導入 | ①学校業務支援システムの運用 ②スクールサポートスタッフの配置 ③デジタル採点システムの導入 | ①学校業務支援システムの運用 ②スクールサポートスタッフの配置 ③デジタル採点システムの導入 | |
| | 年度別実績 | ①学校業務支援システムの運用 ②スクールサポートスタッフの配置（5校） | ①学校業務支援システムの運用 ②スクールサポートスタッフの配置（5校） ③デジタル採点システムの導入 | | | | |
| 事業費 | 区分 | 決算額(千円) | 決算額(千円) | 決算額(千円) | 決算額(千円) | 決算額(千円) | |
| | 事業費(A+B) | 18,860 | 26,781 | 0 | 0 | 0 | |
| | 直接経費 A | 16,667 | 24,531 | 0 | 0 | 0 | |
| | 直接経費の財源内訳 | 国・県 | | 1,869 | | | |
| | | 地方債 | | | | | |
| | | その他 | | | | | |
| 一般財源 | 16,667 | 22,662 | | | | | |
| 人件費 B | 2,193 | 2,250 | | | | | |
| 職員数の内訳 | 正規職員 | 0.30 | 0.30 | | | | |
| | 嘱託職員 | | | | | | |
| | 臨時職員 | | | | | | |

4. 令和4年度の事務事業実施概要【DO】

| | |
|-----------|---|
| 事務事業の実施概要 | <p>①全県で統一された学校業務支援システムを導入することで、様式の標準化や情報共有の効率化を図る。</p> <p>②授業の準備など教員が行う業務のうち専門的な知識や技術を要しない業務をスクールサポートスタッフが担うことで、教員が児童生徒への指導や教材研究等に一層注力できるよう環境を整備する。</p> <p>③中学校、義務教育学校後期課程にデジタル採点システムを導入することで、採点から集計までの業務を支援し、授業改善のための時間や児童生徒に接する時間を確保できる勤務環境を整備する。</p> |
|-----------|---|

5. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

| | | 指標名 | 単位 | 区分 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 |
|------|---|---------------------------------|----|----|-------|-------|-------|-------|-------|
| 活動指標 | 1 | 1人あたりの時間外勤務における月平均時間 (指標の説明) | 時間 | 目標 | 48 | 36 | 34 | 32 | 30 |
| | | | | 実績 | 37.1 | 37.8 | | | |
| 活動指標 | 2 | (指標の説明) | | 目標 | | | | | |
| | | | | 実績 | | | | | |

6. 活動指標の達成率【CHECK】

| | | 指標名 | 単位 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 |
|-------|---|----------------------|----|-------|-------|-------|-------|-------|
| 指標達成率 | 1 | 1人あたりの時間外勤務における月平均時間 | 時間 | 129% | 95% | | | |
| | 2 | | | | | | | |

7. 評価【CHECK】

| 評価項目と評価の視点 | 評価内容 | 評価理由 |
|-------------|--|--|
| 目的の妥当性 | <input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない | 教員が子どもたちと向き合う時間や教員同士が相互に授業展開を吟味し合う時間を増加させ、教育の質の向上と教員の業務改善を図る必要がある。 |
| 事業の有効性 | <input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない | 教員の時間外勤務の削減に必要な事業であり、目標とする数値に達している。 |
| 資源投入の効率性 | <input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない | 学校業務支援システムやスクールサポートスタッフ配置により成果が上がっている。 |
| サービスの公平性 | <input type="checkbox"/> 1. 公平である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない | 学校業務支援システムは全校導入されているが、スクールサポートスタッフは配置校のみとなっている。 |
| 担当課等の評価コメント | 各校で業務改善を進めており成果が上がっているが、さらに進めるための施策を検討していく必要がある。また、学校間で取組に差がある部分もあるため、成果の上がっている取組を共有していきたい。 | |

8. 学識経験者の所見

【松村一善氏 評価結果】

| | |
|--------|--|
| 評価コメント | 本事業は校務支援システム導入とスクールサポートスタッフの配置、中学校へのデジタル採点システムの導入により、教職員の負担軽減を目指すものである。校務支援システムは、平成30年度に導入されていることから、同システム利用による教職員の負担軽減は一定、達成されていると考えられる。今後も負担軽減を図るためには、スクールサポートスタッフの配置増に加えて、適切な教諭配置数の実現、業務フローの見直し等が必要になると思われる。 |
|--------|--|

【石川真澄氏 評価結果】

| | |
|--------|--|
| 評価コメント | 月平均の時間外労働時間はやや伸びており、高い目標を設定したと考えても課題が残った。コロナ禍の影響が続いていたとはいえ、業務システムやサポートスタッフの増員など、現状の業務を前提とした効率化や業務負担の分散だけではなく、業務全般の見直しによる業務量の削減も並行して取り組む必要があるのではないかと。 |
|--------|--|

9. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

| | |
|-----------|---|
| 今後の方向性 | <input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> (1) 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> (2) 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> (1) 手段等の改善 <input type="checkbox"/> (2) 効率化・簡素化 <input type="checkbox"/> (3) 他事業との統合 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> (1) 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> (2) 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了 <input type="checkbox"/> (1) 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> (2) 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> (3) 制度的に終了 |
| 今後の課題・方向性 | 本事業により、学校における働き方改革が推進されており、教員のこれまでの働き方を見直し、授業改善のための時間や児童生徒に接する時間を確保できる勤務環境の整備は進んでいる。今後も、学校の状況を踏まえたうえで、スクールサポートスタッフを配置していきたい。 |

自己点検・評価シート

| | | | |
|-------|------------|-------------|-------|
| 整理No. | 30 | 鳥取市教育振興基本計画 | |
| 事務事業名 | 放課後児童対策事業費 | 所属名 | 学校教育課 |

1. 基本情報

| | | | |
|--------------------------|------|--|-----|
| 位基教 置本育 づ計振 け画興 | 体系区分 | コード | 名 称 |
| | 基本方針 | I 教育の充実を図りその質を高めます！【知を開く】 | |
| | 政策 | (3) 充実した教育環境の推進 | |
| | 推進施策 | 7. 放課後児童クラブや放課後子ども教室を設置し、放課後の児童の安全・安心な場所を確保するとともに、家庭や地域等と連携し児童の健全な育成を図ります。 | |

2. 事業目的【PLAN】

| | |
|----------------------------|---|
| 対 象 (何を、誰を) | 小学校児童・保護者 |
| 意 図 (どのような状態 にするために) | 昼間保護者が就労等のため家にいない小学校児童を授業の終了後預かり、適切な遊び及び生活の場を確保することで、児童の健全な育成を図る。 |
| 手 段 (どうするのか) | 小学校児童を学校の余裕教室や専用施設等で預かり、遊びや集団生活の場を提供する。 |

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

| | | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 | |
|--------|-----------|---|---|--------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|--|
| 内 容 | 年度別計画 | ①放課後児童クラブの設置・運営 ②保護者会等に運営委託 | ①放課後児童クラブの設置・運営 ②保護者会等に運営委託 | ①放課後児童クラブの設置・運営 ②保護者会等に運営委託 | ①放課後児童クラブの設置・運営 ②保護者会等に運営委託 | ①放課後児童クラブの設置・運営 ②保護者会等に運営委託 | |
| | 年度別実績 | ①放課後児童クラブの設置74クラブ（うち新規3クラブ） ②保護者会等に委託し運営（保護者会委託32クラブ、NPO法人委託42クラブ） | ①放課後児童クラブの設置76クラブ（うち新規2クラブ） ②保護者会等に委託し運営（保護者会委託30クラブ、NPO法人委託46クラブ） | | | | |
| 事 業 費 | 区分 | 決算額(千円) | 決算額(千円) | 決算額(千円) | 決算額(千円) | 決算額(千円) | |
| | 事業費(A+B) | 635,997 | 616,035 | 0 | 0 | 0 | |
| | 直接経費 A | 621,377 | 601,035 | 0 | 0 | 0 | |
| | 直接経費の財源内訳 | 国・県 | 379,556 | 364,188 | | | |
| | | 地方債 | 500 | 800 | | | |
| | | その他 | 10,006 | 20,206 | | | |
| 一般財源 | | 231,315 | 215,841 | | | | |
| 人件費 B | 14,620 | 15,000 | | | | | |
| 職員数の内訳 | 正規職員 | 2.00 | 2.00 | | | | |
| | 嘱託職員 | | | | | | |
| | 臨時職員 | | | | | | |

4. 令和4年度の事務事業実施概要【DO】

| | |
|-----------|---|
| 事務事業の実施概要 | 保護者が就労等により家にいない時間帯の小学生の居場所として、学校の余裕教室等を活用した放課後児童クラブを設置することで、児童の心身ともに健全な育成を図る。 |
|-----------|---|

5. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

| | | 指標名 | 単位 | 区分 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 |
|------|---|--------------------|----|----|-------|-------|-------|-------|-------|
| 活動指標 | 1 | 有資格者である放課後児童支援員の割合 | % | 目標 | 53 | 54 | 55 | 56 | 57 |
| | | | | 実績 | 48 | 52 | | | |
| | | (指標の説明) | | | | | | | |
| 活動指標 | 2 | | | 目標 | | | | | |
| | | | | 実績 | | | | | |
| | | (指標の説明) | | | | | | | |

6. 活動指標の達成率【CHECK】

| | | 指標名 | 単位 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 |
|-------|---|--------------------|----|-------|-------|-------|-------|-------|
| 指標達成率 | 1 | 有資格者である放課後児童支援員の割合 | % | 91% | 96% | | | |
| | 2 | | | | | | | |

7. 評価【CHECK】

| 評価項目と評価の視点 | 評価内容 | 評価理由 |
|-------------|--|--|
| 目的の妥当性 | <input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない | 放課後児童クラブのニーズは年々高まっており、妥当である。 |
| 事業の有効性 | <input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない | 放課後児童クラブを76クラブを開設し、昼間保護者が就労等のため家にいない小学校児童の適切な遊び及び生活の場を確保し、児童の健全育成につながっている。 |
| 資源投入の効率性 | <input type="checkbox"/> 1. 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない | 報酬や管理費等の経費を委託料として受託者に支払うほか、受託者が保護者負担金を徴収することで、放課後児童クラブの運営を行っている。 |
| サービスの公平性 | <input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない | 児童クラブ設置の必要がある校区にはすべて開設をしており、入級児童数が増加する等必要に応じて複数開設を行っている。また、委託料の支払いは児童クラブの規模（児童数）に応じて算定しており、公平性は保たれている。 |
| 担当課等の評価コメント | 放課後児童クラブのニーズは高く、役割は大きい。今後も入級希望児童の把握に努め、必要に応じて開設場所の確保を行う必要がある。 | |

8. 学識経験者の所見

【松村一善氏 評価結果】

| | |
|--------|--|
| 評価コメント | 市内全体では低学年の入級率が50%に近くなっており、利用希望者の増加、対象学年の拡大にともない児童クラブの設置数を増やして対応してきている。保護者のニーズの高い重要な事業であると判断できる。一方で、財政的にも現状の方式で対症療法的に児童クラブ設置数を年々増やす整備方針は限界に来ていると思われる。 |
|--------|--|

【石川真澄氏 評価結果】

| | |
|--------|--|
| 評価コメント | コロナ禍が続く中での事業であり、引き続き通常とは異なる対応が求められることが多かったものと思われる。そうした中でも児童クラブ数は増加しており、需要が引き続き高いことを示している。活動指標は支援員の質的改善に着目したものとなっているが、サービスの質を維持・改善しつつも効率的な運営となるよう、指標に表れない面での継続的な取り組みを期待したい。 |
|--------|--|

9. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

| | | | | |
|-----------|---|---|---|---|
| 今後の方向性 | <input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了 | <input checked="" type="checkbox"/> (1) 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> (1) 手段等の改善 <input type="checkbox"/> (1) 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> (1) 臨年実施等、意図的に休止 | <input type="checkbox"/> (2) 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> (2) 効率化・簡素化 <input type="checkbox"/> (2) 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> (2) 意図的に廃止 | <input type="checkbox"/> (3) 他事業との統合 <input type="checkbox"/> (3) 制度的に終了 |
| 今後の課題・方向性 | <p>上級生の入級を含め、放課後児童クラブへの入級希望児童数は引き続き増加傾向にあり、既存クラブの分割等が必要となることから、開設場所の確保が急務である。入級児童が増加する既存クラブの分割・拡充に向け、小学校、保護者会等運営団体と協議を行っていく。</p> <p>また、放課後児童クラブ支援員の確保も課題であることから、処遇改善等の取組も引き続き推進する。</p> | | | |

自己点検・評価シート

| | | | |
|-------|-----------|-------------|------------|
| 整理No. | 32 | 鳥取市教育振興基本計画 | |
| 事務事業名 | 生涯学習推進事業費 | 所属名 | 生涯学習・スポーツ課 |

1. 基本情報

| | | | |
|--------------------------|------|---|-----|
| 位基教 置本育 づ計振 け画興 | 体系区分 | コード | 名 称 |
| | 基本方針 | Ⅱ 郷土を愛し、豊かな心を育む学びの環境を築きます!【徳を啓く】 | |
| | 政策 | (1) 生涯にわたり、心豊かに学び育つことができる環境の充実 | |
| | 推進施策 | 1. 市民が自発的に、自由に学ぶことのできる多様な学習機会や情報の提供の充実を図ることで、生涯学習社会の実現をめざします。 | |

2. 事業目的【PLAN】

| | |
|----------------------------|--|
| 対 象 (何を、誰を) | 新市域の住民 |
| 意 図 (どのような状態 にするために) | 新市域において、住民が必要に応じて学習活動に参加できる環境を整備することを目指す。 |
| 手 段 (どうするのか) | 合併前から各町村で行われていた生涯学習事業を引き継ぎ、地域性を生かし、地域に根付いた事業を推進する。 |

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

| | | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 | |
|--------|-----------|--|--|------------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|--|
| 内 容 | 年度別計画 | 高齢者向け講座開催 成人向け講座開催 子ども向け講座開催 | 高齢者向け講座開催 成人向け講座開催 子ども向け講座開催 | 高齢者向け講座開催 成人向け講座開催 子ども向け講座開催 | 高齢者向け講座開催 成人向け講座開催 子ども向け講座開催 | 高齢者向け講座開催 成人向け講座開催 子ども向け講座開催 | |
| | 年度別実績 | 講座開設数261講座 内高齢者向 28講座 内子ども向 75講座 延参加人数5,501人 内高齢者向 415人 内子ども向2,209人 | 講座開設数285講座 内高齢者向 34講座 内子ども向 84講座 延参加人数9,577人 内高齢者向 548人 内子ども向3,262人 | | | | |
| 事 業 費 | 区分 | 決算額(千円) | 決算額(千円) | 決算額(千円) | 決算額(千円) | 決算額(千円) | |
| | 事業費(A+B) | 12,849 | 13,369 | 0 | 0 | 0 | |
| | 直接経費 A | 1,153 | 1,369 | 0 | 0 | 0 | |
| | 直接経費の財源内訳 | 国・県 | | | | | |
| | | 地方債 | | | | | |
| | | その他 | | | | | |
| 一般財源 | 1,153 | 1,369 | | | | | |
| 人件費 B | 11,696 | 12,000 | | | | | |
| 職員数の内訳 | 正規職員 | 1.60 | 1.60 | | | | |
| | 嘱託職員 | 8.00 | 8.00 | | | | |
| | 臨時職員 | | | | | | |

4. 令和4年度の事務事業実施概要【DO】

| | |
|-----------|---|
| 事務事業の実施概要 | 新市域8町の各分室で生涯学習事業が行われた。 高齢者向け講座、成人向け講座、女性対象講座、子ども対象講座、子育て支援、スポーツ教室、図書行事、作品展、伝統行事の継承など |
|-----------|---|

5. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

| | | 指標名 | 単位 | 区分 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 |
|---------|---------|-----------|----|----|-------|-------|-------|-------|-------|
| 活動指標 | 1 | 生涯学習事業の開催 | 件 | 目標 | 300 | 300 | 300 | 300 | 300 |
| | | | | 実績 | 261 | 285 | | | |
| | (指標の説明) | | | | | | | | |
| | 2 | | | | 目標 | | | | |
| 実績 | | | | | | | | | |
| (指標の説明) | | | | | | | | | |

6. 活動指標の達成率【CHECK】

| | | 指標名 | 単位 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 |
|-------|---|-----------|----|-------|-------|-------|-------|-------|
| 指標達成率 | 1 | 生涯学習事業の開催 | 件 | 87% | 95% | | | |
| | 2 | | | | | | | |

7. 評価【CHECK】

| 評価項目と評価の視点 | 評価内容 | 評価理由 |
|-------------|--|--|
| 目的の妥当性 | <input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない | 地域のニーズに合わせ、地域にあった生涯学習事業が開催されており、妥当と考える。 |
| 事業の有効性 | <input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない | 各分室で実施される生涯学習事業が、生涯学習の機会の充実、社会の要請にこたえる（地域課題解決）学習機会の寄与、世代間交流、地域住民のつながり、地域で子どもを育てる機運の醸成等に繋がる、有効な事業である。 |
| 資源投入の効率性 | <input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない | 鳥取市文化センターや、地区公民館における生涯学習事業との整合性を取りながら、重複するような内容の事業を整理し、分室として必要な事業を厳選しながら整理・再編を行っている。 |
| サービスの公平性 | <input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない | 中心市街地から離れていても、合併前と同様に各地域で生涯学習事業に参加が可能で、公平である。 |
| 担当課等の評価コメント | 地域のニーズにあわせた、特色のある生涯学習事業が行われている。 | |

8. 学識経験者の所見

【松村一善氏 評価結果】

| | |
|--------|---|
| 評価コメント | 2004年の広域合併以前の町村で実施されていた生涯学習事業を継承して、総合支所単位での生涯学習に取り組むものであり、各地域での生涯学習の機会充実に一定の役割を果たしてきたと考えられる。鳥取市文化センター、地区公民館が実施する生涯学習事業との役割分担については、重複を避けるための検討を開始しているとのことであり、各地域での生涯学習の機会を担保しながらの再編を期待したい。 |
|--------|---|

【石川真澄氏 評価結果】

| | |
|--------|--|
| 評価コメント | 合併後の新しい鳥取市全域での生涯学習事業の地域間のバランスを保つための過渡期の事業として新市場に対象を絞った事業が実施されることは理解できるが、徐々に市全域での事業の中で地域間のバランスを確保する方向に移行すべきものと考えられる。実施されている講座等の数と経費とを比較すれば、個々の講座等は少額の経費で実施されており、効率的な運用ははかられていると思われるが、他の生涯学習事業と同様の観点から評価が実施されることが望ましい。 |
|--------|--|

9. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

| | |
|-----------|--|
| 今後の方向性 | <input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> (1) 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> (2) 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> (1) 手段等の改善 <input type="checkbox"/> (2) 効率化・簡素化 <input type="checkbox"/> (3) 他事業との統合 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> (1) 意図的に縮小 <input checked="" type="checkbox"/> (2) 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了 <input type="checkbox"/> (1) 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> (2) 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> (3) 制度的に終了 |
| 今後の課題・方向性 | 本事業の元は、総合支所地域の各地区公民館を管轄する基幹公民館が行っていたもので、基幹公民館廃止後も規模縮小しながら事業を引き継いでいるもの。各地区公民館や文化センターで行う生涯学習事業との重複する部分を精査しながら、整理・縮小していく必要があると考える。各分室と協議を行いながら、今後の事業内容の精査を進めていきたい。 |

自己点検・評価シート

| | | | |
|-------|---------------------------|-------------|------------|
| 整理No. | 33 | 鳥取市教育振興基本計画 | |
| 事務事業名 | 生涯学習講座推進事業費 麒麟のまちアカデミー開設費 | 所属名 | 生涯学習・スポーツ課 |

1. 基本情報

| | | | |
|--------------------------|------|-----|--|
| 位基教 置本育 づ計振 け画興 | 体系区分 | コード | 名 称 |
| | 基本方針 | II | 郷土を愛し、豊かな心を育む学びの環境を築きます！【徳を啓く】 |
| | 政策 | (2) | 持続可能な地域づくりを支える社会教育の推進 |
| | 推進施策 | 3. | 本市のもつ豊かな自然、産業、歴史、芸術、文化財等の地域資源を学びの中で活用し、ふるさとの良さに気づき、ふるさとを愛する心を育みます。 |

2. 事業目的【PLAN】

| | |
|------------------------|--|
| 対 象 (何を、誰を) | 麒麟のまち圏域1市6町の住民 |
| 意 図 (どのような状態にするために) | 生涯学習講座「麒麟のまちアカデミー」を開講し、時代の変化に対応し、生活に必要となる知識や技能の習得や社会課題の学習、自己の生きがいづくりなど、生涯にわたり取り組める学習環境を提供する。 |
| 手 段 (どうするのか) | 鳥取市文化センターを生涯学習講座や講師等の情報の拠点とし、鳥取市尚徳大学（高齢者向け講座）、鳥取市民大学（成人向け講座）への麒麟のまち圏域全体から参加を受け入れる「麒麟のまちアカデミー」を運営している。 子どもから専門家まで、自由なものづくりの可能性を拡げる市民工房として、「ファブラボとっとり」を運営し、レーザー・デジタル加工機当を使った工作教室を実施している。 子どもから大人まで、多様な学習機会や情報の提供を行う。 |

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

| | | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 | |
|--------|-----------|---|--|------------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|--|
| 内 容 | 年度別計画 | 尚徳大学の開催 市民大学の開催 ファブラボとっとりの開催 | 尚徳大学の開催 市民大学の開催 ファブラボとっとりの開催 | 尚徳大学の開催 市民大学の開催 ファブラボとっとりの開催 | 尚徳大学の開催 市民大学の開催 ファブラボとっとりの開催 | 尚徳大学の開催 市民大学の開催 ファブラボとっとりの開催 | |
| | 年度別実績 | 尚徳大学 88回 延参加者数 1,851人 内6町 16人 市民大学 140回 延参加者数 848人 内6町 41人 ファブラボとっとり 10回 延参加者数 27人 | 尚徳大学 84回 延参加者数 1,499人 内6町 90人 市民大学 200回 延参加者数 1,175人 内6町 50人 ファブラボとっとり 26回 延参加者数 100人 | | | | |
| 事 業 費 | 区 分 | 決算額(千円) | 決算額(千円) | 決算額(千円) | 決算額(千円) | 決算額(千円) | |
| | 事業費(A+B) | 15,259 | 15,771 | 0 | 0 | 0 | |
| | 直接経費 A | 14,528 | 14,646 | 0 | 0 | 0 | |
| | 直接経費の財源内訳 | 国・県 | | | | | |
| | | 地方債 | | | | | |
| | | その他 | 7,751 | 5,694 | | | |
| 一般財源 | 6,777 | 8,952 | | | | | |
| 人件費 B | 731 | 1,125 | | | | | |
| 職員数の内訳 | 正規職員 | 0.10 | 0.15 | | | | |
| | 嘱託職員 | | | | | | |
| | 臨時職員 | | | | | | |

4. 令和4年度の事務事業実施概要【DO】

| | |
|-----------|--|
| 事務事業の実施概要 | 鳥取市尚徳大学の開催（高齢者向け講座） 専門コース 書道（20回）、彫刻（20回）、絵画（10回）、民芸（10回） 教養コース 貢献（6回）、社会（6回）、健康（6回）、郷土（6回） 鳥取市民大学の開催（成人向け講座） 教養コース（30回） 技能コース 書道（40回）、華道（40回）、美バランストレーニング（20回）、茶道（30回）、骨盤メンテナンス（10回）、むくみデトックス（10回）、メンタルヘルストレーニング（20回） ファブラボとっとり（市民工房） 工作教室（26回） |
|-----------|--|

5. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

| | | 指標名 | 単位 | 区分 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 |
|---------|---------|-----------|----|----|-------|-------|-------|-------|-------|
| 活動指標 | 1 | 講座受講者の満足度 | % | 目標 | 85 | 87 | 88 | 89 | 90 |
| | | | | 実績 | 83 | 92 | | | |
| | (指標の説明) | | | | | | | | |
| | 2 | | | | 目標 | | | | |
| 実績 | | | | | | | | | |
| (指標の説明) | | | | | | | | | |

6. 活動指標の達成率【CHECK】

| | | 指標名 | 単位 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 |
|-------|---|-----------|----|-------|-------|-------|-------|-------|
| 指標達成率 | 1 | 講座受講者の満足度 | % | 98% | 106% | | | |
| | 2 | | | | | | | |

7. 評価【CHECK】

| 評価項目と評価の視点 | 評価内容 | 評価理由 |
|-------------|--|--|
| 目的の妥当性 | <input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない | 生活に必要な知識や技能、社会的課題の学習、生きがいつくりに関する生涯学習講座の提供を行った。 |
| 事業の有効性 | <input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない | 高齢者の年齢にふさわしい社会的能力を高める学習講座を開催した。成人を対象に一般的な教養から専門的な知識の各種講座を開催した。 |
| 資源投入の効率性 | <input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない | 本市の生涯学習拠点として、鳥取市文化センターで生涯学習講座を一元的に実施し、効率的な運営が行われ、情報提供の充実が図られた。 |
| サービスの公平性 | <input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない | 講座の開催案内は、広報誌やホームページ、公民館等の公共施設への案内チラシの配架を行い、公平に行っている。 |
| 担当課等の評価コメント | 令和3年度から拡大された圏域内(6町)からの参加者は、昨年より延べ参加者数が増となった。新型コロナウイルスの影響もある中、感染対策を十分に行い、当初の予定通り講座を実施することができた。 | |

8. 学識経験者の所見

【松村一善氏 評価結果】

| | |
|--------|--|
| 評価コメント | 麒麟のまち圏域の住民を対象とした生涯学習講座の開催を中心とした事業であり、多くの講座が開設されている。ただし、本事業と他の生涯学習関連事業との役割分担については、もう少し明確に示しておく必要がある。なお、事業の年度別計画・実績については、活動指標である受講者の満足度ではなく、具体的な開設(予定)講座数・受講(見込み)人数を記載する形式に変更の方が望ましいと思われる。 |
|--------|--|

【石川真澄氏 評価結果】

| | |
|--------|---|
| 評価コメント | 引き続きコロナ禍の影響が残る時期であり、一定規模の講座の開催を継続できたことを評価すべきものとする。そうした中で、受講者の満足度を指標として設定し、目標を上回ったことは大きな成果と思われる。受講者のフィードバック等を踏まえて講座の企画を行っているとのことであり、麒麟のまち圏域町村をはじめ、新たな受講者が増加することを期待したい。 |
|--------|---|

9. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

| | | |
|-----------|---|---|
| 今後の方向性 | <input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了 | <input type="checkbox"/> (1) 意図的に拡充 <input checked="" type="checkbox"/> (1) 手段等の改善 <input type="checkbox"/> (2) 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> (2) 効率化・簡素化 <input type="checkbox"/> (3) 他事業との統合 <input type="checkbox"/> (1) 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> (2) 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> (1) 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> (2) 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> (3) 制度的に終了 |
| 今後の課題・方向性 | 参加対象を令和3年度より麒麟のまち圏域の住民に拡げ、年々市外からの参加者も増えてきているが、本市開催講座の実施のみにとどまっている。この取り組みの普及のためにも、6町と連携し、6町のいずれかを会場とした生涯学習講座の開催を検討していきたい。 | |

自己点検・評価シート

| | | | |
|-------|-----------|-------------|----------------|
| 整理No. | 35 | 鳥取市教育振興基本計画 | |
| 事務事業名 | 人権教育推進事業費 | 所属名 | 学校教育課・総合教育センター |

1. 基本情報

| | | | |
|--------------------------|------|---|-----|
| 位基教 置本育 づ計振 け画興 | 体系区分 | コード | 名 称 |
| | 基本方針 | Ⅱ 郷土を愛し、豊かな心を育む学びの環境を築きます！【徳を啓く】 | |
| | 政策 | (1) 生涯にわたり、心豊かに学び育つことができる環境の充実 | |
| | 推進施策 | 3. さまざまな学びや体験を通して、自分を取り巻く人々への感謝や敬愛・命の大切さや善悪の判断など豊かな心を育むとともに、人を大切にす人権教育の充実を図ります。 | |

2. 事業目的【PLAN】

| | |
|------------------------|---|
| 対 象 (何を、誰を) | 小・中・義務教育学校及びその児童生徒 |
| 意 図 (どのような状態にするために) | ・児童生徒の自治力を育み、いじめを許さない風土をつくること、学校・保護者・地域が一体となっていじめ防止のための取組や啓発を行うことでいじめの未然防止や早期発見・早期対応につなげる。 ・小・中・義務教育学校及びその児童生徒、保護者等のいじめ防止教育や情報モラル教育を含めた人権意識の高揚を図る。 |
| 手 段 (どうするのか) | ・全小・中・義務教育学校における鳥取市Smileプロジェクトの実施や専門家を派遣した情報モラル教育の推進による人権意識の高揚と啓発を行う。 ・いじめ防止対策推進委員会でいじめ防止に対して統括的に討議し、いじめの未然防止や課題解決に向けた取組を推進する。 |

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

| | | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 | |
|--------|-----------|--|--|--|--|--|--|
| 内 容 | 年度別計画 | ①Smileプロジェクトの推進 ②いじめ防止リーフレットの作成 ③いじめ防止対策推進委員会の開催 ④情報モラル研修会を実施 | ①Smileプロジェクトの推進 ②いじめ防止リーフレットの作成 ③いじめ防止対策推進委員会の開催 ④情報モラル研修会を実施 | ①Smileプロジェクトの推進 ②いじめ防止リーフレットの作成 ③いじめ防止対策推進委員会の開催 ④情報モラル研修会を実施 | ①Smileプロジェクトの推進 ②いじめ防止リーフレットの作成 ③いじめ防止対策推進委員会の開催 ④情報モラル研修会を実施 | ①Smileプロジェクトの推進 ②いじめ防止リーフレットの作成 ③いじめ防止対策推進委員会の開催 ④情報モラル研修会を実施 | |
| | 年度別実績 | ①Smile月間を実施 ②リーフレットを全児童生徒に配布 ③いじめ防止対策推進委員会を年2回開催 ④18校で21回実施 | ①Smile月間を実施 ②リーフレットを全児童生徒に配布 ③いじめ防止対策推進委員会を年2回開催 ④16校で20回実施 | | | | |
| 事 業 費 | 区分 | 決算額(千円) | 決算額(千円) | 決算額(千円) | 決算額(千円) | 決算額(千円) | |
| | 事業費(A+B) | 7,688 | 7,880 | 0 | 0 | 0 | |
| | 直接経費 A | 378 | 380 | 0 | 0 | 0 | |
| | 直接経費の財源内訳 | 国・県 | 0 | 0 | | | |
| | | 地方債 | 0 | 0 | | | |
| | | その他 | 0 | 0 | | | |
| 一般財源 | 378 | 380 | | | | | |
| 人件費 B | 7,310 | 7,500 | | | | | |
| 職員数の内訳 | 正規職員 | 1.00 | 1.00 | | | | |
| | 嘱託職員 | 0.00 | 0.00 | | | | |
| | 臨時職員 | 0.00 | 0.00 | | | | |

4. 令和4年度の事務事業実施概要【DO】

| | |
|-----------|--|
| 事務事業の実施概要 | いじめ防止・情報モラル教育推進事業では、子どもたちの自治力を育み、いじめを許さない風土をつくること、学校・保護者・地域が一体となっていじめ防止のための取組や啓発を行うことでいじめの未然防止や早期発見・対応につなげる。 インターネット上の人権に関わる問題は、年々増加する傾向にあり、各学校では、児童生徒の発達段階やニーズに合わせて、スマートフォン、ゲーム機等のメディア機器の使い方やマナーを啓発教育し、適正な使用やインターネット上でのマナーを身につけたり、それらを使いたいじめを防止したりすることを目的に情報モラル研修会を実施した。 |
|-----------|--|

5. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

| | | 指標名 | 単位 | 区分 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 |
|---------|---------|-------------------------------------|----|------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 活動指標 | 1 | 自分にはよいところがあると思う児童(小学校及び義務教育学校前期)の割合 | % | 目標 | 80.5 | 82 | 83.5 | 85 | 86 |
| | | | | 実績 | 75.6 | 78.5 | | | |
| | (指標の説明) | | | | | | | | |
| | 2 | 自分にはよいところがあると思う生徒(中学校及び義務教育学校後期)の割合 | % | 目標 | 75.5 | 77 | 78 | 79 | 80 |
| 実績 | | | | 75.3 | 76.6 | | | | |
| (指標の説明) | | | | | | | | | |

6. 活動指標の達成率【CHECK】

| | | 指標名 | 単位 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 |
|-------|---|-------------------------------------|----|-------|-------|-------|-------|-------|
| 指標達成率 | 1 | 自分にはよいところがあると思う児童(小学校及び義務教育学校前期)の割合 | % | 94% | 96% | | | |
| | 2 | 自分にはよいところがあると思う生徒(中学校及び義務教育学校後期)の割合 | % | 100% | 99% | | | |

7. 評価【CHECK】

| 評価項目と評価の視点 | 評価内容 | 評価理由 |
|-------------|--|--|
| 目的の妥当性 | <input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない | ・目的が明確であり妥当である。 |
| 事業の有効性 | <input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない | ・「鳥取市いじめ防止対策推進委員会」における、委員の助言をもとに「未然防止」と「早期発見・早期対応」を柱に取組を進めている。 ・情報モラル教育は、学校のニーズや現代的な課題にあった研修が行われており有効である。 |
| 資源投入の効率性 | <input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない | ・Smile月間（いじめ防止強調月間）に合わせていじめ防止リーフレットを全児童生徒に配布し、各学校が活用している。 ・外部講師を積極的に招聘し、学校の実態に合わせた情報モラル教育が進められている。 |
| サービスの公平性 | <input type="checkbox"/> 1. 公平である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない | ・希望する学校には必要な経費が配分され、公平である。 |
| 担当課等の評価コメント | いじめの未然防止や早期発見・早期対応のためには、児童生徒の自治力を育み、いじめを許さない風土をつくること、学校・保護者・地域が一体となっていじめ防止のための取組や啓発を行うことが重要である。そのためにも、各事業を効果的に関連付け、見直しをしながら進めていきたい。 | |

8. 学識経験者の所見

【松村一善氏 評価結果】

| | |
|--------|--|
| 評価コメント | 鳥取市SmileプロジェクトでのSmile宣言等、一定の活動成果をあげていると思われるが、活動指標等に含まれていないため、評価が困難である。多様な活動を含む事業であるため、活動指標としては多様な活動の成果を総合的に把握するものが採用されていると推察するが、年度別計画の①～④についてもそれぞれ活動実績を評価できるような指標についても検討されてはどうか。 |
|--------|--|

【石川真澄氏 評価結果】

| | |
|--------|---|
| 評価コメント | 事業規模も限定的であり、また事業の内容も短期的に効果の発現が期待しにくいものと思われる。そうした中、他の調査で得られた本事業の目的と関係の深い数値を指標として設定し、継続的に動向を把握することで事業の効果をみようと評価の枠組みは、評価の実効性と評価に伴う業務負担の抑制を両立させようとする試みとして評価したい。 |
|--------|---|

9. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

| | |
|-----------|--|
| 今後の方向性 | <input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> (1) 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> (2) 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> (1) 手段等の改善 <input type="checkbox"/> (2) 効率化・簡素化 <input type="checkbox"/> (3) 他事業との統合 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> (1) 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> (2) 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了 <input checked="" type="checkbox"/> (1) 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> (2) 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> (3) 制度的に終了 |
| 今後の課題・方向性 | スマートフォンやゲーム機器等の所持率が上がったことで、インターネットにつながる端末が身近になっている。子どもたちの中でもSNSや無料通話アプリで交流することが日常化しており、インターネット上での人権に係る事案が課題となっている。本市独自の取組である「鳥取市Smileプロジェクト」や情報モラル教育推進事業等で引き続き人権教育の充実を図る。 |

自己点検・評価シート

| | | | |
|-------|---------------|-------------|------------|
| 整理No. | 43 | 鳥取市教育振興基本計画 | |
| 事務事業名 | 地域学校協働活動推進事業費 | 所属名 | 生涯学習・スポーツ課 |

1. 基本情報

| | | | |
|---------------------------|------|-----|--|
| 位基教育 置本育 づ計振 げ画興 | 体系区分 | コード | 名称 |
| | 基本方針 | II | 郷土を愛し、豊かな心を育む学びの環境を築きます！【徳を啓く】 |
| | 政策 | (2) | 持続可能な地域づくりを支える社会教育の推進 |
| | 推進施策 | 2. | 未来を創り出す子どもたちの成長のために、学校のみならず、地域住民や保護者等も含め、市民一人ひとりが教育の当事者となり、社会総がかりでの教育の実現を図ります。 |

2. 事業目的【PLAN】

| | |
|-----------------------|---|
| 対象 (何を、誰を) | 市内小・中・義務教育学校 |
| 意図 (どのような状態にするために) | 幅広い地域住民の参画を得て、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を目指して、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して行う様々な活動、推進員を通じて学校、地域が連携することで学校づくりと、地域づくりを進める、未来の創りてとなる子どもたちを育てる。 |
| 手段 (どうするのか) | モデル地区に地域と学校のつなぎ役として地域学校協働活動推進員を配置し、持続可能な協働活動となるように、地域内の協力者（住民）・団体（保護者・文化団体・PTA・スポーツ団体・社会教育団体等）のつながりである地域学校協働本部を形成し、その役割を十分に機能させる。 |

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

| | | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 | |
|--------|-----------|--------------------|---------------------|-------------------|-------------------|-------------------|--|
| 内容 | 年度別計画 | 地域学校協働本部設置数 10 地区 | 地域学校協働本部設置数 14 地区 | 地域学校協働本部設置数 18 地区 | 地域学校協働本部設置数 30 地区 | 地域学校協働本部設置数 43 地区 | |
| | 年度別実績 | 統括推進員 1名 推進員 8名 | 統括推進員 2名 推進員 14名 | | | | |
| 事業費 | 区分 | 決算額(千円) | 決算額(千円) | 決算額(千円) | 決算額(千円) | 決算額(千円) | |
| | 事業費(A+B) | 5,551 | 6,379 | 0 | 0 | 0 | |
| | 直接経費 A | 1,896 | 2,629 | 0 | 0 | 0 | |
| | 直接経費の財源内訳 | 国・県 | 595 | 778 | | | |
| | | 地方債 | | | | | |
| | | その他 | | | | | |
| 一般財源 | 1,301 | 1,851 | | | | | |
| 人件費 B | 3,655 | 3,750 | | | | | |
| 職員数の内訳 | 正規職員 | 0.50 | 0.50 | | | | |
| | 嘱託職員 | | | | | | |
| | 臨時職員 | | | | | | |

4. 令和4年度の事務事業実施概要【DO】

| | |
|-----------|---|
| 事務事業の実施概要 | 【主な活動内容】 拡大学校運営協議会の開催（学校の教育方針の理解、地域ニーズの把握）、地域特性を生かしたカリキュラムの実施（放課後学習に地域住民が参加、地域行事への参加、まちづくり協議会との共同事業等）、地域と学校協働による災害時連絡網の構築、新聞発行による情報発信、空き教室を利用した学校カフェ、学校の掃除時間に住民が参加、休憩時間に公民館事業を実施し公民館サークルが協力。 |
| | 【推進員について】 統括推進員 2名（小学校校長経験者） 推進員 14名（PTAのOB、教員OB、民生児童委員、地区公民館職員等） |

5. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

| | | 指標名 | 単位 | 区分 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 |
|---------|---------|--------------|----|----|-------|-------|-------|-------|-------|
| 活動指標 | 1 | 地域学校協働本部の設置数 | 校区 | 目標 | 10 | 14 | 18 | 30 | 43 |
| | | | | 実績 | 3 | 5 | | | |
| | (指標の説明) | | | | | | | | |
| | 2 | | | | 目標 | | | | |
| 実績 | | | | | | | | | |
| (指標の説明) | | | | | | | | | |

6. 活動指標の達成率【CHECK】

| | | 指標名 | 単位 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 |
|-------|---|--------------|----|-------|-------|-------|-------|-------|
| 指標達成率 | 1 | 地域学校協働本部の設置数 | 校区 | 30% | 36% | | | |
| | 2 | | | | | | | |

7. 評価【CHECK】

| 評価項目と評価の視点 | 評価内容 | 評価理由 |
|-------------|--|---|
| 目的の妥当性 | <input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない | 地域と学校の連携・協働による子どもたちの教育環境の充実とそれを支えるひとづくり・つながりづくりの充実を図るため妥当である。 |
| 事業の有効性 | <input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない | 地域学校協働活動推進員を配置することにより、地域と学校の連携が図られ、少しずつではあるが地域全体で子どもたちの学びや成長を支える仕組みづくりが進んでいる。 |
| 資源投入の効率性 | <input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない | 地域学校協働活動推進員を配置することにより、地域と学校の窓口が一本化されお互いの負担感が軽減されている。また、情報共有がより図られるようになった。 |
| サービスの公平性 | <input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない | モデル地区の選定方法は、市内全小・中・義務教育学校に周知し希望があった地区の状況を聞き取り選定している。 |
| 担当課等の評価コメント | 地域学校協働活動は、地域と学校が連携・協働をしながら「学校を核とした地域づくり」を目指し今後の地域づくりに重要な事業である。今後も、鳥取市の推進員の設置など推進方法を検討しながら継続をしていく。 | |

8. 学識経験者の所見

【松村一善氏 評価結果】

| | |
|--------|--|
| 評価コメント | 学校と地域のつなぎ役となる地域学校協働活動推進員を配置し、持続可能な協働活動となるように地域学校協働本部の設置に向けて調整を図ろうとするものであり、モデル地区を徐々に増やししながら事業に取り組んでいる。ただし、令和4年度の地域学校協働本部の設置数は目標の14に対し実績は5と低調な結果となっている。成功事例の分析等を行い成功要因を関係者が共有できるよう、教育委員会の主導的な取組を期待したい。 |
|--------|--|

【石川真澄氏 評価結果】

| | |
|--------|---|
| 評価コメント | 学校と地域の連携を意図する事業であるが、目的や趣旨が異なるものの、同様に学校と地域との連携をほかり、そのための組織づくりを行う事業は他の事業にもみられる。事業や予算毎に複数の類似の組織が存在するよりも、ある程度整理・統合を図るべきではないかと考える。本事業の地域学校協働本部が、そうした組織の受け皿として発展することを期待したい。 |
|--------|---|

9. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

| | | |
|-----------|--|---|
| 今後の方向性 | <input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了 | <input type="checkbox"/> (1) 意図的に拡充 <input checked="" type="checkbox"/> (2) 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> (1) 手段等の改善 <input type="checkbox"/> (2) 効率化・簡素化 <input type="checkbox"/> (3) 他事業との統合 <input type="checkbox"/> (1) 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> (2) 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> (1) 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> (2) 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> (3) 制度的に終了 |
| 今後の課題・方向性 | 平成30年度から令和5年度まではモデル事業として取り組みを進めてきたが、令和6年度から本事業化し、実施地域の拡大を図っていく。そのために、モデル地域で行われている事例と効果をわかりやすく未実施の地域へ広めていくことに努め、多くの小・中・義務教育学校の学校運営協議会(コミュニティ・スクール)がきっかけとなり、地域学校協働活動を実施することで、学校を核とした地域づくりへとつなげていく。 | |

自己点検・評価シート

| | | | |
|-------|------------|-------------|------|
| 整理No. | 49 | 鳥取市教育振興基本計画 | |
| 事務事業名 | 鳥取城跡保存修理事業 | 所属名 | 文化財課 |

1. 基本情報

| | | | |
|--------------------------|------|---|-----|
| 位基教 置本育 づ計振 け画興 | 体系区分 | コード | 名 称 |
| | 基本方針 | II 郷土を愛し、豊かな心を育む学びの環境を築きます!【徳を啓く】 | |
| | 政策 | (3) 歴史と文化が息づくふるさとの創生 | |
| | 推進施策 | 1. 文化芸術の振興や文化財への愛護精神の醸成を図り、文化財の保存と活用を進め、次世代への継承に努めます。 | |

2. 事業目的【PLAN】

| | |
|----------------------------|---|
| 対 象 (何を、誰を) | 史跡鳥取城跡附太閤ヶ平 |
| 意 図 (どのような状態 にするために) | 1 文化財として良好な状態で保存・活用し、地域資源としての価値を高める。 2 市民の史跡への理解を深め、利活用の推進と全国への情報発信を図る。 |
| 手 段 (どうするのか) | 1 「保存整備基本計画」に基づき、史跡鳥取城跡の建造物の復元や石垣の修理、環境整備などを行う。 2 「鳥取城フォーラム」や見学会、展覧会等を実施し、情報発信と利活用の推進に努める。 |

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

| | | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 | |
|----------------|---------------|--|---|--|--|--|--|
| 内 容 | 年度別計画 | ①大手登城路の復元整備を実施する。 ②文化財の保存修理を実施する。 ③史跡の管理・環境維持を実施する。 ④史跡の調査研究・情報発信を行う。 | ①大手登城路の復元整備を実施する。 ②文化財の保存修理を実施する。 ③史跡の管理・環境維持を実施する。 ④史跡の調査研究・情報発信を行う。 | ①大手登城路の復元整備を実施する。 ②文化財の保存修理を実施する。 ③史跡の管理・環境維持を実施する。 ④史跡の調査研究・情報発信を行う。 | ①大手登城路の復元整備を実施する。 ②文化財の保存修理を実施する。 ③史跡の管理・環境維持を実施する。 ④史跡の調査研究・情報発信を行う。 | ①大手登城路の復元整備を実施する。 ②文化財の保存修理を実施する。 ③史跡の管理・環境維持を実施する。 ④史跡の調査研究・情報発信を行う。 | |
| | 年度別実績 | ①中ノ御門渡櫓門復元工事に着手した。 ②渡櫓門周辺の石垣の修理を行った。 ③史跡の管理・環境維持を実施した。 ④史跡の調査研究・情報発信を行った。 | ①中ノ御門渡櫓門復元工事を行った。 ②渡櫓門周辺の石垣の修理を行った。 ③史跡の管理・環境維持を実施した。 ④史跡の調査研究・情報発信を行った。 | | | | |
| 事 業 費 | 区分 | 決算額(千円) | 決算額(千円) | 決算額(千円) | 決算額(千円) | 決算額(千円) | |
| | 事業費(A+B) | 361,943 | 197,190 | 0 | 0 | 0 | |
| | 直接経費 A | 350,978 | 186,225 | 0 | 0 | 0 | |
| | 直接経費の財 源内訳 | 国・県 | 212,629 | 108,893 | | | |
| | | 地方債 | 116,200 | 59,300 | | | |
| | | その他 | 9,558 | 0 | | | |
| 一般財源 | | 12,591 | 18,032 | | | | |
| 人件費 B | 10,965 | 10,965 | 0 | | | | |
| 職 員 数 の 内 訳 | 正規職員 | 1.50 | 1.50 | | | | |
| | 嘱託職員 | 2.00 | 2.00 | | | | |
| | 臨時職員 | | | | | | |

4. 令和4年度の事務事業実施概要【DO】

| | |
|---------------|---|
| 事務事業の 実施概要 | <p>【事業の概要】</p> <p>鳥取城跡附太閤ヶ平は、昭和32年に国史跡指定文化財になって以後、年次計画で昭和18年の鳥取大震災等で損傷した石垣の保存修理を実施してきた。現在は、「史跡鳥取城跡保存整備実施計画」（平成18年度策定）に基づき、大手登城路復元整備事業に取り組んでいる。</p> <p>【事業の成果】</p> <p>市民からも要望の強い鳥取城跡の復元整備・環境整備を推進し、文化財としての保存・活用を図り、史跡の管理・活用を適正に実施した。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 復元整備事業の実施（中ノ御門渡櫓復元工事、それに係る関連工事を実施） 2. 維持管理・環境整備事業の実施 3. 調査研究・情報発信事業の実施（鳥取城調査研究年報の刊行、鳥取城フォーラムの実施） |
|---------------|---|

5. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

| | | 指標名 | 単位 | 区分 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 |
|-------------------------------|--------------------------------|------------|----|----|-------|-------|-------|-------|-------|
| 活動指標 | 1 | 大手登城路等石垣修理 | % | 目標 | 65 | 70 | 75 | 80 | 85 |
| | | | | 実績 | 65 | 70 | | | |
| | (指標の説明) 大手登城路及びその周辺の石垣修理工事の進捗率 | | | | | | | | |
| | 2 | 大手登城路復元整備 | 件 | 目標 | 3 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 実績 | | | | 3 | 1 | | | | |
| (指標の説明) 大手登城路内で整備する復元建物の整備工事数 | | | | | | | | | |

6. 活動指標の達成率【CHECK】

| | | 指標名 | 単位 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 |
|-------|---|------------|----|-------|-------|-------|-------|-------|
| 指標達成率 | 1 | 大手登城路等石垣修理 | % | 100% | 100% | | | |
| | 2 | 大手登城路復元整備 | % | 100% | 100% | | | |

7. 評価【CHECK】

| 評価項目と評価の視点 | 評価内容 | 評価理由 |
|-------------|--|--|
| 目的の妥当性 | <input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない | 1 国指定史跡であり、管理団体として保存活用に努める必要がある。また、中心市街地の都市核の中心を占め、市民の心のよりどころでもあるため。 2 管理団体として鳥取市が積極的に保存・活用に当たる必要がある、また、市民の期待も強い。 |
| 事業の有効性 | <input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない | 1 鳥取城跡の保存活用の推進は、中心市街地の活性化に資するとともに、史跡内にある久松公園、重要文化財仁風閣等の活用にもつながる。 2 鳥取城フォーラム、現地説明会等は常に一定以上の参加者を得ているが、より広範な市民に情報発信するために、お城祭り等の観光事業等や関係機関との協調を一層図る必要がある。 |
| 資源投入の効率性 | <input type="checkbox"/> 1. 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない | 1 指定文化財として慎重な取り扱いが必要であり、さらに既存の県有施設との調整等が不可欠である。 2 鳥取市歴史博物館、観光協会等との協力関係により、効率的に事業実施ができています。 |
| サービスの公平性 | <input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない | 1 無料で利用でき、文化財に関心のある市民だけでなく、市街地に残る豊かな自然環境、また、都市公園として広く利用することができる。 2 市民及び全国的にも城郭遺跡として一定程度の認知を得て活用されている。 |
| 担当課等の評価コメント | 令和9年度の大手登城路完成に向けて着実に事業を実施していきたい。 | |

8. 学識経験者の所見

【松村一善氏 評価結果】

| | |
|--------|---|
| 評価コメント | <p>長期的な保存整備計画の下、令和9年度の完成に向けて大手登城路の復元整備に取り組むものであるが、国庫補助金の交付額が要求額を下回ることが常態化しており、復元整備は着実に進んでいるものの計画通りに進んでいない。ただし、復元整備自体は毎年、着々とすすめられている。「鳥取城フォーラム」も開催するとともに、Youtubeでの動画配信も行っている。今後も鳥取城跡の復元整備には長期の時間を要することから、事業に対する市民の理解が深まるよう市民への情報発信等の内容についても事業成果としてのPRを期待したい。</p> |
|--------|---|

【石川真澄氏 評価結果】

| | |
|--------|--|
| 評価コメント | <p>国の予算に依存する部分が大きく、事業の進捗もそれに左右される傾向にある中で、着実に事業を進めている。また、コロナ禍の影響が残る中で、イベントや動画サイトなどを通じた情報発信を行い、事業への市民の理解を深めるよう努めている。</p> |
|--------|--|

9. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

| | |
|-----------|--|
| 今後の方向性 | <input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> (1) 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> (2) 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> (1) 手段等の改善 <input type="checkbox"/> (2) 効率化・簡素化 <input type="checkbox"/> (3) 他事業との統合 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> (1) 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> (2) 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了 <input type="checkbox"/> (1) 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> (2) 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> (3) 制度的に終了 |
| 今後の課題・方向性 | <p>復元整備が実際に進捗し、史跡内の仁風閣の修理や県立博物館の改修、城跡周辺の観光・まちづくりが進んでいく中、三階櫓を含む二ノ丸の復元整備や、文化財石垣の保存修理、久松公園との一元管理等を目指して事業の拡充を図る。</p> |

自己点検・評価シート

| | | | |
|-------|---------------|-------------|------|
| 整理No. | 50 | 鳥取市教育振興基本計画 | |
| 事務事業名 | 歴史文化基本構想策定事業費 | 所属名 | 文化財課 |

1. 基本情報

| | | | |
|--------------------------|------|---|-----|
| 位基教 置本育 づ計振 け画興 | 体系区分 | コード | 名 称 |
| | 基本方針 | Ⅱ 郷土を愛し、豊かな心を育む学びの環境を築きます！【徳を啓く】 | |
| | 政策 | (3) 歴史と文化が息づくふるさとの創生 | |
| | 推進施策 | 2. 伝統文化や歴史遺産に刻まれた先人たちの足跡に触れることで、地域への理解と絆を深め、郷土を愛する豊かな人間性を持った人材を育成します。 | |

2. 事業目的【PLAN】

| | |
|----------------------------|------------------------------|
| 対 象 (何を、誰を) | 地域の文化財 |
| 意 図 (どのような状態 にするために) | 計画的に保存活用を図る。 |
| 手 段 (どうするのか) | 文化財のマスタープランである歴史文化基本構想を策定する。 |

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

| | | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 | |
|----------------|-------------------|------------------|--|---------|---------|---------|--|
| 内 容 | 年度別計画 | 策定業務委託 委員会の開催 | シンポジウムの開催 | | | | |
| | 年度別実績 | 策定業務委託 委員会の開催 | 新型コロナウイルス感 染拡大のためシンポジ ウムの中止 未指定文化財の調査 | | | | |
| 事 業 費 | 区分 | 決算額(千円) | 決算額(千円) | 決算額(千円) | 決算額(千円) | 決算額(千円) | |
| | 事業費(A+B) | 11,750 | 800 | 0 | 0 | 0 | |
| | 直接経費 A | 4,440 | 50 | 0 | 0 | 0 | |
| | 直接経 費の財 源内訳 | 国・県 | 0 | 0 | | | |
| | | 地方債 | 0 | 0 | | | |
| | | その他 | 0 | 0 | | | |
| | | 一般財源 | 4,440 | 50 | | | |
| 人件費 B | 7,310 | 750 | | | | | |
| 職 員 数 の 内 訳 | 正規職員 | 1.00 | 0.10 | | | | |
| | 嘱託職員 | | | | | | |
| | 臨時職員 | | | | | | |

4. 令和4年度の事務事業実施概要【DO】

| | |
|---------------|---|
| 事務事業の 実施概要 | <p>(1) 事業の概要 歴史文化基本構想を策定し、文化財に関する保存活用のマスタープランとすることで、効率的・効果的な文化財保護と文化財を生かした地域づくりに資する。</p> <p>(2) 事業の成果 シンポジウムを開催する予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大のため中止した。 未指定文化財の調査については引き続き実施した。</p> |
|---------------|---|

5. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

| | | 指標名 | 単位 | 区分 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 |
|---------|---------|-----------|----|----|-------|-------|-------|-------|-------|
| 活動指標 | 1 | 委員会の開催 | 回 | 目標 | 1 | | | | |
| | | 実績 | | 1 | | | | | |
| | (指標の説明) | | | | | | | | |
| | 2 | シンポジウムの開催 | 回 | 目標 | | 1 | | | |
| 実績 | | | | | | | | | |
| (指標の説明) | | | | | | | | | |

6. 活動指標の達成率【CHECK】

| | | 指標名 | 単位 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 |
|-------|---|-----------|----|-------|-------|-------|-------|-------|
| 指標達成率 | 1 | 委員会の開催 | % | 100% | | | | |
| | 2 | シンポジウムの開催 | 回 | | 0% | | | |

7. 評価【CHECK】

| 評価項目と評価の視点 | 評価内容 | 評価理由 |
|-------------|--|--|
| 目的の妥当性 | <input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない | 歴史文化基本構想は文化財のマスタープランとなるものであり、策定を進める必要がある。 |
| 事業の有効性 | <input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない | 地域の文化財を発掘することができ、それを今後に生かすことができるため、事業は有効である。 |
| 資源投入の効率性 | <input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない | 地域の文化財を発掘していく上で、地元の人が調査しており、効率的に行うことができる。 |
| サービスの公平性 | <input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない | 歴史文化基本構想は市域全体を対象としており、公平である。 |
| 担当課等の評価コメント | 地域計画策定に向けて、引き続き調査を実施する必要がある。 | |

8. 学識経験者の所見

【松村一善氏 評価結果】

| | |
|--------|---|
| 評価コメント | 本事業の成果として、鳥取市歴史文化基本構想本編、資料編及び概要版が令和4年3月に発行されており、令和4年度は事業成果を公開するためのシンポジウムを予定していたが、新型コロナウイルスの感染拡大により中止となっている。本事業自体はこれで終了となるが、基本構想をふまえて、文化財保存活用地域計画を策定することとなる。機動力・実行力ある計画が策定されることを期待したい。 |
|--------|---|

【石川真澄氏 評価結果】

| | |
|--------|---|
| 評価コメント | 歴史文化基本構想の策定はおおむね3年度で完了しており、4年度はシンポジウムによる情報発信を計画していたがコロナ禍により中止され、実施されていない。予定した事業が実施できなかった状況は理解できるが、一方で歴史文化基本構想の策定全体を対象として評価が行われている点は、4年度の評価の在り方として疑問が残る。5年度以降は地域計画の策定へ以降するため、事業の内容や評価のあり方が大きく変化する見通しである。 |
|--------|---|

9. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

| | |
|-----------|--|
| 今後の方向性 | <input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> (1) 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> (2) 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> (1) 手段等の改善 <input type="checkbox"/> (2) 効率化・簡素化 <input type="checkbox"/> (3) 他事業との統合 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> (1) 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> (2) 制度的に自然減少 |
| | <input checked="" type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了 <input type="checkbox"/> (1) 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> (2) 意図的に廃止 <input checked="" type="checkbox"/> (3) 制度的に終了 |
| 今後の課題・方向性 | 基本構想の策定事業としては終了し、今後はこの基本構想を踏まえた事業計画の立案や事業の実施を進めていく。 |

自己点検・評価シート

| | | | |
|-------|----------|-------------|------|
| 整理No. | 51 | 鳥取市教育振興基本計画 | |
| 事務事業名 | 埋蔵文化財調査費 | 所属名 | 文化財課 |

1. 基本情報

| | | | |
|--------------------------|------|---|----|
| 位基教 置本育 づ計振 け画興 | 体系区分 | コード | 名称 |
| | 基本方針 | Ⅱ 郷土を愛し、豊かな心を育む学びの環境を築きます!【徳を啓く】 | |
| | 政策 | (3) 歴史と文化が息づくふるさとの創生 | |
| | 推進施策 | 2. 伝統文化や歴史遺産に刻まれた先人たちの足跡に触れることで、地域への理解と絆を深め、郷土を愛する豊かな人間性を持った人材を育成します。 | |

2. 事業目的【PLAN】

| | |
|-----------------------|-------------------|
| 対象 (何を、誰を) | 埋蔵文化財 |
| 意図 (どのような状態にするために) | 適切な状態で保存し、将来に伝える。 |
| 手段 (どうするのか) | 調査を実施する。 |

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

| | | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 | |
|--------|-----------|--|---|--|--|--|--|
| 内容 | 年度別計画 | 埋蔵文化財が確認されている場所で計画されている各種開発事業と調整を図り、文化財保護に努める。 | 埋蔵文化財が確認されている場所で計画されている各種開発事業と調整を図り、文化財保護に努める。 | 埋蔵文化財が確認されている場所で計画されている各種開発事業と調整を図り、文化財保護に努める。 | 埋蔵文化財が確認されている場所で計画されている各種開発事業と調整を図り、文化財保護に努める。 | 埋蔵文化財が確認されている場所で計画されている各種開発事業と調整を図り、文化財保護に努める。 | |
| | 年度別実績 | 布勢遺跡 64.1㎡ 鳥取城跡 30.0㎡ 宮長竹ヶ鼻遺跡 112.0㎡ 計3件 | 布勢遺跡 97.3㎡ 上野山古墳群 14.0㎡ 秋里遺跡 26.1㎡ ほか 計13件 | | | | |
| 事業費 | 区分 | 決算額(千円) | 決算額(千円) | 決算額(千円) | 決算額(千円) | 決算額(千円) | |
| | 事業費(A+B) | 16,875 | 22,376 | 0 | 0 | 0 | |
| | 直接経費 A | 9,565 | 14,876 | 0 | 0 | 0 | |
| | 直接経費の財源内訳 | 国・県 | 5,084 | 5,209 | | | |
| | | 地方債 | 0 | | | | |
| | | その他 | 0 | | | | |
| 人件費 B | 4,481 | 9,667 | | | | | |
| | 7,310 | 7,500 | | | | | |
| 職員数の内訳 | 正規職員 | 1.00 | 1.00 | | | | |
| | 嘱託職員 | | | | | | |
| | 臨時職員 | | | | | | |

4. 令和4年度の事務事業実施概要【DO】

| | |
|-----------|--|
| 事務事業の実施概要 | <p>(1) 事業の概要 埋蔵文化財が確認されている場所で計画されている各種開発事業と調整を図り、文化財保護に努めた。埋蔵文化財包蔵地等の開発に当たっては、埋蔵文化財調査を行い、遺構や出土遺物等について記録保存し、発掘調査報告書として知己の歴史文化等を後世へ伝えていく。</p> <p>(2) 事業の成果 【調査場所】 布勢遺跡 97.3㎡ 上野山古墳群 14.0㎡ 秋里遺跡 26.1㎡ ほか計13件 281.7㎡ 【開発協議件数】 153件</p> |
|-----------|--|

5. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

| | | 指標名 | 単位 | 区分 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 |
|---------|---------|---------|----|----|-------|-------|-------|-------|-------|
| 活動指標 | 1 | 発掘調査の件数 | 件 | 目標 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 |
| | | | | 実績 | 3 | 13 | | | |
| | (指標の説明) | | | | | | | | |
| | 2 | | 目標 | | | | | | |
| 実績 | | | | | | | | | |
| (指標の説明) | | | | | | | | | |

6. 活動指標の達成率【CHECK】

| | | 指標名 | 単位 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 |
|-------|---|---------|----|-------|-------|-------|-------|-------|
| 指標達成率 | 1 | 発掘調査の件数 | % | 60% | 260% | | | |
| | 2 | | | | | | | |

7. 評価【CHECK】

| 評価項目と評価の視点 | 評価内容 | 評価理由 |
|-------------|--|---|
| 目的の妥当性 | <input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない | 埋蔵文化財等を保護するために調査を実施することは妥当である。 |
| 事業の有効性 | <input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない | 埋蔵文化財等を保護するために事前に調査し、遺跡の有無等を確認することは開発事業調整を図るために有効である。 |
| 資源投入の効率性 | <input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない | 開発との調整等、文化財保護を図るために必要最低限の調査であり、効率的である。 |
| サービスの公平性 | <input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない | 開発事業と文化財保護の調整を図ることは国民の共有財産である文化財を保護することができ、公平である。 |
| 担当課等の評価コメント | 開発事業の状況によって必要になる事業であり、社会情勢に大きく左右され、事務局側で目標などを設定するのは困難である。 | |

8. 学識経験者の所見

【松村一善氏 評価結果】

| | |
|--------|--|
| 評価コメント | 開発事業にともない事前協議をふまえて、必要な場所に発掘調査を行うことから、目標設定が難しく、令和4年度は5件の目標に対して13件の実績となっている。開発協議件数も依然として高い数字となっている。総じて、適切に事業が実施されていると判断した。 |
|--------|--|

【石川真澄氏 評価結果】

| | |
|--------|--|
| 評価コメント | 開発事業の状況によって必要な発掘調査の数が変化する性格の事業であるが、現状、状況の変化に適切に対応できているように思われる。事前に予測が困難な必要な発掘調査の件数と実績を評価の指標とすることは、問題があると思われる。 |
|--------|--|

9. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

| | |
|--|--|
| 今後の方向性 | <input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> (1) 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> (2) 制度的に自然増加 |
| | <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> (1) 手段等の改善 <input type="checkbox"/> (2) 効率化・簡素化 <input type="checkbox"/> (3) 他事業との統合 |
| 今後の課題・方向性 | <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 |
| | <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> (1) 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> (2) 制度的に自然減少 |
| | <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了 <input type="checkbox"/> (1) 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> (2) 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> (3) 制度的に終了 |
| 社会情勢の変化に伴う調査量の増減や、調査成果の活用・情報発信、調査のデジタル化などに対応できるよう、体制整備をすすめていきたい。 | |

自己点検・評価シート

| | | | |
|-------|------------|-------------|-------|
| 整理No. | 59 | 鳥取市教育振興基本計画 | |
| 事務事業名 | 電子図書館管理運営費 | 所属名 | 中央図書館 |

1. 基本情報

| | | | |
|--------------------------|------|--|-----|
| 位基教 置本育 づ計振 け画興 | 体系区分 | コード | 名 称 |
| | 基本方針 | II 郷土を愛し、豊かな心を育む学びの環境を築きます！【徳を啓く】 | |
| | 政策 | (4) 親しみのある読書環境づくりの推進 | |
| | 推進施策 | 1. 年齢や障がいの有無などにかかわらず、すべての市民が読書を通して、豊かな心や夢を育み、人づくりや地域づくりを推進します。 | |

2. 事業目的【PLAN】

| | |
|------------------------|--|
| 対 象 (何を、誰を) | 電子図書館の整備で、子どもから大人まで、いつでもどこでも学べる環境を作る。 |
| 意 図 (どのような状態にするために) | コロナ禍や災害で図書館が休館となった場合でも、電子図書館により図書館サービスを図書館に出向くことなく市民に提供できる体制を整える。 また、音声読み上げ機能を持った電子書籍の整備により、障がいをお持ちの方などの図書館利用の利便性や読書環境を向上させる。 |
| 手 段 (どうするのか) | 電子図書館システムを導入するとともに、市民に提供するコンテンツを整備する。 |

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

| | | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 | |
|--------|-----------|------------------|--|--------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|--|
| 内 容 | 年度別計画 | 電子図書館システム導入事業の精査 | 電子図書館システムの導入・運用 電子書籍（コンテンツ）の整備 | 電子図書館システムの運用 電子書籍（コンテンツ）の整備 | 電子図書館システムの運用 電子書籍（コンテンツ）の整備 | 電子図書館システムの運用 電子書籍（コンテンツ）の整備 | |
| | 年度別実績 | 電子図書館システム導入事業の精査 | 電子図書館システムの導入・運用開始 →令和4年12月1日 運用開始 電子書籍（コンテンツ）の整備 →年度末10,180点（うち青空文庫9,472点） | | | | |
| 事業費 | 区分 | 決算額(千円) | 決算額(千円) | 決算額(千円) | 決算額(千円) | 決算額(千円) | |
| | 事業費(A+B) | 0 | 3,402 | 0 | 0 | 0 | |
| | 直接経費 A | 0 | 3,402 | 0 | 0 | 0 | |
| | 直接経費の財源内訳 | 国・県 | | 2,041 | | | |
| | | 地方債 | | | | | |
| | | その他 | | | | | |
| 一般財源 | | 1,361 | | | | | |
| 人件費 B | 0 | 0 | | | | | |
| 職員数の内訳 | 正規職員 | | | | | | |
| | 嘱託職員 | | | | | | |
| | 臨時職員 | | | | | | |

4. 令和4年度の事務事業実施概要【DO】

| | |
|-----------|--|
| 事務事業の実施概要 | 令和4年3月に鳥取市視覚障がい者等の読書環境の整備の推進に関する計画（鳥取市読書バリアフリー計画）を策定した。この計画では、障がいの有無に関わらず、すべての市民が読書活動を通じて文字・活字文化の恩恵を受けることができる読書環境の整備として、音声読み上げ機能等を持った電子図書館システム（電子書籍の提供）の整備の方向性を示した。 365日24時間、いつでもどこにいても、現在の読書環境に障がいを感じている人（高齢者や障がい者等）も、インターネットを通じて電子書籍の貸出、返却ができる鳥取市電子図書館を令和4年12月1日開設した。 |
|-----------|--|

5. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

| | | 指標名 | 単位 | 区分 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 |
|---------|---------|----------------------|----|----|-------|-------|-------|-------|-------|
| 活動指標 | 1 | 登録者数100人あたりの電子書籍貸出冊数 | 冊 | 目標 | | 4 | 5 | 6 | 7 |
| | | | | 実績 | | 4.03 | | | |
| | (指標の説明) | | | | | | | | |
| | 2 | | | | 目標 | | | | |
| 実績 | | | | | | | | | |
| (指標の説明) | | | | | | | | | |

6. 活動指標の達成率【CHECK】

| | | 指標名 | 単位 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 |
|-------|---|----------------------|----|-------|-------|-------|-------|-------|
| 指標達成率 | 1 | 登録者数100人あたりの電子書籍貸出冊数 | 冊 | | 101% | | | |
| | 2 | | | | | | | |

7. 評価【CHECK】

| 評価項目と評価の視点 | 評価内容 | 評価理由 |
|-------------|--|--|
| 目的の妥当性 | <input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない | 仕事や身体障がいなどにより、開館時間内の図書館利用や読書環境に困難をとまなう人が存在する。障がいの有無に関わらず、すべての市民が読書活動を通じて、文字・活字文化の恩恵を受けることのできる社会の実現に取り組む使命がある。 |
| 事業の有効性 | <input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない | 令和2年度、新型コロナウイルス感染症拡大により、図書館も休館に追い込まれた。コロナ禍や災害が発生しても、24時間365日、いつでも、どこにいても、インターネットを通じて、電子書籍の貸出、返却ができる電子図書館の整備は有効である。 |
| 資源投入の効率性 | <input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない | インターネットを通じたサービスの提供であるため、市民のあらゆるニーズに対応した電子書籍の提供、GIGAスクールのさらなる活用などに有効である。 |
| サービスの公平性 | <input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない | 子どもから大人まで、だれでも、いつでも、どこでも、学べる環境を作ることができる。 |
| 担当課等の評価コメント | 令和4年12月に電子図書館システムを運用開始した。今後、電子図書館を核とした鳥取市読書バリアフリー計画の推進を図っていく。 | |

8. 学識経験者の所見

【松村一善氏 評価結果】

| | |
|--------|---|
| 評価コメント | 令和4年12月1日より電子図書館のシステム運用を開始し、年度末までに10,180点の電子書籍整備を行っている。因幡・但馬麒麟のまち連携中枢都市圏の市町で利用可能であり、今後の利用拡大が期待される。市内の小中学校・義務教育学校の児童・生徒にIDを配布予定であり、GIGAスクール構想で導入した情報端末の活用促進につながるような蔵書整備を期待したい。 |
|--------|---|

【石川真澄氏 評価結果】

| | |
|--------|---|
| 評価コメント | 電子図書館は、視覚障がい者のみならず、一般の利用者にも利便性に優れたサービスとなる可能性があるが、4年度では実働4か月にとどまり、また導入された電子書籍も多くがパブリックドメインのコンテンツであるため、公共図書館として電子図書館を整備した効果が十分に発揮できる状況とは言い難い。活動指標の貸出冊数の目標については、4年度が4か月間の実績であることを考慮すると、通年の稼働が期待できる5年度以降の目標は慎重に過ぎる印象も受ける。 |
|--------|---|

9. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

| | | | | |
|-----------|---|---|---|---|
| 今後の方向性 | <input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了 | <input checked="" type="checkbox"/> (1) 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> (1) 手段等の改善 <input type="checkbox"/> (1) 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> (1) 臨年実施等、意図的に休止 | <input type="checkbox"/> (2) 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> (2) 効率化・簡素化 <input type="checkbox"/> (2) 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> (2) 意図的に廃止 | <input type="checkbox"/> (3) 他事業との統合 <input type="checkbox"/> (3) 制度的に終了 |
| 今後の課題・方向性 | 令和6年3月に図書館システムの更新により、図書館システムと電子図書館システムの連携を行い、より利便性のよいシステムとした。 そして、毎年度1,000コンテンツ程度の電子書籍を拡充することにより、電子図書館を核とした鳥取市読書バリアフリー計画の推進を図る。 | | | |

自己点検・評価シート

| | | | |
|-------|---------------|-------------|-------|
| 整理No. | 62 | 鳥取市教育振興基本計画 | |
| 事務事業名 | 地域社会教育活動総合事業費 | 所属名 | 中央図書館 |

1. 基本情報

| | | | |
|----------------------------------|------|---|-----|
| 位 基 教 置 本 育 づ 計 振 け 画 興 | 体系区分 | コード | 名 称 |
| | 基本方針 | Ⅱ 郷土を愛し、豊かな心を育む学びの環境を築きます！【徳を啓く】 | |
| | 政策 | (4) 親しみのある読書環境づくりの推進 | |
| | 推進施策 | 3. 学校・家庭・地域と図書館との連携を図りながら、子どもたちの読書活動を推進し、家庭・地域の教育力の向上を図ります。 | |

2. 事業目的【PLAN】

| | |
|------------------------|---|
| 対 象 (何を、誰を) | 子どもから大人までの市民が、本に親しむ機会を提供する。 |
| 意 図 (どのような状態にするために) | 市民等が本に親しむ機会を得ることにより、幼い時期から読書の習慣を身につけ、自ら考え、行動するために必要な知識や情報を得て、自己実現を図るとともに、生涯にわたって心豊かな暮らしを送るとともに、地域文化の発展に寄与する。 |
| 手 段 (どうするのか) | 子どもの読書活動を推進するため、ブックスタート事業の協力、おはなし会等の事業を実施するとともに、絵本の読み聞かせ等ボランティア養成講座の実施する。また、各種事業の展開にあたっては、広報媒体を活用して積極的な周知を図る。 |

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

| | | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 | |
|--------|-----------|--|---|--|--|--|--|
| 内 容 | 年度別計画 | お話し会や各種講座を中心とした生涯学習活動とボランティアなどの社会貢献を促進するとともに、高齢者向けの講座「音読教室」を実施するなど読書活動の推進を図る。こども食堂への支援に取り組む。 | ・「おはなし会」など子ども対象事業の開催 ・読み聞かせボランティア養成講座の開催 ・ブックスタート事業の協働実施 ・文字・活字文化の日講演会、音読教室、郷土講演会等の開催 ・こども食堂への配本 | ・「おはなし会」など子ども対象事業の開催 ・読み聞かせボランティア養成講座の開催 ・ブックスタート事業の協働実施 ・文字・活字文化の日講演会、音読教室、郷土講演会等の開催 ・こども食堂への配本 | ・「おはなし会」など子ども対象事業の開催 ・読み聞かせボランティア養成講座の開催 ・ブックスタート事業の協働実施 ・文字・活字文化の日講演会、音読教室、郷土講演会等の開催 ・こども食堂への配本 | ・「おはなし会」など子ども対象事業の開催 ・読み聞かせボランティア養成講座の開催 ・ブックスタート事業の協働実施 ・文字・活字文化の日講演会、音読教室、郷土講演会等の開催 ・こども食堂への配本 | ・「おはなし会」など子ども対象事業の開催 ・読み聞かせボランティア養成講座の開催 ・ブックスタート事業の協働実施 ・文字・活字文化の日講演会、音読教室、郷土講演会等の開催 ・こども食堂への配本 |
| | 年度別実績 | ・「おはなし会」など子ども対象事業の開催 ・読み聞かせボランティア養成講座の開催 ・ブックスタート事業の協働実施 ・文字・活字文化の日講演会、音読教室、郷土講演会等の開催 ・こども食堂への配本 | ・開館40周年記念事業、文字・活字文化の日講演会、音読教室、郷土講演会等の開催 ・「おはなし会」など子ども対象事業の開催 ・読み聞かせボランティア養成講座の開催 ・ブックスタート事業の協働実施 ・こども食堂への配本 | | | | |
| 事 業 費 | 区分 | 決算額(千円) | 決算額(千円) | 決算額(千円) | 決算額(千円) | 決算額(千円) | |
| | 事業費(A+B) | 4,212 | 4,307 | 0 | 0 | 0 | |
| | 直接経費 A | 557 | 557 | 0 | 0 | 0 | |
| | 直接経費の財源内訳 | 国・県 | | | | | |
| | | 地方債 | | | | | |
| | | その他 | | | | | |
| 一般財源 | 557 | 557 | | | | | |
| 人件費 B | 3,655 | 3,750 | | | | | |
| 職員数の内訳 | 正規職員 | 0.50 | 0.50 | | | | |
| | 嘱託職員 | | | | | | |
| | 臨時職員 | | | | | | |

4. 令和4年度の事務事業実施概要【DO】

| | |
|-----------|---|
| 事務事業の実施概要 | 読書活動の推進のため、次の事業を実施した。 ・各図書館で毎週定期的に「おはなし会」など子ども対象事業を開催 ・絵本の読み聞かせボランティア養成講座を開催 ・ブックスタート事業の保健所、読書ボランティア団体との協働実施 ・開館40周年記念講演会、文字・活字文化の日講演会、音読教室、郷土講演会等の開催 ・こども食堂への配本 |
|-----------|---|

5. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

| | | 指標名 | 単位 | 区分 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 |
|---------|---------|-----------------|----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 活動指標 | 1 | 登録者一人あたりの図書貸出冊数 | 冊 | 目標 | 10.1 | 10.2 | 10.3 | 10.4 | 10.5 |
| | | | | 実績 | 10.1 | 9.7 | | | |
| | (指標の説明) | | | | | | | | |
| | 2 | お話し会、各種講座等の参加者数 | 人 | 目標 | 6,000 | 6,000 | 6,000 | 6,000 | 6,000 |
| 実績 | | | | 3,086 | 4,158 | | | | |
| (指標の説明) | | | | | | | | | |

6. 活動指標の達成率【CHECK】

| | | 指標名 | 単位 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 |
|-------|---|-----------------|----|-------|-------|-------|-------|-------|
| 指標達成率 | 1 | 登録者一人あたりの図書貸出冊数 | 冊 | 100% | 95% | | | |
| | 2 | お話し会、各種講座等の参加者数 | 人 | 51% | 69% | | | |

7. 評価【CHECK】

| 評価項目と評価の視点 | 評価内容 | 評価理由 |
|-------------|--|---|
| 目的の妥当性 | <input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない | 生涯学習施設として、幼児から高齢者の知識や教養の習得を支援し、特に幼いころからの読書習慣を身につけるよう子どもの読書活動の推進を図り、もって、地域文化の発展に寄与する使命がある。 |
| 事業の有効性 | <input type="checkbox"/> 1. 有効である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない | 事業の実績として、参加者が増加しており、事業をとおして、多くの市民に図書館や本に親しんでもらうことができた。 |
| 資源投入の効率性 | <input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない | 現代的な課題も考慮しながら各種講座、講演会などを開催しているとともに、地元の人材（ボランティア）や職員を講師として活用している。 |
| サービスの公平性 | <input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない | 幼児から高齢者まで幅広い世代を対象とした事業を展開しており、広報についても市報をはじめケーブルテレビ、フェイスブックなども活用し、広く周知するよう取り組んでいる。 |
| 担当課等の評価コメント | 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、「おはなし会」など、読書活動の推進に係る事業を中止せざるを得なかったことから、利用冊数が伸びなかった。今後は、市民の読書活動への関心が高まるイベントの開催など、利用率向上に取り組む。 | |

8. 学識経験者の所見

【松村一善氏 評価結果】

| | |
|--------|---|
| 評価コメント | 限られた予算下で、子供の読書活動を推進するための多様な活動を継続しており、市民が本に親しむ機会を提供している。新型コロナの影響が残っていた令和4年度は、お話し会、各種講座等の参加者数がまだ伸び悩んでいるが、令和5年度以降の活動の拡大に期待したい。 |
|--------|---|

【石川真澄氏 評価結果】

| | |
|--------|---|
| 評価コメント | コロナ禍で各種講座受講者の動向が変化したとの説明があったが、登録者一人あたり図書貸出冊数やお話し会、各種講座等の参加者数を活動指標と位置づけることには疑問がある。前年度までの、講座参加者による修了後の実践状況を指標とするものの方が、本事業のアウトカムにより近いものであるように思われる。とはいえ、各種講座等の参加者が戻る傾向にあることは、コロナ禍の終わりが近づくなかで評価すべき変化である。 |
|--------|---|

9. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

| | | |
|-----------|---|---|
| 今後の方向性 | <input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了 | <input type="checkbox"/> (1) 意図的に拡充 <input checked="" type="checkbox"/> (1) 手段等の改善 <input type="checkbox"/> (1) 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> (1) 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> (2) 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> (2) 効率化・簡素化 <input type="checkbox"/> (2) 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> (2) 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> (3) 他事業との統合 <input type="checkbox"/> (3) 制度的に終了 |
| 今後の課題・方向性 | 子どもの読書活動を一層推進するためには、ブックスタート事業から継続する、本が身近にある環境の充実や読み聞かせに参加できる環境の充実が重要である。読書環境を手助けする人を養成する読み聞かせボランティア養成講座を、より受講しやすく、より実践につながるように内容を工夫していく。 | |

自己点検・評価シート

鳥取市教育振興基本計画

| | | | | | |
|-------|----|-------|-----------|-----|---------|
| 整理No. | 66 | 事務事業名 | 学校給食運営事業費 | 所属名 | 学校保健給食課 |
|-------|----|-------|-----------|-----|---------|

1. 基本情報

| | | | |
|--------------------------|------|---|----|
| 位基教 置本育 づ計振 け画興 | 体系区分 | コード | 名称 |
| | 基本方針 | Ⅲ 未来を創造する健やかな体を育みます！【体を拓く】 | |
| | 政策 | (1) 子どもの健全な食生活と学校保健の推進 | |
| | 推進施策 | 1. 児童生徒の心身の成長や健康の保持増進を図るため、学校給食の栄養バランスを工夫するとともに、地場産物の活用や望ましい食習慣を養う取組など食育の推進を図ります。 | |

2. 事業目的【PLAN】

| | |
|-----------------------|------------------------------|
| 対象 (何を、誰を) | 市立小中義務教育学校の児童生徒 |
| 意図 (どのような状態にするために) | 安心・安全でおいしい学校給食を継続的かつ安定的に提供する |
| 手段 (どうするのか) | 円滑な学校給食の運営を行う |

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

| | | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 | |
|--------|-----------|---|---|--|--|--|--|
| 内容 | 年度別計画 | 食材等、学校給食に必要な物資の購入 学校徴収金システムの運用（学校給食費の賦課、徴収） 残滓等の処理 学校給食の啓発・食育指導 | 食材等、学校給食に必要な物資の購入 学校徴収金システムの運用（学校給食費の賦課、徴収） 残滓等の処理 学校給食の啓発・食育指導 | 食材等、学校給食に必要な物資の購入 学校徴収金システムの運用（学校給食費の賦課、徴収） 残滓等の処理 学校給食の啓発・食育指導 | 食材等、学校給食に必要な物資の購入 学校徴収金システムの運用（学校給食費の賦課、徴収） 残滓等の処理 学校給食の啓発・食育指導 | 食材等、学校給食に必要な物資の購入 学校徴収金システムの運用（学校給食費の賦課、徴収） 残滓等の処理 学校給食の啓発・食育指導 | |
| | 年度別実績 | 学校給食賄材料費：851,454千円 学校給食費徴収率：99.22% 市報への学校給食レシピ掲載6回、掲示物「鳥取ふるさと探検」作成10回 | 学校給食賄材料費：840,440千円 学校給食費徴収率：99.05% 市報への学校給食レシピ掲載6回、掲示物・動画「鳥取ふるさと探検」作成9回 | | | | |
| 事業費 | 区分 | 決算額(千円) | 決算額(千円) | 決算額(千円) | 決算額(千円) | 決算額(千円) | |
| | 事業費(A+B) | 888,841 | 885,588 | 0 | 0 | 0 | |
| | 直接経費 A | 881,531 | 878,088 | 0 | 0 | 0 | |
| | 直接経費の財源内訳 | 国・県 | 0 | | | | |
| | | 地方債 | 0 | | | | |
| | | その他 | 836,577 | 819,172 | | | |
| 一般財源 | 44,954 | 58,916 | | | | | |
| 人件費 B | 7,310 | 7,500 | | | | | |
| 職員数の内訳 | 正規職員 | 1.00 | 1.00 | | | | |
| | 嘱託職員 | 1.20 | 1.20 | | | | |
| | 臨時職員 | | | | | | |

4. 令和4年度の事務事業実施概要【DO】

| | |
|-----------|---|
| 事務事業の実施概要 | 学校徴収金システムの運用、食材の調達、食育指導、残滓の処分等、円滑な学校給食の運営を行う。 |
|-----------|---|

5. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

| | | 指標名 | 単位 | 区分 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 |
|---------|---------|----------|----|------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 活動指標 | 1 | 学校給食の完食率 | % | 目標 | 95 | 95 | 95 | 95 | 95 |
| | | 実績 | | 91.5 | 90.3 | | | | |
| | (指標の説明) | | | | | | | | |
| | 2 | | 目標 | | | | | | |
| | | 実績 | | | | | | | |
| (指標の説明) | | | | | | | | | |

6. 活動指標の達成率【CHECK】

| | | 指標名 | 単位 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 |
|-------|---|----------|----|-------|-------|-------|-------|-------|
| 指標達成率 | 1 | 学校給食の完食率 | % | 96% | 95% | | | |
| | 2 | | | | | | | |

7. 評価【CHECK】

| 評価項目と評価の視点 | 評価内容 | 評価理由 |
|-------------|--|--|
| 目的の妥当性 | <input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない | 完食率を指標とすることで、児童生徒の心身の健全な発達に向けた取り組みの成果の一部を可視化することができる。 |
| 事業の有効性 | <input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない | 食育の取り組みを通じて、地場産物の活用による郷土愛の醸成や食に対する関心を高めることで、完食率の向上を図ることができる。 |
| 資源投入の効率性 | <input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない | 完食率を向上させることで、残滓処理にかかる経費の削減を図ることができる。 |
| サービスの公平性 | <input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない | 栄養教諭等が、全小中義務教育学校に対して、等しく食育指導を行うことができている。 |
| 担当課等の評価コメント | <p>コロナ禍のため、生産者との交流等が計画どおり実施できていないが、映像資料を作成するなど、工夫を重ねながら食育指導に取り組むことができています。</p> <p>特に、全国給食週間(1月24～30日)に併せ、学校給食特別番組(30分番組)を制作し、TV放送する事により、児童生徒だけでなく、広く保護者等に対しても給食の大切さを広報し、給食に対する意識の向上に寄与した。また、特別番組をYouTube形式で市公式HPにアップし、学校の授業でも使ってもらえる仕組みを構築できた。</p> | |

8. 学識経験者の所見

【松村一善氏 評価結果】

| | |
|--------|--|
| 評価コメント | 安心・安全でおいしい学校給食を継続的かつ安定的に提供し、地場産物の活用や望ましい食習慣を養う取組など食育の推進を図ることを目指している。食育の推進については、生産者との交流等が実施できない環境下で、映像資料の提供等で食育の推進を図っている。全国的に物価が高騰する中ではあるが、献立の工夫や食材の大量購入等のやりくりを行い給食費の値上げは行っていない点、調理に関わる光熱費については、市が負担している点等、保護者の経済的負担を増やすことなく安定的に学校給食を提供している点は評価できる。 |
|--------|--|

【石川真澄氏 評価結果】

| | |
|--------|--|
| 評価コメント | 事業費の大部分は食材の調達に関するものであるが、食育の要素を含む広報や啓発に関する部分について取り出し、「学校給食の完食率」を評価指標とするものと理解できる。事業費の構成からすれば評価に偏りが生じることが危惧されるが、食材そのものの選定は本事業の扱う範囲ではないと思われるため、本事業の評価の枠組みとしては妥当なものと思われる。 |
|--------|--|

9. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

| | |
|-----------|--|
| 今後の方向性 | <input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> (1) 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> (2) 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> (1) 手段等の改善 <input type="checkbox"/> (2) 効率化・簡素化 <input type="checkbox"/> (3) 他事業との統合 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> (1) 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> (2) 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了 <input type="checkbox"/> (1) 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> (2) 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> (3) 制度的に終了 |
| 今後の課題・方向性 | 新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、実施を見合わせていた生産者との交流会等を段階的に再開している。この活動とコロナ禍の間に作成した生産者の映像資料を組み合わせ、より積極的な食育指導に繋げていく。 |

自己点検・評価シート

| | | | |
|-------|----------------|-------------|---------|
| 整理No. | 67 | 鳥取市教育振興基本計画 | |
| 事務事業名 | 備品整備（学校給食センター） | 所属名 | 学校保健給食課 |

1. 基本情報

| | | | |
|--------------------------|------|--|-----|
| 位基教 置本育 づ計振 け画興 | 体系区分 | コード | 名 称 |
| | 基本方針 | Ⅲ 未来を創造する健やかな体を育みます！【体を拓く】 | |
| | 政策 | (1) 子どもの健全な食生活と学校保健の推進 | |
| | 推進施策 | 2. 学校給食センターの再整備、設備の充実に取り組むとともに、食物アレルギー対応等の対策を強化し、安全で安心な学校給食を提供します。 | |

2. 事業目的【PLAN】

| | |
|----------------------------|------------------------------|
| 対 象 (何を、誰を) | 市立小中義務教育学校の児童生徒 |
| 意 図 (どのような状態 にするために) | 安全・安心でおいしい学校給食を継続的かつ安定的に提供する |
| 手 段 (どうするのか) | 各学校給食センターの大型備品を計画的に更新する |

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

| | | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 | |
|--------|-----------|--|---|--|-----------------------------------|-------------------|--|
| 内 容 | 年度別計画 | 消毒保管庫（鹿野）、給食配送用コンテナ（鹿野）、冷蔵庫 | 給食配送用コンテナ（第一）、電動水圧洗米機（鹿野）、金属探知機（8センター）、義務教育学校配膳室空調設備 | 給食配送用コンテナ（第二）、冷蔵庫、配送車（河原）、真空冷却ボイラー（青谷） | 給食配送用コンテナ（湖東）、冷蔵庫、スチームコンベンション（国府） | 給食配送用コンテナ（鹿野）、冷蔵庫 | |
| | 年度別実績 | 消毒保管庫（鹿野）、給食配送用コンテナ（鹿野）、球根皮剥機（第二）、蓄冷剤凍結庫（湖東）、電動水圧先米機（青谷）、冷蔵庫（気高） | 給食配送用コンテナ（第一）、電動水圧洗米機（鹿野）、金属探知機（8センター）、消毒保管庫（第一）、冷凍庫（第二、国府）、球根皮剥機（青谷）、回転釜（鹿野） | | | | |
| 事 業 費 | 区分 | 決算額(千円) | 決算額(千円) | 決算額(千円) | 決算額(千円) | 決算額(千円) | |
| | 事業費(A+B) | 12,996 | 16,160 | 0 | 0 | 0 | |
| | 直接経費 A | 11,534 | 14,660 | 0 | 0 | 0 | |
| | 直接経費の財源内訳 | 国・県 | | | | | |
| | | 地方債 | 4,350 | 4,600 | | | |
| | | その他 | 113 | 14 | | | |
| 一般財源 | 7,071 | 10,046 | | | | | |
| 人件費 B | 1,462 | 1,500 | | | | | |
| 職員数の内訳 | 正規職員 | 0.20 | 0.20 | | | | |
| | 嘱託職員 | | | | | | |
| | 臨時職員 | | | | | | |

4. 令和4年度の事務事業実施概要【DO】

| | |
|-----------|--|
| 事務事業の実施概要 | <p>安全・安心な学校給食を継続的かつ安定的に供給するため、学校給食センター及び学校備品を更新する。各学校給食センターの大型調理機器について、年次計画的更新を図る。</p> <p>また、年次計画外の機器の緊急修繕・機器更新については、各センターで緊急対応を行い、給食の提供に支障を来さないよう努めた。</p> <p>なお、配膳室の空調設備は別途、新型コロナウイルス感染症対策事業として整備した。</p> <p>年次計画外の実施概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ○消毒保管庫（第一）約4700食/日（納品まで他の保管庫を工夫して使い分け、全物品消毒を維持） ○冷凍庫（第二・国府）約5100食/日・約1000食/日（納品の時期を調整し、冷凍保存を最小限維持） ○球根皮剥機（青谷）約300食/日（納品まで手切りを行い、献立変更なく調理を実施） ○回転釜（鹿野）約250食/日（効率的に複数の釜を使い時間差調理を行い、献立変更なく調理を実施） |
|-----------|--|

5. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

| | | 指標名 | 単位 | 区分 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 |
|------|---|---|----|----|-------|-------|-------|-------|-------|
| 活動指標 | 1 | 学校給食の安定的かつ継続的な提供 | % | 目標 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 |
| | | (指標の説明) 学校給食を安定的に提供できていること(大型備品の故障等により、供給できない事態を発生させない) | | | | | | | |
| | 2 | | | 目標 | | | | | |
| | | (指標の説明) | | | | | | | |

6. 活動指標の達成率【CHECK】

| | | 指標名 | 単位 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 |
|-------|---|------------------|----|-------|-------|-------|-------|-------|
| 指標達成率 | 1 | 学校給食の安定的かつ継続的な提供 | % | 100% | 100% | | | |
| | 2 | | | | | | | |

7. 評価【CHECK】

| 評価項目と評価の視点 | 評価内容 | 評価理由 |
|-------------|--|---|
| 目的の妥当性 | <input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない | 高額な大型備品については計画的な更新を図ることで突発的な故障を未然に防ぎ、学校給食の安定的な提供と財政負担の平準化を図ることができる。 |
| 事業の有効性 | <input type="checkbox"/> 1. 有効である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない | 立案時に想定していない故障等の対応を優先せざるを得ないことがある。 |
| 資源投入の効率性 | <input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない | 修繕可能なものについては修繕しながら使用しており、効率的な更新を進めている。 |
| サービスの公平性 | <input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない | 全小中学校、義務教育学校に対して、等しく安定して学校給食を提供することができる。 |
| 担当課等の評価コメント | 想定外の急な故障等に優先的に対応するなど、計画外の動きを余儀なくされることがあるが、必要な予算措置を行なうなどにより臨機応変に対応し、給食の提供に大きな支障を出すことなく実施ができています。 | |

8. 学識経験者の所見

【松村一善氏 評価結果】

| | |
|--------|---|
| 評価コメント | 本事業は年次計画で学校給食センター及び学校備品等の機器等の整備を行うものであるが、想定外の故障等の対応も行われている。令和4年度の事務事業実施概要に記載されている機器の更新を行った結果、学校給食の安定的かつ継続的な提供が100%行われた。これらのことから、令和4年度の備品整備も必要なものであったと判断できる。 |
|--------|---|

【石川真澄氏 評価結果】

| | |
|--------|--|
| 評価コメント | 計画的な更新を行うとともに、計画外の修繕・更新に対応し、安定的な給食の提供を実現している。100%欠かさず給食の提供を求めることが当然のように求められる事業であり、それを維持していることは高く評価すべきものとする。また、事業の枠にとらわれず、他の利用可能な事業を活用して必要な整備を実施したことも効率性の観点から評価できる。 |
|--------|--|

9. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

| | |
|-----------|---|
| 今後の方向性 | <input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> (1) 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> (2) 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> (1) 手段等の改善 <input type="checkbox"/> (2) 効率化・簡素化 <input type="checkbox"/> (3) 他事業との統合 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> (1) 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> (2) 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了 <input type="checkbox"/> (1) 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> (2) 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> (3) 制度的に終了 |
| 今後の課題・方向性 | 令和5年10月に「第一期鳥取市学校給食センター整備計画」を策定し、施設の老朽化・設備の陳腐化が進む第一・湖東学校給食センターの機能を包含する新たな学校給食センターの整備(令和9年度完成予定)に着手したところである。このため将来的に更新計画は縮小される見通しであるが、それまでは必要最低限かつ最大効率となるような備品の選定が必要となる。 |

自己点検・評価シート

| | | | | |
|-------|-----------------------|-------------|------------|--|
| 整理No. | 72 | 鳥取市教育振興基本計画 | | |
| 事務事業名 | 子どものこころづくり支援「夢の教室」事業費 | 所属名 | 生涯学習・スポーツ課 | |

1. 基本情報

| | | | |
|--------------------------|------|---|----|
| 位基教 置本育 づ計振 け画興 | 体系区分 | コード | 名称 |
| | 基本方針 | Ⅲ 未来を創造する健やかな体を育みます！【体を拓く】 | |
| | 政策 | (2) すべての市民がいつでも親しむことのできるスポーツ活動の振興 | |
| | 推進施策 | 1. 乳幼児期から高齢者まで運動やスポーツに親しむ機会の充実に取り組み、体力向上と健康寿命の延伸を図りながら、生涯にわたり豊かな心と健やかな体を育みます。 | |

2. 事業目的【PLAN】

| | |
|-----------------------|--|
| 対象 (何を、誰を) | 小学5年生及び中学2年生 |
| 意図 (どのような状態にするために) | 夢を持つことの大切さ、挫折を乗り越える力、仲間を大切にできる心など児童生徒の社会性を養うため |
| 手段 (どうするのか) | 日本サッカー協会が派遣するサッカーを初め陸上、野球、テニス、ラグビーなど様々な競技のアスリートやアーティストを学校に招き「夢先生」として児童生徒に授業を実施する。授業を通じて児童生徒が感じたことや抱えている問題について夢先生とやり取りし指導を受けることで、児童生徒の夢を応援する。 |

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

| | | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 | |
|--------|-----------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|--|
| 内容 | 年度別計画 | 「夢の教室」実施校数：16校 | 「夢の教室」実施校数：16校 | 「夢の教室」実施校数：18校 | 「夢の教室」実施校数：18校 | 「夢の教室」実施校数：20校 | |
| | 年度別実績 | 「夢の教室」実施校数：12校 | 「夢の教室」実施校数：11校 | | | | |
| 事業費 | 区分 | 決算額(千円) | 決算額(千円) | 決算額(千円) | 決算額(千円) | 決算額(千円) | |
| | 事業費(A+B) | 5,215 | 5,400 | 0 | 0 | 0 | |
| | 直接経費 A | 1,560 | 1,650 | 0 | 0 | 0 | |
| | 直接経費の財源内訳 | 国・県 | | | | | |
| | | 地方債 | | | | | |
| | | その他 | 1,560 | 1,650 | | | |
| 一般財源 | | | | | | | |
| 人件費 B | 3,655 | 3,750 | | | | | |
| 職員数の内訳 | 正規職員 | 0.50 | 0.50 | | | | |
| | 嘱託職員 | | | | | | |
| | 臨時職員 | | | | | | |

4. 令和4年度の事務事業実施概要【DO】

| | |
|-----------|---|
| 事務事業の実施概要 | <p>授業は正規の授業2コマ(45分授業の2時限)をオンラインで実施。 「夢先生」1名、アシスタント1名、サポートスタッフ1名で実施。なお、「夢先生」は、日本サッカー協会が派遣するサッカーを初め陸上、野球、テニス、ラグビーなど様々な競技のアスリートやアーティストである。 『トークの時間』教室で、トップアスリート「夢先生」の体験談などをもとに、夢について話し合う時間及び子どもたちに自分の夢を考えてもらう時間。 委託先：日本サッカー協会 経費内訳：夢先生・アシスタントの報償費、事務費等。 財源：ふるさと納税基金</p> |
|-----------|---|

5. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

| | | 指標名 | 単位 | 区分 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 |
|--|---------|----------|-----|----|-------|-------|-------|-------|-------|
| 活動指標 | 1 | 夢の教室実施校数 | 校 | 目標 | 16 | 16 | 18 | 18 | 20 |
| | | | | 実績 | 12 | 11 | | | |
| | (指標の説明) | | | | | | | | |
| | 2 | 夢の教室参加者数 | クラス | 目標 | 19 | 19 | 23 | 23 | 25 |
| 実績 | | | | 21 | 22 | | | | |
| (指標の説明) 30人/クラス×19クラス(13校×1クラス+3校×2クラス)⇒23クラス(14校×1クラス+4校×2クラス)⇒25クラス(15校×1+5校×2クラス) | | | | | | | | | |

6. 活動指標の達成率【CHECK】

| | | 指標名 | 単位 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 |
|-------|---|----------|-----|-------|-------|-------|-------|-------|
| 指標達成率 | 1 | 夢の教室実施校数 | 校 | 75% | 69% | | | |
| | 2 | 夢の教室参加者数 | クラス | 111% | 116% | | | |

7. 評価【CHECK】

| 評価項目と評価の視点 | 評価内容 | 評価理由 |
|-------------|--|--|
| 目的の妥当性 | <input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない | 一流の人材と交流する機会が少ない本市の児童生徒にとっては、アスリートやアーティストと交流する機会を持つことができ、且つ実体験に触れることで見聞を広めることが可能となる。 |
| 事業の有効性 | <input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない | 普段の学校生活では得ることが出来ない経験を児童生徒が積むことが出来る点について、学校から高い評価を受けている。 |
| 資源投入の効率性 | <input type="checkbox"/> 1. 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない | ふるさと納税を用いた青少年育成に関する事業として、児童生徒の健全育成に効果を上げている。 |
| サービスの公平性 | <input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない | 各小・中・義務教育学校に対し、参加希望を募っている。 |
| 担当課等の評価コメント | コロナ禍のためオンライン授業となり、夢先生と対面しての触れ合いが減少した。令和5年度から対面に戻る。学校や市民から人気のある事業であり継続並びに対象校の拡大を要望されている。本市ではアスリートと触れ合う機会は少ないので、今後とも継続していきたい。 | |

8. 学識経験者の所見

【松村一善氏 評価結果】

| | |
|--------|--|
| 評価コメント | アスリート（夢先生）との交流を通じて、児童生徒の社会性を伸ばすことを目的とした事業であり、これまで一定の評価をえている。令和4年度も新型コロナウイルス感染症の影響でオンラインでの実施となり、目標よりも実施校数が少なくなっている。今後は実施方法の見直しを旨るとともに、活動指標についても実施校数・実施クラス数から、より実施効果を判断できる指標に改善していくことが必要な時期に来ていると判断した。 |
|--------|--|

【石川真澄氏 評価結果】

| | |
|--------|---|
| 評価コメント | コロナ禍のため例年と異なりオンラインでの実施となった。評価指標が実施校数とクラス数となっているが、参加した児童生徒からの評価結果や、他の事業で指標として利用している「夢や目標を持っている児童生徒の割合」などを充てた方が本事業のアウトカムに近い評価ができるのではないかと。 |
|--------|---|

9. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

| | | | | |
|-----------|---|---|---|---|
| 今後の方向性 | <input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了 | <input checked="" type="checkbox"/> (1) 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> (1) 手段等の改善 <input type="checkbox"/> (1) 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> (1) 臨年実施等、意図的に休止 | <input type="checkbox"/> (2) 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> (2) 効率化・簡素化 <input type="checkbox"/> (2) 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> (2) 意図的に廃止 | <input type="checkbox"/> (3) 他事業との統合 <input type="checkbox"/> (3) 制度的に終了 |
| 今後の課題・方向性 | 学校や市民から人気のある事業であり継続並びに対象校の拡大を要望されている。本市ではアスリートと触れ合う機会は少ないので、今後とも実施校数を拡充しながら継続していきたい。 | | | |

自己点検・評価シート

鳥取市教育振興基本計画

| | | | | | |
|-------|----|-------|------------------|-----|------------|
| 整理No. | 75 | 事務事業名 | 地域運営型部活動推進モデル事業費 | 所属名 | 生涯学習・スポーツ課 |
|-------|----|-------|------------------|-----|------------|

1. 基本情報

| | | | |
|--------------------------|------|---|-------------------------------|
| 位基教 置本育 づ計振 け画興 | 体系区分 | コード | 名称 |
| | 基本方針 | Ⅲ | 未来を創造する健やかな体を育みます！【体を拓く】 |
| | 政策 | (2) | すべての市民がいつでも親しむことのできるスポーツ活動の振興 |
| | 推進施策 | 1. 乳幼児期から高齢者まで運動やスポーツに親しむ機会の充実に取り組み、体力向上と健康寿命の延伸を図りながら、生涯にわたり豊かな心と健やかな体を育みます。 | |

2. 事業目的【PLAN】

| | |
|-----------------------|--|
| 対象 (何を、誰を) | NPO法人鹿の助スポーツクラブ（鹿野学園部活動） |
| 意図 (どのような状態にするために) | 鹿野町エリアをモデル地域として総合型地域スポーツクラブによる中学校部活動運営（部活動指導者の人材バンク）を検証する。 |
| 手段 (どうするのか) | NPO法人鹿の助スポーツクラブが地域人材を発掘してスポーツ指導者として育成し、部活動指導員として鹿野学園に派遣するスポーツ人材バンクを設置する。また、学校長や顧問と指導方針のすり合わせや生徒等の情報交換を行うことで、学校がこれまで行ってきた部活動と同様のスポーツ活動を生徒に提供する。 |

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

| | | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 | |
|--------|-----------|---|---|---|---|---|--|
| 内容 | 年度別計画 | ①学校とのヒアリング ②スポーツ指導者の発掘と養成 ③休日部活動の実施 | ①学校とのヒアリング ②スポーツ指導者の発掘と養成 ③休日部活動の実施 | ①学校とのヒアリング ②スポーツ指導者の発掘と養成 ③休日部活動の実施 | ①学校とのヒアリング ②スポーツ指導者の発掘と養成 ③休日部活動の実施 | ①学校とのヒアリング ②スポーツ指導者の発掘と養成 ③休日部活動の実施 | |
| | 年度別実績 | ①学校とのヒアリング ②スポーツ指導者の発掘と養成 ③休日部活動の実施 | ①学校とのヒアリング ②スポーツ指導者の発掘と養成 ③休日部活動の実施 | | | | |
| 事業費 | 区分 | 決算額(千円) | 決算額(千円) | 決算額(千円) | 決算額(千円) | 決算額(千円) | |
| | 事業費(A+B) | 4,094 | 4,445 | 0 | 0 | 0 | |
| | 直接経費 A | 439 | 695 | 0 | 0 | 0 | |
| | 直接経費の財源内訳 | 国・県 | 439 | 503 | | | |
| | | 地方債 | | | | | |
| | | その他 | | | | | |
| 人件費 B | 3,655 | 3,750 | | | | | |
| 職員数の内訳 | 正規職員 | 0.50 | 0.50 | | | | |
| | 嘱託職員 | 0.00 | | | | | |
| | 臨時職員 | 0.00 | | | | | |

4. 令和4年度の事務事業実施概要【DO】

| | |
|-----------|--|
| 事務事業の実施概要 | <p>地域部活動の検証事業（委託事業） 委託者：国⇒県⇒市 受託者：鹿の助スポーツクラブ 対象地域：鹿野町エリア 鹿野学園（7～9年生） 概要：部活動サポート人材バンクの組織化と運営 ①中学校の体育部活動の実態把握と運営方針の調整 ②監督及びコーチを行う指導人材の確保 ③指導人材への指導者研修（指導スキルの向上） ④学校部活動への指導者派遣 ⑤人材バンク運営における事業骨子の報告</p> |
|-----------|--|

5. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

| | | 指標名 | 単位 | 区分 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 |
|------|-------------------------------|-----------|----|----|-------|-------|-------|-------|-------|
| 活動指標 | 1 | 地域部活動実施回数 | 回 | 目標 | 10 | 104 | 208 | 208 | 208 |
| | | 実績 | | 1 | 5 | | | | |
| | (指標の説明) 部活動回数(52週×2回(土日)×種目数) | | | | | | | | |
| 2 | 指導者派遣人数 | | 人 | 目標 | 1 | 3 | 3 | 4 | 4 |
| | | | | 実績 | 1 | 1 | | | |
| | (指標の説明) 地域人材(スポーツ指導者)の学校派遣人数 | | | | | | | | |

6. 活動指標の達成率【CHECK】

| | | 指標名 | 単位 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 |
|-------|---|-----------|----|-------|-------|-------|-------|-------|
| 指標達成率 | 1 | 地域部活動実施回数 | 回 | 10% | 5% | | | |
| | 2 | 指導者派遣人数 | 人 | 100% | 33% | | | |

7. 評価【CHECK】

| 評価項目と評価の視点 | 評価内容 | 評価理由 |
|-------------|--|---|
| 目的の妥当性 | <input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない | 地域部活動を推進するにあたり、地域団体が部活動運営を行う上での条件や課題を整理する。 |
| 事業の有効性 | <input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない | スポーツ庁が想定する運営主体である総合型地域スポーツクラブが存在する校区、且つ学校と地域の距離が近く地域の協力が得やすい校区は鹿野校区である。全校区に拡大してく上でも事業を検証する必要がある。 |
| 資源投入の効率性 | <input type="checkbox"/> 1. 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない | モデル校区を設定して事業検証するため、確実な予算執行が見込まれる。 |
| サービスの公平性 | <input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない | スポーツ庁の描く地域部活動はまだ不確定な部分が多いため、地域部活動について市民の周知を図られていない。地域部活動を全市展開するうえでもモデル校区を指定し事業検証を行うことは、妥当であると考えられる。 |
| 担当課等の評価コメント | 地域移行の実現に向けた土台作りを検証する中で、今後の地域移行の取組に向けての諸課題の整理を行うことができた。 | |

8. 学識経験者の所見

【松村一善氏 評価結果】

| | |
|--------|---|
| 評価コメント | 地域団体が休日の部活動運営を行う上での課題等を整理することを目指しており、令和3年度からの取組である。令和4年度は104回の実施を目標としていたが、5回の実施にとどまっており、運営体制の確立、施設用具の確保、生徒の送迎、対外試合等の多くの課題が検出されている。これらの課題をふまえて、休日の部活動の地域移行が混乱なく進むことを期待したい。 |
|--------|---|

【石川真澄氏 評価結果】

| | |
|--------|---|
| 評価コメント | コロナ禍であったため、通常の部活動も大きく制約を受けたと思われるが、その点を考慮しても地域部活動の実施活動は事前の目標と比べて低い水準に留まった。地域運営型部活動を具体化するあり方について、大幅な見直しが必要な状況と思われる。 |
|--------|---|

9. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

| | |
|-----------|--|
| 今後の方向性 | <input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> (1) 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> (2) 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> (1) 手段等の改善 <input type="checkbox"/> (2) 効率化・簡素化 <input type="checkbox"/> (3) 他事業との統合 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> (1) 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> (2) 制度的に自然減少 |
| | <input checked="" type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了 <input type="checkbox"/> (1) 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> (2) 意図的に廃止 <input checked="" type="checkbox"/> (3) 制度的に終了 |
| 今後の課題・方向性 | 地域移行の実現に向けた土台作りを検証する中で、今後の地域移行の取組に向けての諸課題の整理を行うことができた。今後は全市的な部活動の地域移行に向け人材確保等に取り組んでいく。 |

自己点検・評価シート

| | | | |
|-------|------------|-------------|------------|
| 整理No. | 82 | 鳥取市教育振興基本計画 | |
| 事務事業名 | 市民総スポーツ運動費 | 所属名 | 生涯学習・スポーツ課 |

1. 基本情報

| | | | |
|--------------------------|------|-----|---|
| 位基教 置本育 づ計振 け画興 | 体系区分 | コード | 名 称 |
| | 基本方針 | Ⅲ | 未来を創造する健やかな体を育みます！【体を拓く】 |
| | 政策 | (2) | すべての市民がいつでも親しむことのできるスポーツ活動の振興 |
| | 推進施策 | 4. | 新たに整備する市民体育館やバードスタジアムを核とした、すべての市民がスポーツに参画できる安全で多様なスポーツ環境の確保を図ります。 |

2. 事業目的【PLAN】

| | |
|------------------------|---|
| 対 象 (何を、誰を) | 市民 |
| 意 図 (どのような状態にするために) | ①年齢や性別、障がいの有無にかかわらず取り組むことができるニュースポーツ（障がい者スポーツ）の普及促進を図る。 ②学校体育施設を市民に開放することにより、より多くの市民がスポーツ活動を実施できる環境を整える。 |
| 手 段 (どうするのか) | ①ニュースポーツ用具の市民貸出を行う。 ②小学校の体育館及びグラウンドを、市民に開放する。 |

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

| | | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 | |
|--------|-----------|--|--|---|---|---|--|
| 内 容 | 年度別計画 | ①ニュースポーツ用具：23種 ②学校施設開放：46施設 ※スマート予約システム10月導入 (1)スマート登録団体700団体 | ①ニュースポーツ用具：25種 ②学校施設開放：59施設 (1)スマート登録団体710団体 | ①ニュースポーツ用具：25種 ②学校施設開放：59校 (1)スマート登録団体720団体 | ①ニュースポーツ用具：25種 ②学校施設開放：59校 (1)スマート登録団体730団体 | ①ニュースポーツ用具：25種 ②学校施設開放：59校 (1)スマート登録団体740団体 | |
| | 年度別実績 | ①ニュースポーツ用具：23種 ②学校施設開放：56施設 (1)スマート登録団体730団体 | ①ニュースポーツ用具：25種 ②学校施設開放：59施設 (1)スマート登録団体731団体 | | | | |
| 事 業 費 | 区分 | 決算額(千円) | 決算額(千円) | 決算額(千円) | 決算額(千円) | 決算額(千円) | |
| | 事業費(A+B) | 18,867 | 13,612 | 0 | 0 | 0 | |
| | 直接経費 A | 13,617 | 8,362 | 0 | 0 | 0 | |
| | 直接経費の財源内訳 | 国・県 | | | | | |
| | | 地方債 | | | | | |
| | | その他 | | | | | |
| | 一般財源 | 13,617 | 8,362 | | | | |
| 人件費 B | 5,250 | 5,250 | | | | | |
| 職員数の内訳 | 正規職員 | 0.70 | 0.70 | | | | |
| | 嘱託職員 | 0.00 | | | | | |
| | 臨時職員 | 0.00 | | | | | |

4. 令和4年度の事務事業実施概要【DO】

| | |
|-----------|--|
| 事務事業の実施概要 | ①ニュースポーツ用具 市民に対し、ニュースポーツ用具の無料貸し出しを実施 ・ 25種目 84セット ②学校施設開放の実施 学校体育施設スマート予約システムによる学校施設開放事業の運用管理 ・ 実施校数 59校（令和2年度より中学校施設10施設増） ・ システム登録団体数 730団体（令和3年度より30団体増） ※学校施設開放スマート予約システムの導入（R3.10.1） |
|-----------|--|

5. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

| | | 指標名 | 単位 | 区分 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 |
|------------------------|--------------------------|-----------------|-----|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 活動指標 | 1 | ニュースポーツ用具の貸出日数 | 日 | 目標 | 1,500 | 1,600 | 1,700 | 1,800 | 1,900 |
| | | | | 実績 | 1,559 | 2,239 | | | |
| | (指標の説明) ニュースポーツ用具の延べ貸出日数 | | | | | | | | |
| | 2 | 学校開放(グラウンド+体育館) | 延べ人 | 目標 | 350,000 | 350,000 | 350,000 | 350,000 | 350,000 |
| 実績 | | | | 442,432 | 438,624 | | | | |
| (指標の説明) 【新規】学校開放事業利用人数 | | | | | | | | | |

6. 活動指標の達成率【CHECK】

| | | 指標名 | 単位 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 |
|-------|---|-----------------|-----|-------|-------|-------|-------|-------|
| 指標達成率 | 1 | ニュースポーツ用具の貸出日数 | 日 | 104% | 140% | | | |
| | 2 | 学校開放(グラウンド+体育館) | 延べ人 | 126% | 125% | | | |

7. 評価【CHECK】

| 評価項目と評価の視点 | 評価内容 | 評価理由 |
|-------------|---|---|
| 目的の妥当性 | <input type="checkbox"/> 1. 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない | ①健常者と障がい者がともにスポーツに取り組むことができる環境を整備しスポーツを通じたバリアフリー社会の実現に取り組む。 ②学校の体育施設を地域に開放することにより、市民の健康維持に貢献する。 |
| 事業の有効性 | <input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない | ①ニュースポーツに手軽に取り組むことができるよう用具の貸出をおこなう。(指導者として、別事業でスポーツ推進委員を派遣している) ②住民の健康維持・促進に効果がある。 |
| 資源投入の効率性 | <input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない | ①市が用具を管理することが広く競技の普及促進を図るうえで効率的である。 ②地域が管理から、web予約システムの導入を行い、市民の利便性の向上を図っている。 |
| サービスの公平性 | <input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない | ①障がいの有無や年齢、性別にとらわれず取り組むニュースポーツを振興し、市民のだれもがスポーツする機会を創出する。 ②全小学校に加え次年度から全中学校の開放も実施することで、本市のスポーツ環境の整備と利便性の向上を図っている。 |
| 担当課等の評価コメント | ①パラリンピックにおいてポッチャ等のニュースポーツへの注目度は上がっている。誰でも楽しむことができるニュースポーツ用具を充実させて、スポーツ振興を図りたい。 ②学校開放を行うことで、市民の健康維持・促進に寄与することができる。令和3年10月からwebで予約を受け付け、これと連動した無人の鍵ボックスで鍵の受渡しを行うスマート予約システムを導入した。学校施設開放事業を多くの市民に利用いただけるよう取り組みを継続する。 | |

8. 学識経験者の所見

【松村一善氏 評価結果】

| | |
|--------|---|
| 評価コメント | 学校体育施設の開放は、スマート予約システムの導入により延べ利用人数が増加するとともに、これまで利用が少なかった学校施設についても空き状況が可視化されることにより、利用が増加している。令和5年度も登録団体数が増加しているとのことであり、システムの導入が事業目的の遂行に有効に機能していると判断できる。 |
|--------|---|

【石川真澄氏 評価結果】

| | |
|--------|--|
| 評価コメント | 本事業を構成する「ニュースポーツ用具の貸出」「学校体育施設の開放」ともに初年度より目標を大きく上回る実績を続けている。本来の学校の利用に支障のない範囲で、公平性を維持しつつ広く市民の利用に供されており、僅かの費用で施設の利活用が拡大しており、高く評価すべき事業と思われる。 |
|--------|--|

9. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

| | | | | |
|-----------|---|--|---|---|
| 今後の方向性 | <input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了 | <input type="checkbox"/> (1) 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> (1) 手段等の改善 <input type="checkbox"/> (1) 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> (1) 臨年実施等、意図的に休止 | <input type="checkbox"/> (2) 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> (2) 効率化・簡素化 <input type="checkbox"/> (2) 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> (2) 意図的に廃止 | <input type="checkbox"/> (3) 他事業との統合 <input type="checkbox"/> (3) 制度的に終了 |
| 今後の課題・方向性 | 誰でも楽しむことができるニュースポーツ用具の充実を図るとともに、スマート予約システムを継続して導入することで、多くの市民がいつでもスポーツ活動を実践できる環境を整え、スポーツ活動を通じて、生涯にわたって活力に満ちた豊かな生活をおくることのできるまちづくりをめざす。 | | | |

自己点検・評価シート

| | | | |
|-------|--------------|-------------|------------|
| 整理No. | 85 | 鳥取市教育振興基本計画 | |
| 事務事業名 | 市民体育館等再整備事業費 | 所属名 | 生涯学習・スポーツ課 |

1. 基本情報

| | | | |
|--------------------------|------|-----|---|
| 位基教 置本育 づ計振 け画興 | 体系区分 | コード | 名 称 |
| | 基本方針 | Ⅲ | 未来を創造する健やかな体を育みます！【体を拓く】 |
| | 政策 | (2) | すべての市民がいつでも親しむことのできるスポーツ活動の振興 |
| | 推進施策 | 4. | 新たに整備する市民体育館やバードスタジアムを核とした、すべての市民がスポーツに参画できる安全で多様なスポーツ環境の確保を図ります。 |

2. 事業目的【PLAN】

| | |
|----------------------------|--|
| 対 象 (何を、誰を) | PFI鳥取市民体育館株式会社 |
| 意 図 (どのような状態 にするために) | P F I手法を用い民間事業者のノウハウを活用したうえで、本市の市民スポーツの拠点施設となる市民体育館を整備しスポーツによる健康及び健康寿命の増進を図る。 |
| 手 段 (どうするのか) | 鳥取市民体育館の再整備（建替え）を行うにあたり、事業者内で行われるセルフモニタリングが適正に実施されているかをチェックするとともに市としても適正な建設及び管理が行われるようモニタリングを行う。 |

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

| | | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 | |
|-------------|-----------|---------------------------------------|-------------------------------------|---------|---------|---------|--|
| 内 容 | 年度別計画 | 旧施設の解体及び新施設の建設に対するモニタリング | 新施設の建設及び運営・管理に向けた準備協議に対するモニタリング | | | | |
| | 年度別実績 | 旧施設の解体及び新施設の建設に対し定例会等を通じてモニタリングを実施した。 | 新施設の建設及び開業準備に対し定例会等を通じてモニタリングを実施した。 | | | | |
| 事 業 費 | 区分 | 決算額(千円) | 決算額(千円) | 決算額(千円) | 決算額(千円) | 決算額(千円) | |
| | 事業費(A+B) | 10,287 | 8,920 | 0 | 0 | 0 | |
| | 直接経費 A | 5,170 | 5,170 | 0 | 0 | 0 | |
| | 直接経費の財源内訳 | 国・県 | | | | | |
| | | 地方債 | | | | | |
| | | その他 | 5,170 | 5,170 | | | |
| 一般財源 | 0 | 0 | | | | | |
| 人件費 B | 5,117 | 3,750 | | | | | |
| 職 員 数 の 内 訳 | 正規職員 | 0.70 | 0.50 | | | | |
| | 嘱託職員 | 0.00 | 0.00 | | | | |
| | 臨時職員 | 0.00 | 0.00 | | | | |

4. 令和4年度の事務事業実施概要【DO】

| | |
|-----------|--|
| 事務事業の実施概要 | 市民体育館を民間のノウハウを活用したPFI手法により整備する。また、設計・施工・維持管理運営の各段階で、本市の求める要求水準を満たす業務を受注者が行っているか、定期的なモニタリングを実施するための支援業務を委託する。 |
|-----------|--|

5. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

| | | 指標名 | 単位 | 区分 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 |
|------|---|---|----|----|-------|-------|-------|-------|-------|
| 活動指標 | 1 | モニタリングの実施回数 | 回 | 目標 | 12 | 12 | | | |
| | | | | 実績 | 14 | 12 | | | |
| | | (指標の説明) 事業が適切に実施されることを確認するとともに適宜、指導・是正が行える体制の確保を行う。 | | | | | | | |
| 活動指標 | 2 | | | 目標 | | | | | |
| | | | | 実績 | | | | | |
| | | (指標の説明) | | | | | | | |

6. 活動指標の達成率【CHECK】

| | | 指標名 | 単位 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 |
|-------|---|-------------|----|-------|-------|-------|-------|-------|
| 指標達成率 | 1 | モニタリングの実施回数 | 回 | 117% | 100% | | | |
| | | | | 2 | | | | |

7. 評価【CHECK】

| 評価項目と評価の視点 | 評価内容 | 評価理由 |
|-------------|--|--|
| 目的の妥当性 | <input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない | 市民のスポーツ活動・振興の拠点となる市民体育館を市と事業者が一緒になり、より市民が活用しやすい環境を確保する必要がある。 |
| 事業の有効性 | <input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない | 事業の実施業況等について適宜、モニタリングを実施することにより事業者との連携を図るとともに必要な指導が生じた場合には迅速な指導・是正を図ることができる。 |
| 資源投入の効率性 | <input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない | 財務等の専門的な知識を有した者へ支援業務を依頼することにより、より適切なモニタリングを実施することができた。 |
| サービスの公平性 | <input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない | 事業者が提示した提案内容に沿って事業が展開されているのかをモニタリングすることにより監視することができた。 |
| 担当課等の評価コメント | 新施設の建設にあたり、適宜、的確な協議・相談を行うことができていると考える。また、令和4年度においては、開業準備に向けた事業進捗についても併せてモニタリングを行うことにより、特に大きな混乱もなくオープニングイベント・開業を迎えることができたと考えている。総じて、モニタリングを行う事により、事業の進捗管理と必要な協議を進めることができていると評価している。 | |

8. 学識経験者の所見

【松村一善氏 評価結果】

| | |
|--------|--|
| 評価コメント | 定期的なモニタリングを実施するための支援業務を外部コンサルタントに委託している。主として毎月実施される定例会議の場で、事業の進捗状況や事業者によるセルフモニタリングの結果についての報告を受けるとともに、事業者内でのチェック状況の確認、別途提出が求められる各種報告書の依頼・確認等が行われており、適切に事業が実施されていると判断した。 |
|--------|--|

【石川真澄氏 評価結果】

| | |
|--------|---|
| 評価コメント | モニタリングの実施回数が指標とされているが、そうした過程を通じて得られたPFI手法に関する行政側のノウハウが本事業の成果と思われる。今後、PFI手法を用いた事業が新たに実施される場合に備えて、得られたノウハウや知見を蓄積し、共有することが期待される。 |
|--------|---|

9. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

| | |
|-----------|--|
| 今後の方向性 | <input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> (1) 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> (2) 制度的に自然増加 |
| | <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> (1) 手段等の改善 <input type="checkbox"/> (2) 効率化・簡素化 <input type="checkbox"/> (3) 他事業との統合 |
| 今後の課題・方向性 | <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> (1) 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> (2) 制度的に自然減少 |
| | <input checked="" type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> (1) 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> (2) 制度的に自然減少 <input checked="" type="checkbox"/> (3) 制度的に終了 |
| 今後の課題・方向性 | 整備完了により事業廃止 |

V 学識経験者の意見（総評）

【松村一善氏】

令和5年5月の新型コロナウイルスの5類移行により、私たちの日常生活もコロナ以前の状態を取り戻している。令和4年度は、アフターコロナに向けた動きが見えてきた年であったが、依然として感染者数の増加には悩まされた1年であった。このような中で、長期にわたって非日常の環境が継続する中で事業に取り組みられた多くの関係者の皆様の努力に敬意を表したい。

令和4年度は、第2期鳥取市教育振興基本計画の2年目であり、鳥取市教育委員会が実施した88事業のうち、24事業が自己点検・評価の対象となった。評価対象となった24事業は、令和3年度の評価対象と同一であったため、自己点検評価の結果をふまえた改善内容についても確認することができた。ヒアリングを通じて気付いた点を2点指摘したい。

第1は、ICTの利活用についてである。新型コロナウイルス感染症の影響をほとんどうけなかった令和元年度と比較すると、学校教育の現場におけるICT利用環境は大きく変化した。GIGAスクール構想の実現に向けた環境整備として、校内通信ネットワークの整備、児童生徒1人1台端末の整備、教室への電子黒板整備が行われるとともに、児童生徒1人ずつに個人IDを配布し、「学習活動の一層の充実」、「主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善」が目指されている。加えて、学校業務支援システムの運用、デジタル採点システムの導入等、教員の働き方改革につながる整備も進んでいる。一般市民向けでは、市立図書館で電子図書館システムが導入され、電子書籍の利用が可能となった。このように整備された情報インフラを活用しながら、教育委員会が行う事業の業務フローを改善していくことが必要になると思われる。

例えば、児童生徒支援事業ではスクールソーシャルワーカーが年間延べ888回の学校訪問を行っている。そのうちの一定の割合については、オンラインでの会議等で代替できる部分が存在していると推察される。限られた予算と人材の中で事業の目的を達成するためにも、整備されたICT利用環境の活用を期待したい。

第2は、令和3年度自己点検・評価でも指摘した地域との関係についてである。近年、複数の重要政策・施策で「地域」が政策・施策に関わることが目指されている。教育委員会が取り組む事業にみられる地域の範囲を広域のものから順に並べると以下のようなになる（カッコ内は地域の数）。

(A)市 (1) — (B)ブロック (5) — (C)合併前市町村 (9) — (D)中学校区 (17:13 中学校区+4 義務教育学校) — (E)小学校区 (43:39 小学校区+4 義務教育学校) — (F)地区公民館 (62)

例えば、生涯学習等に関わる事業としては、(C)の範囲を対象とする「生涯学習推進事業費」、(F)を範囲とする「地区公民館事業費」、(A)を範囲とする「生涯学習講座推進事業費」が存在する。「地域学校協働活動推進事業費」は、小学校の場合 (E)の小学校区の範囲に存在する (F)の範囲の地区公民館やまちづくり協議会等と連携しながら地域住民・団体と学校を結ぶ地域学校協働本部を設置し、学校を核とした地域づくりを目指している。「鳥取市立学校校区再編推進事業費」では、(E)の小学校区、(D)の中学校区で学校のあり方を考える検討組織を設置し、(B)のブロックの範囲での校区再

編を検討する「ブロック全域の学校のあり方を考える協議会」を設置し、検討を進めることを目指している。

以上みてきたように、政策・施策によって「地域」の領域・ステークホルダーが異なっており、それぞれの政策・施策が対象とする「地域」が重層的に広がっている。その場合、重層的に広がる「地域」とそれぞれの主体（「学校運営協議会」、「学校のあり方を考える検討組織」、「地域学校協働本部」等）をつなぎ、合意形成を図る場をつくるのが重要になる。特に（B）ブロックの範囲は、これまで合意形成の場を持った経験を有していないように思われるが、この（B）ブロックの地域内で合意形成を図るための場をつくることを目的としたり、そのような機能を発揮できるような事業は教育委員会以外の事業を含めても存在しないと思われる。各政策・施策の効果をあげるためには、重層的に広がる「地域」とそれぞれの主体をつなぎ、合意形成を図る場をつくるための持続的な取り組みが必要になろう。

【石川真澄氏】

評価年度（令和4年度）はコロナ禍も3年目に入り、周囲に感染者が発生することが日常となる中で、感染対策を図りつつ通常の社会活動への復帰が始まった時期であった。教育委員会の事務・事業においても同様であり、コロナ禍の影響を受けつつ、対面での各種行事も増加する傾向にあり、苦闘の中で以前の状況に近づけようとしていた状況がみられ、現場の努力に敬意を評したい。

一方で負の側面として、事業の実施形態に初期の構想と変化が生じた、情報の収集に困難が生じた、といった様々な事情により評価指標が単純な活動量に戻ってしまった事業が散見される点が指摘できよう。評価シート上の項目としては「活動量指標」ではあるが、事業目標への効果を改善すべく事業のPDCAサイクルに取り組んでいることを踏まえれば、より目標そのものへの寄与を反映したアウトカムやインパクトを志向した評価であることが望ましい。この点、一部ではあるが従来の評価よりやや後退したような印象を受けたことは惜しまれる。

コロナ禍を越え、そこで迫られた変化の多くは以前の状況に戻りつつある。一方で、遠隔教育やICTの利活用など、必要に迫られる中で対応を進め、ノウハウの蓄積が進んだものの中には、今後の事業の中で積極的に活用されるものもあるだろう。単にコロナ前に戻るのではなく、コロナ後の社会や人々の変化に柔軟に対応し、事業の改善が推進されることを期待したい。